

令和2年度

主要な施策の成果に関する説明書

久 慈 市

目 次

I 重点戦略 いつまでも住み続けたいと思うまちづくり

1	くじの魅力発信プロジェクト	2
2	日本一の地域づくりプロジェクト	3
3	安心・安全のまちプロジェクト	7
4	みんなに愛されるマイバス・マイレールプロジェクト	9
5	安心できる医療福祉のまちプロジェクト	11
6	出(で)愛(あ)いと地元愛の育みプロジェクト	14
7	魅力ある仕事起しプロジェクト	16

II 基礎戦略1 共に支え、元気と安らぎあふれるまちづくり

1	情報公開の推進	18
2	市民との協働の推進	21
3	地域づくり活動の推進	24
4	交流・連携と移住・定住の促進	28
5	社会福祉の充実	31
6	高齢者福祉の充実	35
7	障がい者福祉の充実	43
8	地域医療の充実	47
9	保健活動の充実	49
10	自然景観の保全・創造と活用	55
11	環境対策の推進	56
12	市民生活の充実	59
13	エネルギー対策の推進	61
14	防災体制の充実	62
15	道路整備の促進	65
16	港湾整備の促進	69
17	街並み環境整備の促進	70
18	生活環境基盤整備の促進	73
19	情報通信環境の充実	76

III 基礎戦略2 総合力豊かな人材を育てるまちづくり

1	子育て支援の充実	77
2	学校教育の充実	82
3	生涯学習の充実	87
4	生涯スポーツの振興	99
5	男女共同参画社会の推進	103

IV 基礎戦略3 資源を生かす魅力とやりがいのある産業のまちづくり

1	農業の振興	104
2	林業の振興	110
3	水産業の振興	112
4	商工業の振興	115
5	観光の振興	120

○	その他の事業の成果	123
○	特別会計の成果	146

令和2年度主要な施策の成果に関する説明書
地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定により、令和2年度における主要な施策の成果について、次のとおり提出する。

令和3年9月2日提出

久慈市長 遠藤 譲 一

令和2年度における主要な施策の成果について

令和2年度は、第2次久慈市総合計画に掲げる「子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち久慈」の実現に向け、優先的に取り組む「重点戦略」と3項目の「基礎戦略」を施策の主要とし、各般の主要施策を推進した。

また、各施策の実施に当たっては、国・県の諸施策に対応しながら財政運営の合理化を図るとともに、重点的かつ効率的な事業執行に努めた。

- 1 【重点戦略】 いつまでも住み続けたいと思うまちづくり
- 2 【基礎戦略1】 共に支え、元気と安らぎあふれるまちづくり
- 3 【基礎戦略2】 総合力豊かな人材を育てるまちづくり
- 4 【基礎戦略3】 資源を生かす魅力とやりがいのある産業のまちづくり

これら4項目の主要な施策の具体的な措置状況と成果については、次のとおりである。

※ 事業名等の後に 【復興関係】 とあるものは、東日本大震災に関するものである

I 重点戦略 いつまでも住み続けたいと思うまちづくり

■ I-1 くじの魅力発信プロジェクト

I-1 くじの魅力発信プロジェクト	(1) おもてなしと魅力発信の体制強化
-------------------	---------------------

ロケ地を観光資源として活用するとともに、国内外への効果的なPRを行うため関係機関と協力し、感染症対策を徹底しながら積極的なロケ受け入れを行い当地域の魅力発信を行った。

- ・ロケ受入れ実績 52件

I-1 くじの魅力発信プロジェクト	(2) 体験インストラクター・観光ガイドの人材育成などの推進
-------------------	--------------------------------

観光ガイド育成のための取り組みを支援した。
体験インストラクターのもと体験型教育旅行の受入を行った。

- ・教育旅行・キャンプなど受入人数 2,924人

■ I-2 日本一の地域づくりプロジェクト

I-2 日本一の地域づくりプロジェクト (1) コミュニティカルテづくりの推進

ア ふるさと未来づくり事業の実施

集落支援員2名を配置し、次の事業を実施した。

地域住民がコミュニティ活動に取り組む際の一つの指標となるように、地域のお宝や資源、課題を話し合う場を創出し、結果をまとめ（コミュニティカルテ）、地域住民に還元しながら、ふるさと未来づくり事業（各チーム活動支援など）を実施した。

また、地区単位でのワークショップや講座を通じて、住民主体の地域づくりに関する意識の醸成を図った。

(単位：回)

項目	開催時の名称	回数					内訳
		H28	H29	H30	R1	R2	
出前講座	ミニ講演会、地域づくり勉強会	4	3	1	5	1	山形1
地区単位の地域づくりワークショップ	合同専門委員会、サロン、未来づくり広場、WS、ふるさと点検、夢語り、全体会、ヒアリング	8	21	32	9	3	山形1 夏井2
ワークショップで絞り込んだメニューの実践	チーム活動	16	14	76	78	34	山根3 小久慈24 夏井4 宇部3

I-2 日本一の地域づくりプロジェクト (2) コミュニティコーディネーターの育成

ア ふるさと未来づくり事業の実施

コミュニティコーディネーター（地域課題の解決につながる活動の提案と実現に向けた調整を行う地域人材）の育成を図った。将来のコミュニティ活動の担い手となる若い世代の参加を促進するため、事業の実施にあたっては、若い世代や児童・生徒への声掛けに努めた。

I-2 日本一の地域づくりプロジェクト (3) コミュニティサポート体制の強化

ア 地域コミュニティ振興事業

多様なコミュニティ団体の活動しやすい環境づくりとして、町内会や地域づくり団体等が行う地域の活性化や協働のまちづくりを推進するための活動に対して補助金を交付する「地域コミュニティ振興事業」を実施し、組織活動のサポートを行った。

- ・実施件数 16件
- ・補助金交付額 10,465千円

◆令和2年度地域コミュニティ振興事業一覧

件数	団体名	事業名・事業内容	補助金 交付額 (千円)
1	畑田・沢里はつ らつサロン	事業名：認知症予防、踊を楽しみ元気を届けるプロジェ クト 事業内容： ・町内会イベント等での踊の披露 ・久慈、九戸地域の社会福祉施設慰問 他	363
2	エリカシーラン ドくじ推進協議 会	事業名：花と緑の安らぎと活みなぎる空間創出プロジ ェクト 事業内容：防災公園へのツツジの植樹	800
3	三日町町内会	事業名：三日町町内会交流事業 事業内容： ・三日町内の歩道にプランターを整備 ・事業を推進することにより世代間の連携と交流を図る	28
4	侍浜の地唄、神 輿、お囃子を継 承する会	事業名：侍浜の地唄、神輿、お囃子の継承事業 事業内容： ・寄贈した神輿を活用するため、用具（担ぎ棒、神輿 台）作成 ・神輿用の半纏作成 ・センター事業や地区公民館等でもお披露目	699
5	小久慈まちづく り協議会	事業名：地域を照らすスマイルイルミネーション事業 事業内容： ・小久慈市民センターにメインイルミネーションを設置 ・地域等にイルミネーションやライトアップ設置の協力 要請 ・点灯式イベントの実施	800
6	ラインクライミ ング山形	事業名：木登り体験交流事業 事業内容： ・交流木登り体験会の開催 ・インストラクター技術研修会の実施	940
7	ガタゴンプロジ ェクト協議会	事業名：ガタゴン夜市事業 事業内容：飲食物、農産物、雑貨等の販売	360
8	荷軽部老人クラ ブ	事業名：集落センター花壇整備工事 事業内容：花壇の環境整備	316
9	荷軽部自治会	事業名：荷軽部自治会いこい施設倉庫設置事業 事業内容：いこい施設整備(冬季間は倉庫として使用)	1,000
10	やまがた芸文会	事業名：平庭高原つつじ祭り俳句大会五十周年記念句集 作成事業 事業内容：第四句集つつじ祭りの製本・印刷 ※過去第三句集まで発刊済み	295
11	戸呂町青年会	事業名：旧戸呂町小学校活用事業	789

		事業内容：施設の管理に伴う備品や事業運営に用いる設備（暖房機等）の購入	
12	関自治会	事業名：関地区世代間交流（夜の探検）事業 事業内容：夜間の活動（親子での昆虫採集や防犯パトロール等）の促進を図るため、防犯灯のLED化工事を行う	520
13	戸呂町地区集落センター	事業名：旧戸呂町小学校校庭照明修繕事業 事業内容：地域活動の利用期間及び利用時間を増加させるため、照明設備の修繕を行う	920
14	荷軽部青年会	事業名：ニカルベタタイムス「200号記念事業実施」及び「200号記念誌製作」事業 事業内容： ・地域広報誌の200号記念誌製作 ・200号記念事業の実施	800
15	山形町地域づくり実践区協議会	事業名：地域づくり実践活動等支援事業 事業内容：地域づくり実践活動への支援	835
16	ぐれっと！やまがた街道祭実行委員会	事業名：ぐれっと！やまがた街道祭開催事業 事業内容：ぐれっと！やまがた街道祭の開催	1,000
計			10,465

イ コミュニティ活動備品整備事業

ふるさと活性化創造基金を財源とし、平成26年度から町内会や地域づくり団体等活動に必要な備品の購入に要する経費に対して補助金を交付する「コミュニティ活動備品整備事業」を実施した。

◆令和2年度コミュニティ活動備品整備事業一覧

件数	団体名	事業内容	助成額 (千円)
1	夏井町振興協議会	提灯及び提灯コードの整備	82
2	ふっこう館協議会	冷房機（エアコン）1台の整備	96
3	山口地区産業振興会	冷蔵庫、電子レンジ、扇風機、座卓等の整備	46
4	幸町町内会	消毒用ポンプスタンドの設置、プリンター整備	18
計			242

ウ コミュニティ助成事業

一般財団法人自治総合センターによる宝くじの受託収入を財源として、地域で行う事業または活動に必要な施設・設備の整備を助成する事業により、令和2年度は1団体が備品整備を行った。

◆令和2年度コミュニティ助成事業一覧

団体名	事業内容	助成額 (千円)
田高町内会	物置ほかコミュニティ活動備品の整備	1,900
計		1,900

エ 地域おこし協力隊の設置

人口の減少や高齢化等の進展に伴い、地域の活力の低下が見込まれる本市において、地域おこしに意欲のある都市圏の住民を受け入れ、地域資源を活かした地域の活性化に必要な施策を推進するとともに、市への定住を促進し地域力の充実化を図るため、地域おこし協力隊を令和2年度において3名を配置。うち任期満了により1名が退任し、久慈市に定住となった。

◆令和2年度地域おこし協力隊配置状況 ※令和3年3月31日現在

配属先	人数
山根市民センター	1名
林業水産課	1名
産業建設課	1名
計	3名

■ I-3 安心・安全のまちづくりプロジェクト

I-3 安心・安全のまちづくりプロジェクト (1) 防災・防犯情報の共有体制の強化

ア 防災対策

防災情報の共有体制強化のため、次のとおり事業を実施した。

(ア) 防災行政無線の難聴解消対策

山根町木売内地区において戸別受信機設置事業を実施したほか、市民からの情報をもとに防災行政無線スピーカーの調整を実施するなど、難聴解消対策に取り組んだ。

なお、市内における難聴世帯は70世帯であり、令和3年3月31日現在の全世帯数（15,597世帯）に対する難聴解消率は、99.55%である。

(イ) 防災及び災害情報の伝達

確実な災害情報伝達のため、防災行政無線保守点検業務の実施、防災行政無線電話再応答サービスの運用、気象情報や避難所開設などの情報をテレビ画面から入手できるテレビdボタンの活用、防災情報メールマガジンの配信（登録制）、防災行政無線戸別受信機設置事業補助金の周知のほか、ホームページ、Twitter、公式LINEなどでの情報発信に取り組んだ。

I-3 安心・安全のまちづくりプロジェクト (2) 自助・共助による防災力の充実

ア 防災力の充実

地域の「自助・共助」による防災力の充実を図るため、次のとおり事業を実施した。

(ア) 津波避難訓練

毎年6月15日に沿岸地区住民を対象として実施していたが、新型コロナウイルス感染症の全国的な流行に伴い、訓練実施を見送った。

(イ) 自主防災組織等の訓練及び研修会

自主防災組織（4組織）及び町内会等の地域団体（5団体）において実施された各種訓練や研修会などに対し協力を行った。

また、市内の自主防災組織や設立前の地域団体を対象に、活動の活性化及び情報の共有を目的とした研修会を実施し、15団体23名が参加した。

(ウ) 消防団訓練

消防団特別点検（消防演習）、消防出初式、中継送水訓練等の大規模訓練については新型コロナウイルス感染症の影響により中止としたが、初任団員教育訓練等の小規模訓練は実施し、団員の技能向上を図った。

(エ) その他訓練

国や県との情報伝達訓練などの各種訓練を実施した。

- ・ Lアラート全国合同訓練：1回（国）
- ・ 土砂災害情報伝達訓練：1回（県）
- ・ 火災・災害等即報に関する情報伝達訓練：1回（国）
- ・ 岩手県国民保護共同訓練検討会：1回（県）
- ・ Jアラート全国一斉情報伝達訓練：4回（国）
- ・ 北緯40° ナニャトヤラ連邦会議情報伝達訓練：1回（八戸・二戸・久慈圏域）
- ・ 緊急地震速報訓練：2回（国）

(オ) 防災研修会等

- ・久慈市職員防災研修会（主催）：2回（10/6及び2/4・市役所）

(カ) 講師等

- ・防災学習：3回（7/15・大川目中学校、8/31・久慈高校、10/12・平山小学校）
- ・避難施設の運営とコロナ対策：3回
（9/10・小久慈まちづくり協議会、11/15・湊中組町内会、12/16・新長内町内会ほか）
- ・水害時の高齢者の避難について：1回（2/16・ぶんどうめの会）

I-3 安心・安全のまちづくりプロジェクト

(3) 自主防災組織の拡大に向けた支援

ア 自主防災組織

(ア) 自主防災組織の結成率向上対策

自主防災組織の結成率向上のため、地元町内会（4団体）に対し結成に係る説明会を実施し、組織結成の促進を図った。

（新規団体2団体：森中・森上下・山口地区自主防災会、仲小路自主防災会）

(イ) 自主防災組織資機材整備費等補助金

自主防災組織の活動を推進するため、自主防災会15組織に対し、防災資機材を購入する経費に補助金を交付した。（事業費：1,212千円）

■ I-4 みんなに愛されるマイバス・マイレールプロジェクト

I-4 みんなに愛されるマイバス
・マイレールプロジェクト

(1) 交通網の効果的・効率的な構造転換の推進

ア バス

(ア) 市民バス「のるねっとKUJI」の運行

利用者の利便性に配慮しながら、通院や通学、買い物などの移動手段を確保するためバス7路線及びデマンドタクシー2路線を運行した。

<乗車人数・運行事業者>

路線名 (方面)	乗車人数 (人)	バス運行事業者名
侍浜線 (侍浜方面)	5,223	三陸観光株式会社
川代線 (夏井方面)	3,274	株式会社三河交通観光
新町線 (大川目・畑田方面)	11,076	株式会社ヒカリ総合交通
日吉循環線 (小久慈方面)	10,509	三陸観光株式会社
山根線 (山根方面)	6,402	株式会社ヒカリ総合交通
久慈海岸線 (小袖・久喜方面)	9,079	岩手県北自動車株式会社
山形線 (山形方面)	6,597	三陸観光株式会社
津内口デマンドタクシー	844	株式会社ヒカリ総合交通
根井デマンドタクシー	78	株式会社ヒカリ総合交通
計	53,082	

<運賃収入見込額・運賃収入額・契約額・支払額等>

(単位：千円)

路線名	見込額	収入額	差額	契約額	精算	委託料 支払額
侍浜線	2,100	1,435	△665	5,600	455	6,055
川代線	750	789	39	5,784		5,784
新町線	2,463	2,101	△362	4,000	115	4,115
日吉循環線	2,069	1,874	△195	5,632		5,632
山根線	2,633	1,804	△829	11,940	565	12,505
久慈海岸線	3,218	2,764	△454	8,678	132	8,810
山形線	1,900	1,764	△136	6,350		6,350
小計	15,133	12,531	△2,602	47,984	1,267	49,251
津内口デマンドタクシー		422		4,614円/回		2,247
根井デマンドタクシー		39		4,858円/回		223
小計		461				2,470
合計		12,992				51,721

※精算…運賃収入の見込額に対し、達成率が90%未満または120%超の場合に適用

※久慈海岸線の契約額は、県道野田長内線の交通規制に伴う迂回運行経費を含む

(イ) 路線バスの運行支援

市民及び地域住民の生活の足を確保するため、路線バス久慈大野線の運行経費に対

して補助した。

- ・路線バス運行事業費補助金 1,700千円

イ 三陸鉄道の運行支援

(ア) 三陸鉄道運営費等補助事業

地域の生活の足である三陸鉄道が、安全かつ安定して運行できるよう、次のとおり補助金を交付した。

a 鉄道安全輸送設備等整備事業

輸送の安全を確保するため、設備の改良・設置に要する経費に対して補助した。

- ・補助金額 7,610千円

b 三陸鉄道運営費補助事業

鉄道施設の修繕や保守、保険等、設備維持に要する経費に対して補助した。

- ・補助金額 15,455千円

c 三陸鉄道運営支援補助事業

繰越欠損金等に対して補助した。

- ・補助金額 10,647千円

I-4 みんなに愛されるマイバス ・マイレールプロジェクト	(2) 愛着あふれる公共交通の推進
----------------------------------	-------------------

ア 利用促進事業

(ア) 公共交通の利用促進

公共交通機関の利用機会の創出と、マイバス・マイレールの意識づけを図るため、運行事業者や関係市町村等と連携し、各種利用促進事業を企画・実施した。

<実施回数・参加者数>

区分	事業の概要等	企画実施 (日・回)	参加者数 (人)
市民バス	三陸鉄道車両基地見学、 イベント観覧	1	25
路線バス	体験教室、イベント観覧	12	287
三陸鉄道	三陸鉄道車両基地見学、 イベント観覧	2	45
計		15	357

■ I-5 安心できる医療福祉のまちプロジェクト

I-5 安心できる医療福祉のまちプロジェクト	(1) 心と体の健康維持に向けた支援
------------------------	--------------------

ア がん検診等の普及啓発

生活習慣病やがんなど疾病の予防及び早期発見を図るため、各種検（健）診事業を実施した。また、各種がん検診の普及啓発を行い、健康に対する意識の高揚と精密検査の受診勧奨に努めた。
(事業費 51,140千円)

(ア) 各種がん検診等

区分	対象者	受診者	受診率	精密検査			がんであった者
				対象者	受診者	受診率	
胃がん検診	40歳以上 (12,924人)	317人	2.5%	125人	110人	88.0%	1人
肺がん検診	40歳以上 (12,924人)	4,091人	31.7%	89人	76人	85.4%	5人
大腸がん検診	40歳以上 (12,924人)	3,845人	29.8%	277人	234人	84.5%	16人
子宮頸がん検診	20歳以上女性 (8,257人)	2,325人	28.2%	32人	27人	84.4%	0人
乳がん検診	40歳以上女性 (7,660人)	2,706人	35.3%	20人	18人	90.0%	3人
前立腺がん検診	50歳以上男性 (5,010人)	1,592人	31.8%	129人	78人	60.5%	6人

- ※1 対象者数=40歳以上人口 - 40歳以上就業者 + 農林水産業従事者 - 要介護者
- ※2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、単独の胃がん検診を中止した（例年2,000人前後受診）
- ※3 子宮頸がん検診と乳がん検診は隔年受診のため、受診者数は直近2年度分を合算。
- ※4 「精密検査対象者」及び「がんであった者」については、令和元年度に受診した各種がん検診の結果、精密検査の対象となり、令和2年度に結果が判明したもの。

区分	対象者	受診者数	肝炎であった者
肝炎ウイルス検診	40歳以上で過去に肝炎ウイルス検診を受けたことのない方 (2,018人)	243人	B型：2人 C型：0人

(イ) 各種健康診査

区分	対象者	受診者数	受診率	要指導	要医療
後期高齢者健康診査	5,981人	1,349人	22.6%	483人	656人
基本健康診査	285人	38人	13.3%	12人	26人

I-5 安心できる医療福祉の まちプロジェクト	(2) 高齢者を見守り・支え合う環境の構築
----------------------------	-----------------------

ア ふれあいサロン事業

高齢者等が住みなれた地域で生きがいを持つことで社会参加を促進し、自主的な福祉活動の助長と共に支え合う福祉コミュニティづくりを推進するため、市内各地90箇所において生きがいづくり活動（延973回）を実施した。

実施団体数	延参加者数	延実施回数	事業費
90箇所	7,539人	973回	1,092千円

イ 避難行動要支援者支援事業

高齢者や障がい者等の避難等に支援が必要な方が、災害時に地域の支援によって迅速な避難ができるよう名簿登録を進め、要支援者として446人が名簿登録されている。市と60町内会等と協定を締結し、支え合い、見守り体制を推進し、福祉コミュニティの充実等に取り組んだ。

	名簿登録要支援者	地域支援者
令和3年3月31日現在	446人	837人

ウ 緊急通報体制支援事業

在宅高齢者等の見守りと急病などに迅速な対応を図るため、緊急通報装置の貸与を行った。緊急通報装置の貸与数は259台（うち新規設置31台）となっており、高齢者等の見守り体制を整えた。（事業費 9,787千円）

総設置台数	受報件数（うち正報件数）	利用者負担徴収額
259台	940件（12件）	210千円

エ 高齢化対策指導員設置事業

高齢者の社会参加及び生きがい活動を促進するため、各種事業の企画立案、実施及び老人クラブの相談指導に従事する専門職員を配置した。（事業費 3,372千円）

I-5 安心できる医療福祉の まちプロジェクト	(3) 地域のニーズに対応した医療環境の整備
----------------------------	------------------------

ア 医師確保対策

県や医療機関に対し、県立久慈病院において不足している診療科の医師の充足・確保について継続して要望を実施した。

イ 医師の人材育成

(ア) 地域医療人材育成事業

例年、中学生を対象とする、県立久慈病院医師による出前講座等を実施する地域医療人材育成事業（久慈保健所主催）に参画し、長期的な視野で久慈地域の医療を担う人材育成に取り組んでいたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から事業を中止した。

(イ) 岩手県国民健康保険団体連合会市町村医師養成事業

将来、岩手県内の県立病院及び市町村立病院等の医師として業務に従事しようとする者に対し、県と市町村（岩手県国民健康保険団体連合会）が協同で修学資金を貸し付けする事業に負担金を支出した。
(事業費 2,457千円)

ウ お産・育児支援事業

安心・安全な周産期医療体制の確保及び育児支援の充実を図るため、出産祝い金の支給、市外の医療機関に妊産婦健診のため通院するハイリスク妊産婦への交通費の助成、ハイリスク妊婦の家族への出産宿泊費の助成を継続した。

(事業費 1,084千円)

区分	申請者数	事業内容
出産祝金	35人	1万円の商品券を支給
妊産婦健康診査交通費助成金	49件	市外の医療機関までの交通費を助成
出産時立会者宿泊支援金	0人	市外で出産しなければならない妊婦の家族への宿泊費を助成

■ I-6 出(で)愛(あ)いと地元愛の育みプロジェクト

I-6 出(で)愛(あ)いと地元愛の育みプロジェクト	(1) 結婚に向けた総合的支援の実施
----------------------------	--------------------

- ア 結婚支援イベント補助事業
結婚支援イベント補助事業の周知・募集を行った。

I-6 出(で)愛(あ)いと地元愛の育みプロジェクト	(2) 親子が過ごしやすい生活空間・環境の充実
----------------------------	-------------------------

- ア 子育て支援センター事業
(ア) 子育て支援センター内の保育室を利用者へ開放
(イ) 子育てサークル育成のため、自主グループの援助・指導
(ウ) 各種事業の実施(相談教室、子育て講演会・実技・交流事業等)
(エ) 電話等による子育てに関する相談・指導(87人)
(オ) 子育て支援センターだよりの発行(年12回)

利用実績

事業内容	児 童	大 人	計
保 育 室 利 用 者	3,088人	2,452人	5,540人
自主グループ利用者	71人	59人	130人
事 業 参 加 者	433人	514人	947人
計	3,592人	3,025人	6,617人

- イ 民間保育所施設整備事業費補助金
民間保育所の施設整備に対し、次のとおり補助金を交付した。

施設名	総事業費	事業実施主体	整備内容
	補助金額		
大川目保育園	5,335千円	(福)大川目保育会	外構整備
	4,001千円		
認定こども園 かわぬき	17,930千円	(福)川貫保育会	外構整備
	13,447千円		

- ウ 保育料の軽減
保育利用児童の保護者の負担軽減を図るため、国で定められている徴収基準について、次のとおり軽減を行った。

国の徴収基準による利用料(A)	久慈市基準による利用料(B)	軽減額(A-B)
125,103千円	76,752千円	48,351千円

I-6 出(で)愛(あ)いと地元愛 の育みプロジェクト	(3) 地域の魅力体験・体感型教育の推進
--------------------------------	-----------------------------

体験型・着地型の交流人口拡大による観光振興と地域活性化を目的として、学校・団体等の体験学習受入を実施するとともに、市と連携して事業を推進しているふるさと体験学習協会の運営について支援した。

また、教育旅行で培った受入ノウハウをもとに、久慈市の豊かな自然を生かした久慈版ヘルスツーリズムの確立に向け、実施体制整備のための取り組みを実施した。

事業名	事業内容	事業費
教育旅行等受入推進事業費	教育旅行の受入を推進するための誘致活動等	1,520千円

教育旅行受入実績は以下のとおり。

区分	参加者数 (延人数)	内容
市内学校	229人 (240人)	小学校4校、中学校4校
県内学校	124人 (124人)	小学校4校、中学校1校
県外学校	697人 (1,887人)	宮城県7校
管内	0人 (0人)	
国外	0人 (0人)	
一般団体	547人 (673人)	24団体
計	1,597人 (2,924人)	20校24団体

■ I-7 魅力ある仕事起しプロジェクト

I-7 魅力ある仕事起しプロジェクト (1) 職業意識の醸成に向けたキャリア教育の推進

地域産業に触れる機会となる、主に中学校が行う社会体験、出前授業等の学校教育段階における「キャリア教育事業」の推進による一貫した若者定着対策事業の実施が必要であり、次のとおり事業を実施した。

なお、合同社会体験（社会体験WEEK）、キャリア教育研修会等については、コロナ禍により中止とした。

- ・学校・事業所向け資料の配布
 - 学校向け社会体験事前事後学習マニュアル
 - 事業所向け出前授業、社会体験ハンドブック
- ・キャリアオーケストラミニ（職業講演会 オンラインによる開催）
- ・キャリア教育推進連携シンポジウム

I-7 魅力ある仕事起しプロジェクト (2) 起業者などに対する支援体制の構築

ア 創業支援事業

(ア) 久慈市創業支援事業計画に基づく支援

平成28年1月に国に認定された「久慈市創業支援事業計画」に基づき、創業希望者に対して関係機関と連携して、事業計画作成から創業に至るまで切れ目のない支援を行った。久慈市が行った個別相談件数は3件であり、うち1件が創業となった。

(イ) 久慈・ふるさと創造基金事業

創業希望者等に対し、久慈商工会議所が資金貸付する「久慈・ふるさと創造基金」に係る運営経費への補助金交付を行うとともに、新たな支援企業の掘り起しと制度周知に努めた。令和2年度の新規貸付は、1件、4,500千円であった。

久慈・ふるさと創造基金運営補助金 425千円

イ 意欲ある事業者への支援

(ア) 企業誘致活動の実施

拠点工業団地等への企業誘致を図るため、地域資源の掘り起し、企業訪問、産業人とのネットワークづくりに積極的に取り組んだ。（市外企業訪問回数 7回）

(イ) 誘致企業等へのフォローアップ活動の実施

誘致企業等による新事業展開、事業高度化や新たな販路開拓による地域経済の拡大、雇用の場の創出を図ることを目的に、市が実施する各種支援制度の利用提案のほか、国・県等が実施する各種補助金等への申請支援や販路開拓に係るマッチング支援を行った。（市内企業訪問回数 184回）

I-7 魅力ある仕事起しプロジェクト (3) 地域資源・企業の魅力発信の強化

ア 販路拡大支援

販路拡大に係るマッチング支援のため、意欲ある事業者に対して、市が実施する支援制度のほか、国・県等が実施する支援制度の提案等の積極的な支援を行った。

イ Kターン希望者採用活動支援によるやりがいのある働く場確保事業

Kターン就職希望者の受け皿となる職場を確保するため、市内事業所の大卒等人材確保に取り組む事業所の採用情報共有会を開催したほか、新採用研修・内定者研修を行った。

また、内定者を対象とした研修会等については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部中止とした。

採用情報共有会の開催回数 6回（6事業所参加）

Ⅱ 基礎戦略 1 共に支え、元気と安らぎあふれるまちづくり

■ Ⅱ-1 情報公開の推進

Ⅱ-1 情報公開の推進 (1) 情報公開の適正運用の推進

行政文書の開示請求に対する迅速な対応に努めるとともに、市広報紙等で開示についての実施状況を公表した。

ア 実施機関別の行政文書の開示請求の件数

実施機関の区分	件数
市 長	26件
議 会	0件
教 育 委 員 会	6件
選 挙 管 理 委 員 会	0件
監 査 委 員 員	0件
農 業 委 員 会	0件
固 定 資 産 評 価 審 査 委 員 会	0件
上下水道事業の管理者の権限を行う市長	3件
計	35件

イ 行政文書の開示請求に対する決定の状況

開 示	部分開示	非開示	不存在	取下げ	計
27件	4件	1件	0件	3件	35件

Ⅱ-1 情報公開の推進 (2) 情報の有効活用

市からの情報を広く伝えるため、久慈市ホームページや複数のSNSを活用し、迅速でわかりやすい情報発信を行った。

行政内部の情報化の状況については、個人情報等を有する端末に対し外部からの不正なアクセスやデータの流出を防ぐため、インターネットから分離するなど業務で利用するネットワークを3つに分離し運用を行った。

ア 情報発信に係る主要な利用件数 (アクセス件数/年)

システム	件数
議会中継システム	6,499
ホームページ	1,858,466
Facebook (いいね)	1,326
Twitter (フォロワー)	2,246
LINE	1,092
防災カメラ	2,883

復興ポータルサイト	59,568
震災アーカイブ	954

※運用経費：機器賃貸借料、データセンター利用料、保守委託料等 35,307千円

イ 行政内部の情報化の状況

ネットワーク	利用システム	端末台数
個人番号利用事務系	住民登録、税、国保、年金、福祉、学校給食の各システム	60台
LGWAN接続系	LGWAN、庁内LAN、グループウェア、財務会計、文書管理、人事給与、GISの各システム	515台
インターネット接続系	WEB閲覧、WEBメール	150台

※運用経費：機器及びシステムリース料、保守料、回線使用料等 113,439千円

ウ 社会保障・税番号制度の対応

運用経費：中間サーバー利用負担金、機器賃貸借料、保守委託料等 23,650千円

エ 情報セキュリティ対策

対策内容

- ・インターネットとLGWANのネットワーク分離
- ・インターネット専用端末150台の運用
- ・岩手県セキュリティクラウドへの接続
- ・外部媒体の使用制限

運用経費：セキュリティクラウド運用負担金、保守委託料 3,408千円

II-1 情報公開の推進	(3) 広聴広報の充実（市民参加の市政）
--------------	----------------------

ア 広報紙の発行

市の行政施策や暮らしの情報、出来事などを市民に周知し、市政に対する理解と協力を得るため、「広報くじ」を月2回（1日号と15日号）発行。行政連絡区長を通じて各世帯に配布した。

また、中高生とその保護者世代に久慈の魅力を感じてもらい、若者世代の地元定着やUターン者確保など、人口減少対策につなげるため、中高生向け広報紙「Link」を編集・発行。若い世代に読んでいただくため、SNSを活用し、久慈市公式LINE@により配信した。年間1回発行した。

事業費 11,576千円

イ 市政懇談会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年度の開催は中止とした。

ウ 市長への手紙

まちづくりに対する市民の意見を聞き、市政に反映させるため、「市長への手紙」の用紙を広報くじ4月15日号及び11月15日号で配布。手紙で市民から市長に直接寄せられた提言等について、各課で調査・検討を行った。

主要な施策の具体的措置状況及び成果

期間	受付数	提言等件数
令和2年4月～令和3年3月	109通	88件

エ 市長と話そう！「ふれあいトーク」

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年度の開催は中止とした。

■ II-2 市民との協働の推進

II-2 市民との協働の推進

(1) 新たな行政運営の検討

第2次総合計画の進行管理のため、実施状況報告書の作成及び市民満足度アンケート調査を実施するとともに、まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証のため、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会でKPI（重要業績評価指標）の確認及び事業効果の検証を実施し、PDCAサイクルの確立に努めながら、各施策の着実な推進を図った。

また、令和2年度は第2次総合計画前期基本計画の最終年度となることから、後期基本計画の策定を行った。

ア 久慈市総合計画の推進

総合計画推進事業費 191千円

市民満足度アンケートの実施

対 象 : 20歳以上の市民 2,000人

調査項目 : 久慈市のまちづくりの取組（総合計画の35施策）の重要度・満足度等

有効回答数 : 761人 (38.1%)

結 果 : 全項目の満足度（5点満点）平均3.023（R1比+0.137）

全項目の重要度（5点満点）平均4.099（R1比+0.011）

イ まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会

協議会開催経費 48千円（政策形成推進経費）

開催回数 1回、出席委員数 10人

ウ 市政戦略会議開催

開催回数 10回

エ 久慈市総合計画後期基本計画の策定

久慈市総合計画後期基本計画に係るSDGs研修会の開催 : 4回

久慈市総合計画後期基本計画策定検討委員会の開催 : 4回

パブリックコメントの実施 : 令和2年10月12日（月）～令和2年11月10日（火）

計画策定日 : 令和2年12月24日

II-2 市民との協働の推進

(2) きめ細やかな行政サービス

令和2年度は、市広報に各種相談日の掲載を毎月1回、法律相談のお知らせを年2回、行政相談のお知らせを年1回行い、市民への周知に努めている。なお、毎年開催している特設人権相談については、新型コロナウイルスの影響により開催できなかった。

また、市民の抱える身近な問題にきめ細かく対応できるよう、人権擁護委員、行政相談委員、弁護士による無料法律相談会を開設した。

事業費 1,277千円

相談名	開催日	相談件数
人権相談	新型コロナウイルス感染症の影響により4月のみ開催、以後中止。	0件
行政相談	新型コロナウイルス感染症の影響により7月まで中止。8月より再開し毎月1回(10月は地区公民館を巡回)。	2件
無料法律相談	毎月3回	263件

II-2 市民との協働の推進	(3) 施設の有効利用
----------------	-------------

未利用施設の有効利用については、市ホームページにて貸付及び売却可能施設として広く紹介する等情報発信を行った。

また、市有施設の有効利用については、令和2年度において15者に施設を貸し付け、財源の確保に努めた。

その他、施設の適正管理に向けて、計画的な施設管理方針等を施設ごとに定めた、「久慈市公共施設等個別施設計画」を策定した。

<令和2年度の建物貸し付け状況>

施設	貸付先	貸付内容
本庁舎	表示灯(株)、盛岡地方法務局、銀行、テレビ局、職員労働組合等9団体	・使用許可 ・シティナビタ、ATM、自動販売機設置 他
分庁舎	久慈広域連合、久慈医師会、岩手医科大学	・事務室、作業場所等として貸付け
旧労務者会館	自衛隊岩手地方協力本部、久慈地区保護司会、個人	・事務室として貸付け

II-2 市民との協働の推進	(4) NPO、ボランティアとの協働の推進
----------------	-----------------------

ア 地域コミュニティ振興事業 ※再掲

多様なコミュニティ団体の活動しやすい環境づくりとして、町内会や地域づくり団体等が行う地域の活性化や協働のまちづくりを推進するための活動に対して補助金を交付する「地域コミュニティ振興事業」を実施し、組織活動のサポートを行った。

- ・実施件数 16件
- ・補助金交付額 10,465千円

イ 地域づくり関連講演会の開催

住民主体の地域づくりに対する市民の意識の向上を図るとともに、地域づくりを支える人材や市民団体の育成を図ることを目的として地域づくり講演会を開催。

令和2年度は、山形地区において、山形町の未来を考える講演会を実施し、令和3年度以降の山形未来づくり指針策定に向けた町民の意識醸成を図った。

主要な施策の具体的措置状況及び成果

日 時	令和2年10月7日（水）14：10～15：15
名 称	山形未来づくり講演会
場 所	山形総合センター3階 講堂
内 容	講演「人口減少待った無し！～オール山形の地域づくり～」 講師 いわて地域づくり支援センター 代表理事 広田 純一 氏

■ II-3 地域づくり活動の推進

II-3 地域づくり活動の推進 (1) 地域コミュニティの拠点づくり

ア ふるさと未来づくり事業の実施 ※再掲

集落支援員2名を配置し、次の事業を実施した。

地域住民がコミュニティ活動に取り組む際の一つの指標となるように、地域のお宝や資源、課題を話し合う場を創出し、結果をまとめ（コミュニティカルテ）、地域住民に還元しながら、ふるさと未来づくり事業（各チーム活動支援など）を実施した。

また、地区単位でのワークショップや講座を通じて、住民主体の地域づくりに関する意識の醸成を図った。

(単位：回)

項目	開催時の名称	回数					内訳
		H28	H29	H30	R1	R2	
出前講座	ミニ講演会、地域づくり勉強会	4	3	1	5	1	山形1
地区単位の地域づくりワークショップ	合同専門委員会、サロン、未来づくり広場、WS、ふるさと点検、夢語り、全体会、ヒアリング	8	21	32	9	3	山形1 夏井2
ワークショップで絞り込んだメニューの実践	チーム活動	16	14	76	78	34	山根3 小久慈24 夏井4 宇部3

イ 市民センターの指定管理者制度導入

大川目市民センターの管理について、大川目町まちづくり協議会との協議を経て、平成30年1月16日に「久慈市大川目市民センターの管理に関する協定」を締結し、指定管理者制度を導入した。

今後も、市民センターの指定管理を希望するコミュニティ団体と随時協議を進めることとしている。

指標	H28	H29	H30	R1	R2
地区公民館の指定管理を行うコミュニティ団体数(団体)	0	0	1	1	1

II-3 地域づくり活動の推進 (2) 住民自治の推進

ア 地域コミュニティ振興事業 ※再掲

多様なコミュニティ団体の活動しやすい環境づくりとして、町内会や地域づくり団体等が行う地域の活性化や協働のまちづくりを推進するための活動に対して補助金を交付する「地域コミュニティ振興事業」を実施し、組織活動のサポートを行った。

- ・実施件数 16件
- ・補助金交付額 10,465千円

◆令和2年度地域コミュニティ振興事業一覧

件数	団体名	事業名・事業内容	補助金 交付額 (千円)
1	畑田・沢里はつ らつサロン	事業名：認知症予防、踊を楽しみ元気を届けるプロジェ クト 事業内容： ・町内会イベント等での踊の披露 ・久慈、九戸地域の社会福祉施設慰問 他	363
2	エリカシーラン ドくじ推進協議 会	事業名：花と緑の安らぎと活みなぎる空間創出プロジ ェクト 事業内容：防災公園へのツツジの植樹	800
3	三日町町内会	事業名：三日町町内会交流事業 事業内容： ・三日町内の歩道にプランターを整備 ・事業を推進することにより世代間の連携と交流を図る	28
4	侍浜の地唄、神 輿、お囃子を継 承する会	事業名：侍浜の地唄、神輿、お囃子の継承事業 事業内容： ・寄贈した神輿を活用するため、用具（担ぎ棒、神輿 台）作成 ・神輿用の半纏作成 ・センター事業や地区公民館等でもお披露目	699
5	小久慈まちづく り協議会	事業名：地域を照らすスマイルイルミネーション事業 事業内容： ・小久慈市民センターにメインイルミネーションを設置 ・地域等にイルミネーションやライトアップ設置の協力 要請 ・点灯式イベントの実施	800
6	ラインクライミ ング山形	事業名：木登り体験交流事業 事業内容： ・交流木登り体験会の開催 ・インストラクター技術研修会の実施	940
7	ガタゴンプロジ ェクト協議会	事業名：ガタゴン夜市事業 事業内容：飲食物、農産物、雑貨等の販売	360
8	荷軽部老人クラ ブ	事業名：集落センター花壇整備工事 事業内容：花壇の環境整備	316
9	荷軽部自治会	事業名：荷軽部自治会いこい施設倉庫設置事業 事業内容：いこい施設整備(冬季間は倉庫として使用)	1,000
10	やまがた芸文会	事業名：平庭高原つつじ祭り俳句大会五十周年記念句集 作成事業 事業内容：第四句集つつじ祭りの製本・印刷 ※過去第三句集まで発刊済み	295
11	戸呂町青年会	事業名：旧戸呂町小学校活用事業	789

		事業内容：施設の管理に伴う備品や事業運営に用いる設備（暖房機等）の購入	
12	関自治会	事業名：関地区世代間交流（夜の探検）事業 事業内容：夜間の活動（親子での昆虫採集や防犯パトロール等）の促進を図るため、防犯灯のLED化工事を行う	520
13	戸呂町地区集落センター	事業名：旧戸呂町小学校校庭照明修繕事業 事業内容：地域活動の利用期間及び利用時間を増加させるため、照明設備の修繕を行う	920
14	荷軽部青年会	事業名：ニカルベタイムス「200号記念事業実施」及び「200号記念誌製作」事業 事業内容： ・地域広報誌の200号記念誌製作 ・200号記念事業の実施	800
15	山形町地域づくり実践区協議会	事業名：地域づくり実践活動等支援事業 事業内容：地域づくり実践活動への支援	835
16	ぐれっと！やまがた街道祭実行委員会	事業名：ぐれっと！やまがた街道祭開催事業 事業内容：ぐれっと！やまがた街道祭の開催	1,000
計			10,465

イ コミュニティ活動備品整備事業 ※再掲

コミュニティ活動備品整備事業

ふるさと活性化創造基金を財源とし、平成26年度から町内会や地域づくり団体等活動に必要な備品の購入に要する経費に対して補助金を交付する「コミュニティ活動備品整備事業」を実施した。

◆令和2年度コミュニティ活動備品整備事業一覧

件数	団体名	事業内容	助成額 (千円)
1	夏井町振興協議会	提灯及び提灯コードの整備	82
2	ふっこう館協議会	冷房機（エアコン）1台の整備	96
3	山口地区産業振興会	冷蔵庫、電子レンジ、扇風機、座卓等の整備	46
4	幸町町内会	消毒用ポンプスタンドの設置、プリンター整備	18
計			242

ウ コミュニティ助成事業 ※再掲

一般財団法人自治総合センターによる宝くじの受託収入を財源として、地域で行う事業または活動に必要な施設・設備の整備を助成する事業により、令和2年度は1団体が備品整備を行った。

◆令和2年度コミュニティ助成事業一覧

団体名	事業内容	助成額 (千円)
田高町内会	物置ほかコミュニティ活動備品の整備	1,900
計		1,900

エ 地域おこし協力隊の設置 ※再掲

人口の減少や高齢化等の進展に伴い、地域の活力の低下が見込まれる本市において、地域おこしに意欲のある都市圏の住民を受け入れ、地域資源を活かした地域の活性化に必要な施策を推進するとともに、市への定住を促進し地域力の充実化を図るため、地域おこし協力隊を令和2年度において3名配置。うち任期満了により1名が退任し、久慈市に定住となった。

◆令和2年度地域おこし協力隊配置状況 ※令和3年3月31日現在

配属先	人数
山根市民センター	1名
林業水産課	1名
産業建設課	1名
計	3名

■ II-4 交流・連携と移住・定住の促進

II-4 交流・連携と移住・定住の促進

(1) 広域圏内の交流・連携の推進

久慈広域連合へ職員6人、岩手県市町村職員実務研修へ2人、岩手県後期高齢者医療広域連合へ1人、岩手県地方税特別滞納整理機構へ1人、環境省環境行政実務研修へ1人を派遣した。

広域連携の取組として、「久慈広域行政研究会」を2回、市町村担当者との打合せ及び会議を3回開催し、広域町村との連携により広域道の駅の整備に取り組んだ。

また、企業グループと広域道の駅整備事業基本契約及び施設整備契約を締結し、設計、建設、運営等に係る協議を重ね、基本設計を完成させるとともに、用地の取得や関係機関との協議、各種許認可申請の準備を行った。

事業費 35,972千円（現年）

39,023千円（明許）

II-4 交流・連携と移住・定住の促進

(2) 国際交流の促進及び姉妹都市・他圏域等との交流・連携の推進

ア 北緯40° ナニャトヤラ連邦会議

歴史的・文化的つながりの深い、八戸・二戸圏域との連携を図るため、八戸市、久慈市、二戸市、青森県三八地域県民局、県北広域振興局による北緯40° ナニャトヤラ連邦会議を開催して協議を行った。

(ア) 北緯40° ナニャトヤラ連邦会議の開催 2回（7月、11月）

(イ) 総合調整連絡会議の開催 2回（6月、10月）※6月は書面開催

(ウ) 専門部会の開催 随時（6専門部会）

イ 北奥羽開発促進協議会

北奥羽地域（岩手県北、秋田県北東、青森県南地域）における地域振興、連携を図るため、北奥羽開発促進協議会定例総会を開催して協議を行った。

北奥羽開発促進協議会定例総会の開催（7月）※書面開催

ウ 三陸沿岸都市会議三陸沿岸都市会議において、共通課題に対する意見交換や課題の解決に取り組んだ。

(ア) 三陸沿岸都市会議の開催（2月・気仙沼市）

(イ) リアス・ハイウェイ早期実現釜石大会（10月・釜石市）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大会は実施せず、構成自治体の市長会議を行った。

エ 岩手三陸連携会議

中長期的に持続可能な三陸沿岸地域の形成に向けて、人口減少対策及び定住促進など、必要な課題について岩手県沿岸市町村が協働で解決することを目的として、岩手県沿岸13市町村が岩手三陸連携会議を開催（1月・陸前高田）し、協議を行った。

オ 三陸復興協議会（2月・宮古市）

三陸復興防災プロジェクトの取組を発展させ、復興の先を見据えた三陸地域の総合的な復興を図っていくことを目的として、岩手県及び沿岸13市町村等による三陸復興協議会を開催し、情報交換を行った。

カ 北いわて未来戦略推進連絡会議（9月、3月・Web開催）

「いわて県民計画（2019～2028）」長期ビジョンに掲げる「北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト」に関する情報共有と広域連携による施策形成・展開に必要な対応を検討するため「北いわて未来戦略推進連絡会議」を開催し、情報交換を行った。

キ 北いわて未来づくりネットワーク

県北地域の女性の雇用・活躍の特色を生かし、企業の人材確保に取り組むとともに、アパレル等の地場産業の高い技術や、日本酒、鶏肉、海産物等の優れた品質等の強みを生かし、未来技術（AI・IoT等）や経営革新等による産業振興を図るため情報共有を行った。

ク 国際交流事業

（ア）久慈市国際交流協議会連携事業

市民及び関係団体等で組織する久慈市国際交流協議会との連携により国際交流事業を展開し、交流の推進及び国際感覚の醸成を図った。

○補助金：100千円

○主な内容：

- ・Hello! World! ～世界を知ろう！～Vol. 5 「BLMって知っていますか？」

令和2年12月18日（金）久慈市役所 車庫棟会議室 参加者：27名

- ・Hello! World! ～世界を知ろう！～Vol. 6 「ダコタ先生とスペイン語を話そう」

令和3年1月29日（金）久慈市役所 車庫棟会議室 参加者：21名

- ・Hello! World! ～世界を知ろう！～Vol. 7「Learn Black History Through Music」

令和3年2月26日（金）久慈市役所 車庫棟会議室 参加者：27名

- ・リトアニア共和国フォーク・アーティスト作品展

令和2年11月9日（月）～12日（木）久慈市役所1階展示スペース

※例年産業まつりに出展していたハロウィーンイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により産業まつりが中止となったため実施できなかった。

（イ）フランクリン市姉妹都市60周年記念事業

アメリカ合衆国フランクリン市と久慈市の姉妹都市締結60周年を記念し、フランクリン市より訪問団の受け入れを想定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度の事業実施を延期することとした。

ケ 都市間交流事業

（ア）鱒ヶ沢町との連携

青森県鱒ヶ沢町と締結した「岩手県久慈市・青森県鱒ヶ沢町歴史文化で結ぶ友好協定」に基づき相互の交流を実施し、10月7日に鱒ヶ沢町で開催された「光信公入部530年記念『歴史文化で結ぶ交流宣言』」において、秋田県横手市、青森県鱒ヶ沢町、青森県弘前市、青森県黒石市、久慈市の5市町による交流宣言を行い、歴史的なつなが

りを後世に伝え、交流の輪を広げていくこととした。

Ⅱ-4 交流・連携と移住・定住の促進	(3) 地域の魅力発信による移住・定住の促進
--------------------	------------------------

市、市内業者、移住者と連携し、市全体を挙げた様々な視点から移住支援を行い、久慈市での生活の魅力を広く発信した。

- ・事業費 1,185千円
 - (内訳) 移住定住促進事業費 102千円
 - 移住定住促進事業費〔地方創生〕 583千円
 - 移住定住促進事業費補助金 500千円

ア 移住者数の推移

移住者とは、市外からの転入者のうち、久慈市の移住相談会やイベント等を経て転入した者や、久慈市の移住支援制度を利用して転入した者を指す。

	H28	H29	H30	R1	R2
年度ごと	12世帯15名	18世帯22名	36世帯40名	14世帯16名	11世帯16名
累計	31世帯45名	49世帯67名	85世帯107名	99世帯123名	110世帯139名

イ 情報発信及びPR活動

事業内容		日時	参加者数
移住相談会等への出展	県主催いわて移住WEEK 個別相談会	R2. 11. 4	1名
	県北局主催北いわて暮らしセミナー	R2. 11. 30	1名
移住定住オンラインツアー	久慈市の魅力発掘！オンラインツアー	R3. 2. 27	21名
その他	移住支援サイト「KUJIターン」	随時	—
	お試し暮らし住宅	5～10月	6名

ウ 空き家バンクの運用

市内にある空き家を有効活用し、移住・定住を促進するために、平成21年度から空き家情報登録制度「空き家バンク」を運用している。物件の登録促進及びホームページでの情報発信を行った。

	H28	H29	H30	R1	R2
空き家バンク登録物件数（累計）	26件	29件	30件	31件	31件
取引可能物件数（各年度末時点）	6件	4件	4件	4件	1件
成約件数（市外在住者の利用件数）	1件	0件	0件	0件	1件 (累計4件)

エ 移住定住促進事業費補助金

移住者が中古住宅を取得・改修する際の経費の一部を補助する。

- ・令和2年度交付実績 1件

■ II-5 社会福祉の充実

II-5 社会福祉の充実 (1) 福祉コミュニティの充実

ア 避難行動要支援者支援事業 ※再掲

高齢者や障がい者等の避難等に支援が必要な方が、災害時に地域の支援によって迅速な避難ができるよう名簿登録を進め、要支援者として446人が名簿登録されている。市と60町内会等と協定を締結し、支え合い、見守り体制を推進し、福祉コミュニティの充実等に取り組んだ。

	名簿登録要支援者	地域支援者
令和3年3月31日現在	446人	837人

イ 社会福祉大会の開催

社会福祉関係者が一堂に会し、地域福祉の向上のため、さらなる協働を誓うとともに、多年にわたり社会福祉の発展に尽くされた人を表彰した。

参加者数	内容	補助金額
118人	社会福祉大会実行委員会に助成 久慈市長表彰 9人・2団体 久慈市社会福祉協議会長表彰 21人・4団体	116千円

ウ 久慈市社会福祉協議会実施事業に対する助成

民間福祉活動の推進を図るため、久慈市社会福祉協議会が実施する次の事業等に対し助成した。

事業名称	内容	補助金額
福祉活動専門員設置事業	専門員1人を配置し、福祉事業を計画的、効率的に実施し、民間地域福祉活動の展開を図った。 ＜主な事業＞地域での支えあい活動のコーディネート及び支援、生活課題の把握・調査、久慈市社会福祉大会の企画・運営、福祉関係団体等の活動支援及び協働事業の推進、障がい者支援の取組の推進、心配ごと相談所の設置運営	4,631千円
ふれあいのまちづくり事業	地域の交流を深め、関係機関や社会資源の有機的な連携を促すことで、地域住民に対し、地域の実情に即した福祉サービスを提供するとともに、福祉サービスを永続的かつ自主的に提供する体制の整備を図った。 ＜主な事業＞ボランティア活動センターの設置運営、ボランティア連絡協議会活動への支援、声の広報事業の実施、あんしんサポート事業の実施、ふれあいサロン事業実施の支援、除雪支援活動への支援、福祉教育の推進、各種講習会・教室の実施	3,540千円
計		8,171千円

エ 福祉の村指定管理事業・福祉の村屋内温水プール指定管理事業

市民が心身ともに安らぎと潤いを求め、積極的な健康づくりを推進することができる総合的な福祉拠点施設「福祉の村」の効率的な管理運営を行うとともに利用促進に努めた。

利用者数				委託料	
温水プール	茶室	野外ステージ	野外広場他	福祉の村	5,769千円
26,696人	37人	532人	6,321人	温水プール	19,040千円

II-5 社会福祉の充実 (2) 生活困窮者等への支援体制の充実

ア 生活困窮者自立支援事業

生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給その他の支援を行った。

事業名	事業内容	実績
① 自立相談支援事業	相談支援員3名を配置し、就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のためのプラン作成を実施する。 (委託先 久慈市社会福祉協議会)	新規相談 153件
② 住居確保給付金	離職により住居を失った生活困窮者に対し家賃相当を支給(有期)し、住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行う。 (市直営)	10世帯
③ 家計相談支援事業	相談支援員1名を配置し、債務者相談窓口や資金貸付者等と連携のうえ、収入・支出の把握、滞納の解消や各種給付、貸付制度の利用支援を行う。 (委託先 久慈市社会福祉協議会)	支援件数 42件
④ 就労準備支援事業	相談支援員1名(自立相談支援員、就労支援員兼務)を配置し、日常生活や社会生活の自立、就労自立に向けた支援を行う。 (委託先 久慈市社会福祉協議会)	支援件数 3件

イ 生活保護

令和2年度は、次のとおり扶助した。

生活保護の状況

区分	延世帯数	延人数	扶助費の支払状況	
			支払額	構成比
生活扶助	3,398世帯	3,906人	179,407千円	30.20%
住宅扶助	2,484世帯	2,840人	56,855千円	9.57%
教育扶助	55世帯	65人	574千円	0.10%
介護扶助	766世帯	798人	12,588千円	2.12%
医療扶助	3,506世帯	3,944人	316,007千円	53.19%

出産扶助	0世帯	0人	0千円	0.00%
生業扶助	15世帯	16人	210千円	0.04%
葬祭扶助	1世帯	1人	220千円	0.04%
就労自立給付金	0世帯	0人	0千円	0.00%
施設事務費	173世帯	173人	28,180千円	4.74%
合計	10,398世帯	11,743人	594,041千円	100.00%

ウ 久慈市民生児童委員協議会

地域において最も身近な相談役である民生児童委員が、地域住民に対して適切な相談・援助活動を推進できるよう民生児童委員協議会活動に対し助成した。

地区協議会数	委員数	補助金額
8地区	133人	5,480千円

[活動状況]

	相談・支援件数	訪問等回数	連絡調整回数	活動延日数
民生児童委員	5,233件	16,151回	4,386回	13,754日
主任児童委員	609件	135回	641回	1,480日

エ 福祉灯油等購入費助成事業

灯油価格の状況等を踏まえ、低所得者世帯等の冬期間の生活需要に対する支援を図るため、福祉灯油等購入費助成事業実施要綱を定め、助成事務を実施した。

(助成金の額は1世帯あたり5千円)

対象世帯数	助成世帯	助成額	支給率
3,341世帯	3,068世帯	15,340千円	91.8%

オ 医療費助成事業の推進

寡婦等医療費助成事業

寡婦等に対し、医療費の一部を給付し、寡婦家庭の健康保持と福祉の増進を図った。

区 分	令和3年3月末現在 受給者数	給付件数	給付額
寡 婦 等	204人	2,471件	7,194千円

II-5 社会福祉の充実

(3) 国民健康保険・国民年金制度の啓発

ア 国民健康保険特別会計事業勘定

(ア) 保険給付事業

被保険者(平均7,915人)の疾病、負傷、出産、葬祭に対し、次のとおり保険給付を行った。

a 療養諸費(一般被保険者及び退職被保険者等の総医療費3,043,198千円に対する療養給付費及び療養費等)	108,547件	2,247,355千円
b 高額療養費	6,039件	351,672千円
c 出産育児一時金等	14件	5,591千円

d 葬祭費	50 件	1,500 千円
e 移送費	0 件	0 千円

(イ) 保健事業

人間ドック利用料への助成

疾病の早期発見に努め、早期治療を行い健康増進等に資するため、人間ドック受診者に対し、利用料の助成を行った。(補助率 1/2、上限 2 万円)

事業費 96 件 1,915 千円

(ウ) 東日本大震災に係る一部負担金の免除事業【復興関係】

平成 23 年 7 月 1 日から実施している証明書発行による一部負担金の免除。期間について令和 3 年 12 月 31 日まで延長して実施している。

a 一部負担金免除証明書発行者数 160 名 (年度末時点)

b 一部負担金免除総額 12,267 千円

(エ) 令和元年台風第 19 号に係る一部負担金の免除事業

令和元年 10 月 12 日から令和 2 年 9 月 30 日まで、証明書発行による一部負担金の免除を実施した。

a 一部負担金免除証明書発行者数 70 名 (令和 2 年 9 月末時点)

b 一部負担金免除総額 6,686 千円

イ 国民年金事業の啓発

窓口来訪の相談者に対し、日本年金機構と連携して相談内容の解決に努めるとともに、被保険者に対して、免除制度や割引納付、付加年金についての案内、納付の相談を実施するとともに、受給資格短縮の制度改正に係る広報、相談も積極的に行い、受給資格並びに受給額の確保に努めた。

当市の年金受給権者(重複受給有) 15,202 人、被保険者 4,979 人であり窓口取扱件数は 6,371 件であった。(年度末時点)

また、市広報で国民年金制度の周知や保険料未納対策の啓発に努めた。

■ II-6 高齢者福祉の充実

II-6 高齢者福祉の充実 (1) 地域包括ケアシステムの促進

ア 地域包括支援事業（事業費 52,379千円）

市民の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域において市民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、地域包括支援センターの運営、各事業を実施した。

(ア) 総合相談支援業務

年度	H28	H29	H30	R 1	R 2
相談件数合計	3,265	2,000	2,136	2,365	2,479

(イ) 権利擁護業務

地域において尊厳のある生活を維持し安心して生活ができるよう、高齢者の権利擁護のための支援を行った。虐待の相談・通報に対して、本人、家族、関係者等への面接による事実確認、関係者による支援策の検討を行い、悪化・再発防止に努めた。また、虐待の発生防止のため各種相談業務（訪問・実態把握）、居宅介護支援事業所、医療機関などの関係機関と連携を深め、虐待の早期発見・早期対応に努めた。

判断能力が十分でない高齢者等への支援として、成年後見制度利用支援事業により市長申立に係る必要な経費を負担した。

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

a 関係機関との連携

(a) 介護支援専門員に対する支援と連携

高齢者の生活全体を包括的・継続的に支えるうえで、中心的な役割を果たしている介護支援専門員に対し、地域ケア会議や各種研修会などを通じて関係機関等とのネットワークの構築支援、ケアマネジメント実践力の向上支援、困難事例の対応に関する個別支援等を行った。

(b) 関係機関・関係団体との連携

介護サービス事業所への訪問や、民生児童委員協議会定例会への参加により情報の収集・交換に努めているほか、各相談や事業において関係機関（医療機関、社会福祉協議会、介護サービス事業所、ボランティア団体）等と連携を図った。

b 地域ケア会議

支援が必要な高齢者の生活を地域全体で支えていくため、多様な関係者などと一緒に望ましい支援のあり方、必要な支援等の内容について検討した。

(a) 地域ケア会議

区分	開催回数	事例数
自立支援型	7回	14ケース
支援困難事例	2回	2ケース

(b) 地域ケア推進会議

内 容	回数
テーマ「見守りの充実」 ※第2回久慈市地域包括支援センター運営協議会において実施 (新型コロナウイルス感染症の影響等により書面実施)	1回

(c) 研修会

内 容	回数
岩手県のアドバイザー派遣事業を活用し、対象別に自立支援型地域ケア会議に関する研修会を実施した。	4回

(エ) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

ケアプラン作成数（要支援1、要支援2、総合事業）

年度	H28	H29	H30	R 1	R 2
作成数合計	4,817	5,046	5,311	4,823	4,295

(オ) 在宅医療・介護連携推進事業

a 多職種研修会等

医療・介護の連携を円滑に推進するための基盤作りとして多職種研修会等を行っているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響等により中止し、地域ケア会議や認知症総合支援事業の研修会等を通じて連携の推進を図った。

b 医療・介護関係者の情報共有支援（こうしたいノート等）

久慈市の医療と介護の現状を知り、解決の手立てを考えるため、平成29・30年度に「医療と介護のデザインプロジェクト（主催：久慈市 共催：岩手県立久慈病院）」を実施。医療、介護に関心の高い高校生以上の市民、医療、介護、行政関係者で意見交換を行い作成した「どうしましたカード～私と医療をつなぐメモ～」、「こうしたいノート（久慈市版エンディングノート）」について、医療機関等に配架するなどして普及啓発を行った。

c 地域住民への普及啓発

医療と介護が必要になっても地域で暮らし続けるためにできることを考える機会として平成29年度からシンポジウムや講演会を開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響等により中止した。

d 北三陸ネット（ICT）の活用による医療と介護の連携

医療・介護関係機関の情報共有や意見交換等に活用し、医療と介護の連携を図っているほか、北三陸ネットの情報共有に同意する市民の増加に向けて、運営するNPO法人北三陸塾と連携し、周知を図った。令和2年度は、計13回開かれたオンライン会議に参加し、今後の活用促進やシステム更新等について意見交換を行った。

e 在宅医療・介護連携に関する相談支援

医療・介護関係者から連携に関する相談を受け付け、必要な情報の提供や調整等を行った。

内 容	件数	従事者
ACP、介護保険外サービス	2件	保健師1名（兼務） 事務員1名（兼務）

f 在宅医療・救急医療連携

人生の最終段階における在宅（施設を含む。）での療養ニーズを実現するため、岩手県立久慈病院、久慈医師会、久慈広域連合消防本部など関係機関との連携体制の構築を目指している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の状況等を考慮し、会議は行わず、個別訪問による実態把握と意見交換等を行った。

内 容	回数
看取り対応等に関する実態把握と意見交換等（個別訪問）	3回

(カ) 生活支援体制整備事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、ボランティアやNPOなど多様な事業主体との連携を強化し、地域の支え合い活動を広げることなどを目的に実施した。

a 生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置

日常的な支え合いの充実を図るため、地域資源・課題の把握や、普及啓発、ネットワーク化を進める役割を持っている。令和2年度は地域団体を訪問しての支え合いの普及啓発活動や、各種サービス実施団体の聞き取り調査等を行った。

配置：NPO法人元気てらす縁1名（委託）

b 協議体

高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けることができるよう、各種サービス実施団体等の連携強化と生活支援体制の充実に向けて「久慈市第1層協議体」を平成31年3月26日に設立。支え合い活動に関する意見交換等を行っているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響等により会議実施は中止した。

(キ) 認知症総合支援事業

a 認知症への理解を深めるための普及啓発の推進

(a) 認知症サポーター養成事業

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者を増やすために、地域住民・職域・学校を対象に講座を開催した。

対 象	回数	実績
小学校、中学校、市民センター、市役所、民間企業等	12回	360人

(b) 認知症ケアパスの配布及び活用

認知症の状態に応じたサービス提供の流れ、相談窓口、認知症の予防について示した「認知症ケアパス」を市内の医療・介護施設等関係機関に配布、また認知症サポーター養成講座の資料としても活用した。

(c) 各種普及啓発事業

内 容	回数	参加者
・VR認知症体験会	1回	30人（定員30人）
・認知症講演会	1回	来場370人 当日オンライン視聴150人程度

b 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護の提供

(a) 認知症初期集中支援チーム

認知症専門医と医療・介護・福祉の専門職が認知症への早期対応・早期支援を目指して活動するチームを平成29年度より設置している。

体制	対応実績
チーム医…県立久慈病院（委託）、リハビリタウンくじ（委託） チーム員…NPO法人元気でらす縁（委託）、地域包括支援センター	0件

(b) 認知症初期集中支援チーム員会議

認知症について早期に適切な医療や介護などが受けられるようチームで支援していくことを目的に、令和2年度は野田村や普代村と合同で3回実施した。

c 認知症の人やその家族の視点の重視

認知症地域支援推進員を配置し、認知症の方やその家族の相談支援、認知症の普及啓発、医療・介護等の関係機関をつなぐ連携支援を行っている。令和2年度は認知症ケアの現状や課題の把握を行ったほか、認知症普及啓発事業等の実施や実施協力を行った。

配置：NPO法人元気でらす縁2名（委託）

d 市内ボランティア団体の活動支援

市内で認知症カフェを開催しているボランティア団体への活動支援を実施。令和2年度は市共催によりミニ講演会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響等により中止となった。

イ 介護予防・日常生活支援総合事業（事業費 16,294千円）

(ア) わんつかつこ訪問サービス事業（訪問B）

日常生活支援を必要とする高齢者を対象に「わんつかつこ訪問サービス従事者養成講座」を受講し登録した住民により、一時的な家事支援等のサービスを提供した。

訪問サービス従事者養成講座修了登録者数	11人
訪問サービス提供者数	4人
訪問サービス提供回数	138回

(イ) わんつかつこ教室（通所C）

要支援認定者等を対象に、作業療法士等の指導のもと短期集中リハビリ事業を実施した。

実施回数	修了者
1回（約3カ月間・週1回実施）	4人（申請者6人）

(ウ) 一般介護予防事業

a 地域介護予防活動支援事業

(a) いきいき百歳体操

週に1回以上、身近な地域において、住民主体の継続的かつ効果的な介護予防

を行う「通いの場」に参加することで、住民同士が支え合い繋がることを目的として取り組んだ。また、ほとんどの団体が「いきいき百歳体操」と併せて口腔機能の向上を目指した「かみかみ百歳体操」に取り組んだ。

区分	団体数	参加者数
いきいき百歳体操	68団体	1,010人
かみかみ百歳体操	61団体	980人

(b) 昼食付いきいき百歳体操送迎サービス

閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者等に対して、「昼食付いきいき百歳体操」の送迎支援をすることにより、社会的孤立の解消及び自立生活の助長を図る事業だが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響等により中止した。

(c) 久慈ポンポン、いきいきフライデー

久慈ポンポンは、いきいき百歳体操参加者等の有志により自主グループとしてチアダンス活動をしており慰問等を行っている。また会員同士の交流も活発に行われ、生きがいづくりとなっている。いきいきフライデーは、平成28～30年度に実施した「認知症予防のための健康づくり教室」卒業者により自主グループとして活動しており、健康づくり・介護予防の活動を継続できるように支援した。

区分	回数	実人数	延人数
久慈ポンポン	6回	37人	142人
いきいきフライデー	3回	11人	18人

(d) いきいき百歳体操団体「コース選択式個別教室」

新型コロナウイルス感染症の影響等により実施を見送った講演会の代替えとして実施。運動・レク・栄養・口腔・支え合いなど8コースを設定し、団体の希望に応じて個別教室を開催した。

内 容	回数
介護予防体操、腰痛・膝痛予防体操、いきいき百歳体操の再確認、レク、栄養、口腔、支え合い、救急受診	83回

b 介護予防普及啓発事業

(a) 講演会の開催

人と人とのつながりによる住民が主体の「通いの場」の継続的拡大と、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できる地域の実現を目指し、例年講演会等を開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響等により、内容を縮小・変更して実施した。

内 容	参加者
・いきいき百歳体操における90歳以上の参加者表彰（18名） ※講演会は新型コロナウイルス感染症の影響等により中止。代替えとして、広報くじへの健康情報等定期掲載と、いきいき百歳体操団体を対象とした活動支援事業「コース選択式個別教室（上記（ウ） a（d）に記載。）」を実施した。	—

(b) 久慈市「いきいき百歳体操」情報誌～地域でつくるみんなの元気～発行

「いきいき百歳体操」を実施している団体の特徴や活動内容、支援内容等を掲載した情報誌を発行・配布し、活動を紹介した。

(c) 各種出前講座

依頼のある団体等に対し、介護予防に役立つ基本的な知識や社会参加の大切さなどの普及啓発を行っているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響等により実施を見送った。

※いきいき百歳体操団体を対象とした「コース選択式個別教室（上記（ウ） a（d）に記載。）」を除く。

ウ 老人保護事業

施設の種類及び名称	養護老人ホーム			
	養寿荘 (久慈市)	松寿荘 (雫石町)	津軽ひかり荘 (弘前市)	葛葉荘 (葛巻町)
被措置者数 (令和3年3月31日現在)	40人	2人	1人	1人
措置費	84,422千円			

エ 緊急通報体制支援事業 ※再掲

在宅高齢者等の見守りと急病などに迅速な対応を図るため、緊急通報装置の貸与を行った。緊急通報装置の貸与数は259台（うち新規設置31台）となっており、高齢者等の見守り体制を整えた。（事業費 9,787千円）

総設置台数	受報件数（うち正報件数）	利用者負担徴収額
259台	940件（12件）	210千円

オ 老人福祉施設の管理運営

老人福祉施設の効率的な管理運営と施設サービスの質の向上を図るため、指定管理者制度を導入している。

指定管理者	指定管理施設
久慈市社会福祉事業団	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームぎんたらず久慈 ・養護老人ホーム養寿荘 ・元気の泉デイサービスセンター ・大川目地区デイサービスセンター ・山根地区デイサービスセンター ・宇部地区デイサービスセンター
久慈市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・山形老人福祉センター
山形福祉会	<ul style="list-style-type: none"> ・山形地区デイサービスセンター ・久慈市高齢者生活福祉センター

Ⅱ-6 高齢者福祉の充実	(2) 介護サービスの充実
--------------	---------------

ア 介護保険制度の充実

久慈広域連合と連携して、安定した介護保険の運営を図るため、要介護認定業務をはじめとした介護保険制度運営に係る業務を行った。

また、利用者の利便性を図るため、介護保険に係る各種申請の受付及び相談対応等の窓口業務を行った。

高齢者に占める要介護（要支援）認定者数（第1号被保険者）

（単位：人、令和3年3月末現在）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
315	225	551	348	261	318	162	2,180

イ 家族介護用品支給事業

要介護者を在宅で介護している家族介護者の身体的・精神的・経済的負担を軽減するとともに、要介護者の在宅生活の継続支援することを目的に、介護用品（おむつ、おむつかバー、尿とりパット、使い捨て手袋、清拭剤、ドライシャンプー、口腔ケア用品、消毒剤等、とろみ調整剤、防水シーツ、その他市長が認める介護用品）を支給した。

・対象者数 96人、支給額 3,713千円

ウ 高齢者及び障害者にやさしい住まいづくり推進事業補助金

高齢者及び重度身体障害者の自立と介護者の負担軽減を図るため、住宅の改善に必要な経費の一部（対象経費から20万円を控除）を助成した。（対象経費上限80万円、補助率2/3、補助額上限40万円）

・対象件数 10件、補助額 2,912千円

エ 社会福祉法人介護保険サービス利用者負担額軽減制度事業補助金

生計困難者等の利用者負担額を軽減した社会福祉法人に対し補助金を交付した。

・対象法人 1法人、補助額 148千円

オ 介護施設等整備事業費補助金

認知症デイサービス事業所（利用者定員12人）1施設の施設整備に必要な経費に対して補助した。

・補助額 11,900千円

Ⅱ-6 高齢者福祉の充実 (3) 生きがいづくりへの支援

ア ふれあいサロン事業 ※再掲

一人暮らし高齢者の引きこもりなどを解消するため高齢者が住みなれた地域で生きがいを持ち社会参加が図られるよう、地域住民が主体となって活動する事業を支援した。

実施団体数	延参加者数	延実施回数	事業費
90箇所	7,539人	973回	1,092千円

イ 高齢化対策指導員設置事業 ※再掲

高齢者の社会参加及び生きがい活動を促進するため、各種事業の企画立案、実施及び老人クラブの相談指導に従事する専門職員を配置した。(事業費 3,372千円)

ウ 生きがい対策

在宅老人の生きがい対策として、趣味創作活動、老人スポーツ大会及び老人クラブ活動への助成を行った。

事業名	補助金額	備考
いきいきシニアスポーツ大会	—	市大会：新型コロナウイルス感染防止のため中止 県大会：新型コロナウイルス感染防止のため中止
高齢者生きがいづくり事業	168千円	産業まつり「老人クラブ作品展示即売」中止 「趣味の作品展示即売会」158点出品※展示のみ実施 ねんりん講座 開催：延5回、参加者：145人
老人クラブ補助金	1,989千円	久慈市老人クラブ連合会 552千円 地区老人クラブ(61団体) 1,437千円

エ 敬老事業(敬老会)

開催箇所数	対象者数	出席者数	出席率	備考
12箇所	5,960人	276人	4.6%	久慈市社会福祉協議会に委託 委託料 7,323千円

オ 長寿祝金支給事業

対象年齢	対象者数	支給内容
88歳	243人	10千円
100歳	14人	100千円

カ 保健事業

人間ドック利用料への助成

後期高齢者の疾病の早期発見に努め、早期治療を行い健康増進等に資するため、人間ドック受診者に対し、利用料の助成を行った。(補助率1/2、上限2万円)

事業費 48件 951千円

キ 後期高齢者医療特別会計

被保険者(平均5,959人)の医療給付を岩手県後期高齢者医療広域連合で行った。

医療費(一部負担金を除く) 3,436,817千円

■ II-7 障がい者福祉の充実

II-7 障がい者福祉の充実 (1) 障がい福祉サービスの充実

障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、次の各事業を実施した。

ア 自立支援給付

(ア) 介護給付費 (令和2年度分)

	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	療養介護
利用実員	22人	2人		14人
延日数等	1,818時間	233時間		5,099日
給付費	5,888千円	898千円		4,288千円
	生活介護	短期入所	施設入所支援	
利用実員	119人	15人	84人	
延日数等	25,992日	2,045日	30,207日	
給付費	296,977千円	11,070千円	128,736千円	

(イ) 訓練等給付費 (令和2年度分)

	グループホーム	自立訓練(機能)	自立訓練(生活)	宿泊型自立訓練
利用実員	58人		16人	9人
延日数等	20,165日		3,352日	3,239日
給付費	86,016千円		25,454千円	16,457千円
	就労移行支援	就労継続A	就労継続B	
利用実員	2人	6人	150人	
延日数等	528日	1,330日	32,203日	
給付費	2,350千円	8,788千円	232,863千円	

(ウ) 療養介護医療

14人 168月 給付費 15,074千円

(エ) 自立支援医療

更生医療 件数 65件 給付額 14,091千円

育成医療 件数 39件 給付額 213千円

(オ) 補装具(費)

件数 103件 給付額 17,266千円

イ 地域生活支援事業

(ア) 日常生活用具給付事業

件数 1,054件 事業費 10,076千円

(イ) 移動支援事業

利用実員 4人 利用時間数 132時間 事業費 569千円

(ウ) 訪問入浴事業

利用実員 1人 利用延回数 86回 事業費 976千円

ウ その他の障害者福祉

(ア) 障害者手帳交付申請用診断書料補助金

件数 177件 事業費 467千円

(イ) 在宅酸素療法患者酸素濃縮装置使用助成金

利用者数 6人 事業費 126千円

エ 特別障害者手当等の給付

手当の種別	実員数	延人数	給付額
特別障害者手当	33人	300人	8,198千円
障害児福祉手当	20人	221人	3,286千円
在宅重度障害者家族介護慰労手当	0人	0人	0千円

II-7 障がい者福祉の充実	(2) 社会参加への支援
----------------	--------------

ア 地域生活支援事業

(ア) 相談支援事業

地域の障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者や障害者の介護を行う者からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言等を行うことを目的に、久慈広域4市町村共同事業として、社会福祉法人天神会、修倫会、社団医療法人祐和会の3法人に委託して実施した。(事業費 10,478千円)

(イ) 地域活動支援センター

創作的活動や生産活動の機会の提供、地域との交流の促進により、障害者の地域生活の支援を行った。

a 地域活動支援センター地域生活支援事業

主に精神障害者に対し創作的活動等の機会を提供する事業として、久慈広域4市町村の共同で、社団医療法人祐和会に委託して実施した。(事業費 10,478千円)

b 地域活動支援センター障害者デイサービス事業

障害者に対し創作的活動等の機会の提供や機能訓練を行うデイサービス事業者に補助して実施した。(事業費 27,934千円)

・実利用者数 41人、利用延日数 3,817日

c 地域活動支援センター作業所型事業運営費助成事業

(a) 地域活動支援センター「チャレンジランド」

・事業主体 社会福祉法人久慈市社会福祉協議会

・開設日数 週3日、利用人員 9人、補助金額 2,621千円

(b) 地域活動支援センター「どんぐり工房」

・事業主体 特定非営利活動法人 どんぐり工房

・開設日数 週5日、利用人員 10人、補助金額 4,715千円

(ウ) 日中一時支援事業

障害者等を、宿泊を伴わず一時的に預かり、訓練及び介護等の日中活動の場を提

供することにより、障害者の家族の就労支援や一時的な休息を目的とするものであり、事業者に補助して実施した。（事業費 5,094千円）

- ・実利用者数 29人、利用延日数 2,077日

(エ) 自動車改造助成事業 1件（事業費 100千円）

(オ) コミュニケーション支援事業

聴覚障害等のため、意思疎通を図ることに支障がある人に、手話や要約筆記を行なう者を派遣した。（事業費 17千円）

- ・利用延件数 4件

(カ) 手話奉仕員養成講座

ろうあ者等の日常生活を支援するボランティア通訳等の人材育成を図るため、年26回のカリキュラムで手話奉仕員養成講座を委託により実施した。（事業費 598千円）

- ・受講者数 12人、手話奉仕員登録者累計 54人

イ スポーツ・文化事業

岩手県障がい者スポーツ大会への参加

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

ウ 福祉タクシー事業

重度障害者に対し、タクシー料金の一部助成(基本料金)を行うことにより社会参加の促進を図った。（事業費 1,694千円）

- ・利用者数 219人

Ⅱ-7 障がい者福祉の充実	(3) 支援体制の充実
---------------	-------------

ア 地域障害者自立支援協議会

平成18年9月に久慈地域4市町村合同で立ち上げた久慈地域障害者自立支援協議会に課題別に4つの分科会を設置し、関係機関との連携、障害者等への支援体制の在り方検討、地域課題の掘り起こし、障害理解に資する事業等を行った。

委員構成	20人（相談支援事業者、福祉サービス事業者、保健・医療、福祉、教育、就労関係機関、障害者団体等）
開催回数	2回
協議内容	事業計画について、就労系障害福祉サービス利用に係る取扱いについて等

(ア) 分科会等

- ・運営会議 平成20年4月1日設置 構成員 12人
- ・療育分科会 平成19年6月19日設置 構成員 22人
- ・生活支援分科会 平成19年11月2日設置 構成員 16人
- ・就労支援分科会 平成20年1月17日設置 構成員 23人

(イ) 各事業の共同実施

- ・障がい者アート研修会

障害者支援施設等の職員を対象に、障がい者の創作活動への支援技術等を学ぶ研修会を開催した。

1月27日 久慈市総合福祉センター 参加者11名

・障がい者アート作品展

障害者支援施設等の利用者が制作した作品の展示会を実施した。

12月3日～9日 久慈市文化会館 展示作品数102点

イ 久慈地域成年後見センター事業

成年後見制度の利用の促進を図るため、久慈広域4市町村共同事業として、社会福祉法人久慈市社会福祉協議会に委託して実施した。（事業費 4,627千円）

- ・個別相談対応件数 延べ252件（うち久慈市166件）
- ・申立支援実件数 11件
- ・市民後見人フォローアップ研修（7月21日、1月22日） 受講者 延べ22名
- ・市民セミナー開催 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

ウ チャレンジド結いっこやませの里連絡協議会

障害者の社会参加と生活の質の向上のため実施している事業。

- ・結いっこフェスタ、講演会
- 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

エ 医療費助成事業の推進

重度心身障害者医療費助成事業

重度心身障害者に対し、疾病等による医療費の一部を給付し、生活の安定と福祉の増進を図った。

区 分	令和3年3月末現在 受給者数	給付件数	給付額
重 度 一 般	489 人	6,932 件	45,827 千円
重 度 後 期	400 人	4,862 件	16,223 千円
合 計	889 人	11,794 件	62,050 千円

■ II-8 地域医療の充実

II-8 地域医療の充実 (1) 医療機関の充実

ア 医師確保対策 ※再掲

県や医療機関に対し、県立久慈病院において不足している診療科の医師の充足・確保について継続して要望を実施した。

イ 医師の人材育成 ※再掲

(ア) 地域医療人材育成事業

例年、中学生を対象とする、県立久慈病院医師による出前講座等を実施する地域医療人材育成事業（久慈保健所主催）に参画し、長期的な視野で久慈地域の医療を担う人材育成に取り組んでいたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から事業を中止した。

(イ) 岩手県国民健康保険団体連合会市町村医師養成事業

将来、岩手県内の県立病院及び市町村立病院等の医師として業務に従事しようとする者に対し、県と市町村（岩手県国民健康保険団体連合会）が協同で修学資金を貸し付けする事業に負担金を支出した。（事業費 2,457千円）

ウ 看護師養成事業

看護学校等に修学し、久慈市内の医療施設において看護師の業務に従事しようとする者に対し、奨学資金の貸し付けを行った。（事業費 2,520千円）

事業内容	貸付対象者	貸付決定額
看護師養成奨学資金の貸付	3人	2,520,000円 (月額80,000円×2人+月額50,000円×1人)×12月

エ 休日当番医事業

休日における受診機会を確保するとともに、救急医療機関である中核病院との役割分担と連携により休日における救急医療体制の充実を図った。（事業費 4,361千円）

委託先	実施日数	受診者数
一般社団法人久慈医師会	72日	482人

オ 応急救護体制の充実

公共施設に設置する自動体外式除細動器（AED）の使用しやすい環境を整備するため案内掲示を実施するなど適切な管理に努めたほか、イベント等への貸し出しを行い応急救護体制の充実を図った。（事業費 975千円）

区分	内容
AEDの貸出件数	8件（延119日）
公共施設のAED設置台数	22台

Ⅱ-8 地域医療の充実

(2) 医療機関の連携

ア 北三陸ネットの運用支援

久慈医療圏（岩手県久慈市、洋野町、野田村、普代村）において、病院、診療所（内科／歯科）、薬局、介護施設などが保有する患者情報等を共有・バックアップし、地域の医療及び介護サービスの向上と災害時の対応強化を図るために構築した、地域医療情報連携ネットワークシステム（北三陸ネット）に係る利用料検討委員会に参画し、北三陸ネットの運用・普及面での支援を行った。

■ II-9 保健活動の充実

II-9 保健活動の充実 (1) 次世代からの健康づくりの推進

ア 母子保健の充実

子どもを望む夫婦への特定不妊治療への助成を継続、併せて、平成27年10月から岩手県の周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」を運用し、ハイリスクの妊産婦、新生児について医療機関と情報交換を行い、訪問等の支援を迅速に行っている。

平成29年度からは、県立久慈病院と管内市町村、保健所の母子担当者による連絡会を開催し、周産期の課題の検討とともにハイリスクの妊産婦と乳幼児等への迅速な支援に繋げている。

(事業費 26,560千円)

区分	開催回数等	参加者等	事業内容
母子健康手帳交付	随 時	178人	届出により交付
赤ちゃん手帳交付	随 時	185人	届出により交付
妊婦一般健康診査	随 時	延 2102人	B型肝炎検査等
乳児一般健康診査	随 時	延 525人	1か月、3か月、9か月児健診
乳幼児集団健康診査			
・6か月児	月1回	128人	健診(小児科)、保健指導
・1歳6か月児	月1回	180人	健診(小児科・歯科)、保健指導
・3歳児	月1回	230人	健診(小児科・歯科)、保健指導
・乳幼児精密健康診査	随 時	6人	6か月、1歳6か月、3歳児
乳幼児相談			
・4～5か月児	月1回	119人	離乳食、育児指導
・1歳児	月1回	106人	歯磨き、保健指導
精密検査・発達相談	7回	延 24人	発達・言葉の相談、指導
歯科保健			
・幼児歯科健診	随 時	延 330人	2歳、2歳6か月児歯科健診
・山形地区歯科事業	随 時	12人	未就学児及び歯の多い園児への歯みがき指導
・妊婦歯科健康診査	随 時	102人	妊婦歯科健診、保健指導
妊産婦・乳幼児訪問	随 時	延 611人	妊産婦・乳幼児等の訪問
随時相談・電話相談	随 時	延 1905件	妊産婦・乳幼児等の相談
早期療育	月1回	延 94人	発達支援
遊びの教室	10回	延 35人	親子教室9回、自由相談1回
思春期事業	7回	中学校6校	中学生の君たちへ～生の問題と命の問題～他

※令和2年度乳幼児集団健康診査、乳幼児相談については、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から中止した月もあり。

イ 養育医療給付

医療を必要とする未熟児等に対する医療の給付事業

(事業費 1,150千円)

区分	給付実人員	給付延べ件数	給付延べ日数
養育医療給付	2人	5件	89日

ウ 新生児聴覚検査補助金交付事業

子どもの聴覚に関する異常を早期に発見し、早期の療育に繋げることにより、聴覚障害による音声言語発達等への影響を最小限に抑えるため、実施する聴覚検査に要する経費に対し、補助金を交付する。
(事業費 794千円)

区分	受検者数
新生児聴覚検査	176件

II-9 保健活動の充実 (2) 成人の健康づくりの推進

ア 健康診断等の普及啓発 ※再掲

生活習慣病やがんなど疾病の予防及び早期発見を図るため、各種検診事業を実施した。また、各種がん検診の普及啓発を行い、健康に対する意識の高揚と精密検査の受診勧奨に努めた。
(事業費 51,140千円)

(ア) 各種がん検診等

区分	対象者	受診者	受診率	精密検査			がんであった者
				対象者	受診者	受診率	
胃がん検診	40歳以上 (12,924人)	317人	2.5%	125人	110人	88.0%	1人
肺がん検診	40歳以上 (12,924人)	4,091人	31.7%	89人	76人	85.4%	5人
大腸がん検診	40歳以上 (12,924人)	3,845人	29.8%	277人	234人	84.5%	16人
子宮頸がん検診	20歳以上女性 (8,257人)	2,325人	28.2%	32人	27人	84.4%	0人
乳がん検診	40歳以上女性 (7,660人)	2,706人	35.3%	20人	18人	90.0%	3人
前立腺がん検診	50歳以上男性 (5,010人)	1,592人	31.8%	129人	78人	60.5%	6人

※1 対象者数=40歳以上人口 - 40歳以上就業者 + 農林水産業従事者 - 要介護者

※2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、単独の胃がん検診を中止した(例年2,000人前後受診)

※3 子宮頸がん検診と乳がん検診は隔年受診のため、受診者数は直近2年度分を合算。

※4 「精密検査対象者」及び「がんであった者」については、令和元年度に受診した各種がん検診の結果、精密検査の対象となり、令和2年度に結果が判明したものを。

区分	対象者	受診者数	肝炎であった者
肝炎ウイルス検診	40歳以上で過去に肝炎ウイルス検診を受けたことのない方 (2,018人)	243人	B型：2人 C型：0人

(イ) 各種健康診査

区分	対象者	受診者数	受診率	要指導	要医療
後期高齢者健康診査	5,981人	1,349人	22.6%	483人	656人
基本健康診査	285人	38人	13.3%	12人	26人

イ 保健事業

個人の適性に応じて、主体的に健康づくりの取り組みができるように、地区健康教室や健診結果説明会等を実施した。

また、市民が活動的に生活できるように、健康に関する情報を提供した。

(事業費 1,036 千円)

区分	開催回数等	参加者数	事業内容
健康教育	23回	延 236人	地区における健康教育
	2回	延 44人	脳卒中予防対策事業
	0回	0人	特定保健指導教室
健康相談	36回	延 555人	保健師や栄養士による個別の多項目健診事後指導会・地区健康相談
訪問指導	随 時	延 33人	
組織育成等	13回	178人	保健推進委員

※ 特定保健指導教室と、山形・山根地区を除く地区健康相談は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

ウ 国民健康保険特定健康診査

受診率の向上を図るため、平成 23 年度から実施している受診料の無料化を継続し、夕方健診・休日健診等を実施した。

平成 26 年度から、生活習慣病予防や受診率向上等を目的として、30 歳から 39 歳の国保被保険者を対象にした若年者健診を受診料無料で継続実施している。

受診状況等

区 分	対象者	受診者数	受診率 (市算定)	積極 支援	動機 付け	事業費 (千円)
特定健康診査	国保被保険者 40 歳～74 歳 5,819 人	2,565 人	44.1%	/	/	31,567
	国保被保険者 30 歳～39 歳 462 人	67 人	14.5%			
特定保健指導	該当者 327 人	/	/	25 人	126 人	

エ 出稼ぎ者への支援

就労中における疾病の防止と就労の安全を図るため、就労前に出稼ぎ者の健康診断を実施した。

- ・健康診断の受診者数 61人

II-9 保健活動の充実	(3) こころの健康づくりの推進
--------------	------------------

ア こころの健康づくり事業

心の健康づくりを推進するために、人材育成や各種事業においてうつ病予防及び自殺予防の普及啓発、関係機関のネットワークの強化を図った。また、うつスクリーニングを実施し早期発見・早期介入に取り組むとともに、要フォロー者へ訪問等支援を実施した。

(事業費 1,496千円)

区分	内 容
人材養成	ゲートキーパー養成講座他 6回 延141人
普及啓発	広報へのこころの健康づくりに関する記事掲載 5回 こころの講演会 (新型コロナウイルス感染症流行のため実施なし)
早期発見	産後うつスクリーニング : 185件 被災地区うつスクリーニング (胃検診時) : 221件 ハイリスク者への訪問等支援 : 延 50人

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から事業を中止・縮小して実施。

イ こころの相談体制等の充実

岩手医科大学をはじめ関係機関及びNPO法人たぐきりと連携し、相談体制の充実に努めるとともに、市民に身近な相談窓口として周知の強化を図り、傾聴活動を行っている。

(事業費 819千円)

区分	内容
対面相談支援	延 18件
電話相談支援	延 117件

II-9 保健活動の充実	(4) 歯と口腔の健康づくりの推進
--------------	-------------------

ア 歯科保健事業

歯と口腔の健康づくり条例 (平成26年3月)、歯と口腔の健康づくり基本計画 (平成27年3月) を推進するために、乳幼児から高齢者まで生涯を通じた歯と口腔の健康づくりの強化をした。

区分	実施回数	受診者数等	事業内容	実施方法
幼児歯科健診	随 時	延 330 人	2歳、2歳6か月児 歯科健診	医療機関委託
山形地区歯科事業	随 時	未就学児等	歯みがき指導	
妊婦歯科健康診査	随 時	102 人	歯科健診、保健指導	医療機関委託
40歳の歯科健康診査	随 時	58 人	歯科健診、保健指導	医療機関委託
50歳の歯科健康診査	随 時	59 人	歯科健診、保健指導	医療機関委託
後期高齢者歯科検診	随 時	48 人	歯科健診	県医師会委託

8020 伝達表彰式	1回	10人	80歳で20本以上の歯がある高齢者の表彰	歯科医師会と共催
------------	----	-----	----------------------	----------

II-9 保健活動の充実 (5) 感染症予防の推進

ア 感染症予防事業

感染症を予防するため各種予防接種を実施し、未接種者への勧奨などにより接種率の向上に努めた。また、感染症の予防に対する正しい知識の普及啓発に努めた。

(事業費 102,672千円)

(ア) 結核健康診断

65歳以上の方を対象に結核健康診断を実施した。(肺がん検診受診者は除く)

内容	対象者数	受診者数	受診率
結核健康診断 (胸部X線デジタル撮影・判定)	5,891人	407人	6.9%

(イ) 予防接種

区分	項目	対象者数	接種(受診)者数	接種(受診)率
定期接種 (A類疾病)	小児用肺炎球菌 初回1回目	179人	190人	106.1%
	小児用肺炎球菌 初回2回目	179人	190人	106.1%
	小児用肺炎球菌 初回3回目	179人	185人	103.4%
	小児用肺炎球菌 追加	193人	196人	101.6%
	Hibワクチン 初回1回目	179人	191人	106.7%
	Hibワクチン 初回2回目	179人	192人	107.3%
	Hibワクチン 初回3回目	179人	190人	106.1%
	Hibワクチン 追加	193人	209人	108.3%
	BCG接種	179人	178人	99.4%
	四種混合 第1期 初回	179人	189人	105.6%
	四種混合 第1期 2回目	179人	187人	104.5%
	四種混合 第1期 3回目	179人	180人	100.6%
	四種混合 第1期 追加	193人	225人	116.6%
	二種混合	276人	251人	90.9%
	日本脳炎 第1期 初回	234人	258人	110.3%
	日本脳炎 第1期 2回目	234人	271人	115.8%
	日本脳炎 第1期 追加	218人	291人	133.5%
	日本脳炎 第2期	296人	425人	143.6%
	麻疹風疹 第1期	193人	192人	99.5%
	麻疹風疹 第2期	247人	241人	97.6%
	風疹 第5期	136人	72人	52.9%
	B型肝炎 初回1回目	179人	192人	107.3%
	B型肝炎 初回2回目	179人	190人	106.1%
	B型肝炎 追加	179人	179人	100%
水痘ワクチン 第1回	193人	195人	101.0%	

	水痘ワクチン 第2回	193人	224人	116.1%
	ヒトパピローマウイルス感染症 1回目	124人	6人	4.8%
	ヒトパピローマウイルス感染症 2回目	124人	2人	1.6%
	ヒトパピローマウイルス感染症 3回目	124人	0人	0%
	ロタウイルス感染症 (ロタリックス) 1回目	114人	76人	—
	ロタウイルス感染症 (ロタリックス) 2回目		54人	—
	ロタウイルス感染症 (ロタテック) 1回目		19人	—
	ロタウイルス感染症 (ロタテック) 2回目		14人	—
	ロタウイルス感染症 (ロタテック) 3回目		8人	—
定期接種 (B類疾病)	高齢者肺炎球菌	1,922人	443人	23.0%
	季節性インフルエンザ	11,556人	8,543人	73.9%
任意接種	乳幼児インフルエンザ 1回目	1,381人	1,099人	79.6%
	乳幼児インフルエンザ 2回目	1,381人	865人	62.6%

- ※1 接種(受診)率は、「対象者数」を当該年度に新たに標準的接種期間に達した人口から「接種(受診)者数」を当該年度に定期予防接種を実施した人数から求めた推計値。
 ※2 ヒトパピローマウイルス感染症は、平成25年6月より積極的勧奨を差し控えている。
 ※3 令和2年度は、65歳以上の季節性インフルエンザ予防接種に係る費用を全額公費負担とした。

II-9 保健活動の充実 (6) 食育の推進

ア 食育・食生活改善事業

平成28年3月策定の食育推進計画の推進のため関係機関と連携し、乳幼児期からの保育園や学校での食と健康の学習活動、食生活改善推進員の協力のもと地域での普及啓発活動を実施した。特に、重点事業として脳卒中死亡全国ワースト1からの脱却を目指し、働き世代を中心に減塩と食生活習慣改善の啓発に努めた。

事業名	開催回数等	参加者	事業内容	備考
庁内食育連絡会議	1回 (書面開催)	庁内関係部署	関係部署による情報・意見交換、第2次久慈市食育推進計画の策定	教育委員会、農政課、子育て世代包括支援センター他
ふれあい給食会	8校	小学校	食生活改善推進員が食育講話	朝食の大切さ、食事バランスについて等
脳卒中予防事業	2回	44人	献血に来た方を対象に資料配布	脳卒中予防のための適度な塩分の食事、食事バランス、朝食の必要性について普及啓発
栄養教室	新型コロナウイルス感染症流行のため実施なし	一般市民	減塩・適塩 バランス食調理 実習・講話等	各地区公民館、各集落公民館

■ II-10 自然景観の保全・創造と活用

II-10 自然景観の保全・創造と活用

(1) 自然景観への配慮

地域の自然及び資源を理解し、広く周知するため三陸ジオパーク推進協議会と連携し、三陸ジオパーク北部ブロック会議による研修会や現地ツアーのほか、市民に対する周知啓発活動を行った。また、景観に配慮しながら観光客の利便性向上のため看板を設置した。

看板設置数（累計）	22件
-----------	-----

II-10 自然景観の保全・創造と活用

(2) 花・鳥・木を活用したまちづくり

平成23年4月に制定した新市の花鳥木（花はつつじ、鳥はうぐいす、木はしらかば）の周知を図るため、平庭高原つつじまつりにおいて、つつじの苗木を配布し、9月には、くじ☆ラボ主催で、白樺の苗200本とつつじの苗82本を植樹した。また、エリカシーランド久慈推進協議会と連携し、防災公園のつつじの植樹を行った。

■ II-11 環境対策の推進

II-11 環境対策の推進 (1) 自然環境の保全と創造

ア 環境基本計画の推進

環境の保全及び創造に関し長期的な目標と施策の方向を明確化している『久慈市環境基本計画』の下、「市民一人ひとりが快適に暮らせる環境共生都市」の実現のため、市、事業者、市民が協力しての取り組みの推進を目的に、環境の状況把握並びに環境の保全及び創造について、「久慈市の環境」として実績報告書を取りまとめ、市ホームページで公表した。

イ 久慈市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改訂

令和2年度までの計画期間となっていた「久慈市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を改訂し、2050年度温室効果ガス排出実質ゼロを目標とする「第2次久慈市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定した。

ウ 環境保全協定の締結

事業活動によって発生するおそれのある公害を未然に防止し、地域住民の健康の保護及び生活環境の保全に資するため、事業者との間で環境保全協定を締結している。

また、令和2年度は、新たに1事業者と協定を締結した。（令和2年度末現在の締結協定数：64件）

エ 環境に関する各種測定等

市の環境の現状を把握するとともに、事業場から環境中に排出される物質を監視するため、環境に関する各種測定を実施した。

- (ア) 水質測定 公共用水域等（測定箇所：22箇所 測定回数4回）
- (イ) 騒音測定 自動車騒音常時監視業務（騒音推計）
- (ウ) 酸性雪測定 実施時期：1月～2月 測定回数4回
- (エ) 水生生物調査 調査団体数：5団体（延べ178名）

オ 環境パトロール員設置事業

環境パトロール員10名を委嘱し、7月に実施した合同パトロールに加え、委嘱期間中（7月～12月）で延べ362時間の環境パトロールを実施した。不法投棄件数は90件と前年実績（72件）に比べて増加した。

II-11 環境対策の推進 (2) 資源循環型社会の推進

ア ごみの減量化・資源化の推進

市民の意識高揚を図るため、広報、市ホームページ及び地域でのごみの分別説明会を通じて啓発を行った。

また、令和2年1月から導入した指定ごみ袋制度の定着化を図るため啓発チラシの全戸配布等の周知活動を実施した。

イ 快適生活環境確保対策事業

早朝一時間清掃については、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い第1回ごみ拾いを中止し全3回の実施となり、延べ18,443名の参加があった。また、側溝清掃については2町内会の活動を支援した。

ウ 資源循環型都市づくり推進事業（ごみ集積場整備事業補助）

地域の環境衛生維持のため老朽化及び容量拡大が必要となったごみ集積場の整備を行った団体に対し、補助金を交付した。

補助実績 12施設
補助額 735千円

エ 地域資源循環推進活動事業

資源やエネルギーを大切にした循環型のまちの実現を促進するため、地区ブロック衛生班等が行うごみ減量化やリサイクル推進などの自主的な地域資源循環推進活動に対し、補助金を交付した。

事業内容	事業実施団体	補助金額
資源循環啓発活動	地区ブロック衛生班（9地区）	600千円

II-11 環境対策の推進 (3) 衛生施設等の整備改善

久慈広域連合で設置している各衛生施設について、使用に係る管理運営費、建設事業費を負担している。

し尿処理施設は、建設後40年が経過し老朽化が進み、耐用年数を大きく超えて運転している状態であることから、現在、新施設の建設が進められており、令和2年度は建築工事に着手した。新施設は令和3年度供用開始を予定している。（久慈広域連合事業）

また、ごみ焼却施設は、施設の老朽化による延命化のための基幹的設備改良工事が令和元年度に引き続き行われた。（久慈広域連合事業）

ア 火葬負担金

久慈広域連合で行う火葬業務について負担金を支出した。

久慈広域連合火葬負担金 18,163千円

区別	火葬件数	構成比
久慈市	463	59.5%
管内計	778	100.0%

イ 塵芥処理負担金

久慈広域連合で行う塵芥処理業務について負担金を支出した。

久慈広域連合塵芥処理負担金 947,034千円

区別	可燃物	不燃物	資源物	計	構成比
久慈市	10,383t	702t	1,240t	12,325t	65.2%
管内計	15,884t	1,097t	1,928t	18,909t	100.0%

ウ し尿処理負担金

久慈広域連合で行うし尿処理業務について負担金を支出した。

久慈広域連合し尿処理負担金 987,098千円

区別	処理実績	構成比
久慈市	24,560k1	63.5%
管内計	38,653k1	100.0%

■ II-12 市民生活の充実

II-12 市民生活の充実 (1) 消費者教育の充実

消費者教育の充実として、令和2年度は出前講座を4回実施した。消費者力アップ講習会については新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。

II-12 市民生活の充実 (2) 消費者保護対策の充実

消費者保護対策として、消費生活センターに消費生活相談員3名を置き、各種研修会に参加するなど、高度で専門性の高い生活相談員の育成に努めている。

消費生活センターにおいて、消費生活相談員3名が年間399件の相談対応を行ったほか、久慈広域市町村における出張相談を平成23年度から継続して実施し、消費者問題解決の支援を図った。また、広報誌「消費生活センターだより」を毎月広域市町村において全戸回覧し、最新の相談事例と各種相談日程等を周知した。

さらに、お金とこころの安心支援ネットワークにより庁内各課と連携を図りながら、くらしとお金の安心相談会、消費者救済資金貸付事業の実施により、消費者の生活安定に努めた。

事業費 16,057千円

II-12 市民生活の充実 (3) 交通安全・防犯対策の推進

交通安全対策については、久慈警察署や関係団体と連携し、各交通安全運動期間の啓発活動を延べ8回実施した。また、交通安全教室は、関係団体と連携しながら、計44回実施した。

更に、各団体・機関等へのカーブミラーの提供、また修繕が必要と思われるカーブミラーについて修繕を行い、交通安全の確保を図った。

防犯対策については、久慈警察署や関係団体と連携しながら、各地域安全運動期間を中心に啓発活動を実施した。また、防犯対策情報を掲載した「防犯くじ」を5回発行し、周知啓発したほか、特殊詐欺の予兆と思われる事案が発生した都度、久慈警察署と連携し、防災行政無線を用いた被害の未然防止活動を行った。

防犯灯については、故障等の状況に応じて修繕を行ったほか、町内会等に対し、防犯灯の設置・更新費と維持管理経費を補助した。

ア 交通安全対策の推進

(ア) カーブミラーの設置

交通安全対策の一環として、各団体・機関等へカーブミラーを交付し、交通安全の整備を図った。

事業費 442千円

- ・設置数 5基 (ミラー・支柱1式 1面鏡5基)
- ・修繕数 3基 (支柱のみ2本、2面鏡1基撤去)

(イ) 交通安全広報の推進

年間を通じ交通安全啓発チラシの回覧及び季節運動に合わせた街頭啓発、防災行政無線等による啓発、交通安全教室を実施した。

事業費 46千円

イ 防犯対策の推進

(ア) 防犯活動推進経費

犯罪への監視を強化し、犯罪や事故の未然防止を図るため、各地域から防犯ボランティアの登録を受け、市内における防犯活動の充実を図った。

事業費 20千円

令和2年度登録者 119人

(イ) 防犯灯設置費及び維持管理経費補助事業

町内会等が行う防犯灯の設置・更新及び管理に要する経費に対して補助金を交付した（設置・更新費は補助率3分の2相当（LED灯の場合は4分の3相当）。電気料は4月分から12月分までの支払額を補助。保険料は対象1灯で年額300円、対象2灯以上で1灯あたり年額200円を上限に補助）。

事業費 3,892千円

・設置・更新費補助	町内会等被補助団体	20（灯数 62灯）	補助額	2,163千円
・電気料補助	町内会等被補助団体	94（灯数1,015灯）	補助額	1,684千円
・保険料補助	町内会等被補助団体	10（灯数 289灯）	補助額	45千円

■ II-13 エネルギー対策の推進

II-13 エネルギー対策の推進 (1) 再生可能エネルギーの導入促進

ア 住宅用太陽光発電システム導入促進事業補助金

市民が行う住宅用の太陽光発電システムの設置に要する経費に対し、補助金を交付した。(補助件数 5件、補助金交付額 279千円)

イ 公共施設再生可能エネルギー等導入事業

岩手県公共施設再生可能エネルギー等導入事業費補助金を活用し、市内1施設への太陽光発電システムの設置を行った。(事業費 41,336千円)

(ア)山形中学校(設置) 太陽光 18.375 kW、蓄電池 24.0 kWh

ウ 再生可能エネルギー導入に向けた取り組み

環境省の委託事業により、再生可能エネルギーを活用したエネルギーの地産地消を進めていくための一つの手法として、洋上風力発電についてゾーニングマップを整備するため必要な調査及び協議会の開催を行った。(事業費 28,976千円)

また、環境省の委託事業により、浮体式洋上風力発電によるエネルギーの地産地消を目指すために必要な調査を行った。(事業費 29,055千円)

II-13 エネルギー対策の推進 (2) 省エネルギーの促進

ア 啓発事業

地球温暖化対策に関する取組についてHP等で普及啓発を行った。

イ 地球温暖化対策推進実行計画(事務事業編)の推進

地球温暖化対策を推進するため、各公共施設の燃料、電気使用量を集約し、当市における事務及び事業に関する二酸化炭素排出量の現況調査を行った。

令和2年度集計結果(令和元年度二酸化炭素排出量)

年度	平成25年度(基準年度)		令和元年度		基準年度との比較	
	排出量 (t-CO ₂)	排出率 (%)	排出量 (t-CO ₂)	排出率 (%)	増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)
ガソリン	258	2.2	161	1.9	△97	△37.6
軽油	407	3.5	218	2.6	△189	△46.4
灯油	1,741	15.1	861	10.3	△880	△50.5
A重油	1,226	10.6	837	10.0	△389	△31.7
LPG	110	1.0	101	1.2	△9	△8.2
電気	7,713	66.8	6,086	72.9	△1,627	△21.1
その他	84	0.7	89	1.1	5	6.0
計	11,539	-	8,353	-	△3,186	△27.6

■ II-14 防災体制の充実

II-14 防災体制の充実 (1) 災害に強い地域づくりの推進

ア 災害対策

災害に強い地域づくりを推進するため、次のとおり実施した。

(ア) 災害対策事業（事業費：34,256千円）

風水害・津波等の災害に備え、久慈市地域防災計画及び久慈市水防計画の見直しや、災害応急対策用資機材・非常用備蓄の更新等を行うとともに、防災行政無線保守点検業務の実施や防災行政無線電話再応答サービスの運用などを継続して実施した。

(イ) 地域防災センター指定管理事業

地域防災センター5施設において、地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者による管理を継続して実施した。

施設名	指定管理者	R2委託費	R2利用人数
久喜地区防災センター	久喜地区会	409千円	237人
秋葉館	八日町町内会	334千円	1,267人
湊地区防災センター	湊町中組町内会	374千円	37人
元木沢地区防災センター	元木沢町内会	402千円	113人
ふっこう館	ふっこう館協議会	432千円	273人

※指定管理期間：平成30年4月1日～令和5年3月31日

(ウ) 避難施設整備費補助金（事業費：0千円 活用団体なし）

災害時、市が指定する指定緊急避難場所及び指定避難所における、避難者の安全と衛生確保のために行う改修と、発電機の購入に要する経費に対し助成を行うもの。

(エ) 婦人消防協力隊活動（事業費：953千円）

内訳) 活動経費：834千円・福祉共済掛金：104千円
岩手県婦人消防連絡協議会負担金：15千円

(オ) 防火防災訓練災害補償等共済制度負担金（事業費：35千円）

自主防災組織などが市内で実施する防火防災訓練に対する保険

(カ) 防災行政無線設備維持管理負担金（事業費：115千円）

県防災行政無線設備に係る維持管理負担金

(キ) 防災会議委員報酬（事業費：0千円）

イ 水防活動

大雨等による水害発生時に対応するため、水防資機材の整備等を行った。

また、津波・洪水等が発生した場合の緊急性（市民の安全確保）の観点から、県設置水門等の維持管理や操作について、県からの委託契約を受託し管理を行った。

- ・事業費：848千円【歳入（県委託金）1,936千円】
- ・管理水門：海岸水門16門、河川水門144門

ウ 防災公園整備事業【復興関係】

大規模災害に備えた、一時的な避難場所や被災地域の救援・復旧活動の拠点となる防災公園の工事を実施し令和元年8月6日に供用を開始した。

エ 集団移転事業【復興関係】

東日本大震災津波の浸水域から高台等への移転を進めるため、津波被害が大きかった4地区（久慈湊・大崎地区、元木沢地区、玉の脇地区、久喜地区）において、漁業集落防災機能強化事業により、整備した造成地の法面対策や水道工事、防潮堤への安全防護柵の整備を行った。また、災害公営住宅整備事業により整備した、災害公営住宅への入居の推進を図った。

(ア) 整備戸数

地区名	移転戸数	うち持家	うち災害公営住宅
久慈湊・大崎地区	14戸	9戸	5戸
元木沢地区	5戸	2戸	3戸
玉の脇地区	3戸	3戸	—
久喜地区	4戸	1戸	3戸
合 計	26戸	15戸	11戸

(イ) 漁業集落防災機能強化事業の推進状況

地区名	分譲・建築状況
久慈湊・大崎地区	全9筆(8戸)分譲済 8戸中8戸建築済
元木沢地区	全2筆分譲済 2戸中2戸建築済
玉の脇地区	全3筆分譲済 3戸中3戸建築済
久喜地区	全1筆分譲済 1戸中1戸建築済

(ウ) 災害公営住宅整備事業の推進状況（平成26年度までに整備済）

地区名	入居状況
久慈湊・大崎地区	5戸中5戸入居済
元木沢地区	2戸中2戸入居済
久喜地区	3戸中3戸入居済

※元木沢地区1戸は、入居者の希望により令和元年度に払い下げを行った。

II-14 防災体制の充実

(2) 防災意識の啓発

ア 防災センター

災害時における災害対策活動の拠点施設としての役割を担いながら、平常時には、防災教育施設として防災意識向上の推進を図った。

例年、市内はもとより、管内保育園児や小学校児童の見学、また、各種団体の視察等も積極的に多数受け入れ、防災センター専門説明員による施設内の説明や各設備を使用した「体験型学習」の実施も継続して行ってきたところであるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、施設見学等の受け入れを縮小した。

- ・維持管理経費：2,809千円【歳入（防災センター使用料）1,789千円】
- ・利用実績：3,236人（R2）・123,769人（総利用者延べ人数）

Ⅱ-14 防災体制の充実	(3) 消防体制の充実
--------------	-------------

ア 消防総務

- (ア) 岩手県防災ヘリコプター連絡協議会負担金（負担金：2,024千円）
ヘリコプター運営費（航空隊人件費）に対する県内各市町村負担金
- (イ) 久慈広域連合消防分担金（負担金：607,678千円）
消防体制の維持及び充実を図るため、負担金を支出した。
- (ウ) 消防審議会委員報酬（37千円）

イ 非常備消防

地域防災の要である消防団員活動の一層の充実を図るため、消防団員活動経費や消防協会負担金、屯所維持管理経費などの非常備消防費として68,870千円を支出した。

ウ 消防施設

様々な災害に対処するため、次の施設を整備した。

事業費 44,077千円【歳入（石油貯蔵施設立地対策等交付金） 20,450千円】

- (ア) 防火水槽施設整備事業 10,524千円
防火水槽の移設（国道281号下川井地区地域連携道路整備事業に伴う移設）
【歳入：移転補償費7,487千円】
- (イ) 消防ポンプ自動車整備事業 22,158千円
 - a 消防団小型動力ポンプ付積載車2台更新（4分団1部：滝の沢、17分団：荷軽部）
 - b 安全装備品2セット
 - c 令和2年度中に更新予定としていた救助工作車については、新型コロナウイルス感染症の影響により納期延長となったため、令和3年度に事業繰越とした。
※繰越事業費：127,651千円【歳入：石油貯蔵施設立地対策等交付金41,321千円】
- (ウ) 消火栓標識設置経費 88千円
市内4カ所の標識交換及び修繕
- (エ) 消火栓設置工事等負担金 11,267千円
消火栓の維持管理（管理702基、修繕等4件）

■ II-15 道路整備の促進

II-15 道路整備の促進 (1) 広域幹線道路網の整備

ア 八戸・久慈自動車道の整備促進

洋野町～久慈市間の早期完成を図るため、八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会を通じて、次のとおり関係機関に要望した。同区間は、令和3年3月20日に供用開始され、八戸-久慈間の全線が開通した。

- (ア) 岩手県北広域振興局、国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所(6月30日)
- (イ) 青森県県土整備部、国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所(7月2日)
- (ウ) 国土交通省東北地方整備局(7月14日)
- (エ) 国土交通省、地元選出国會議員(7月15日)

イ 三陸北縦貫道路及び国道281号の整備促進

三陸北縦貫道路及び国道281号の道路整備促進と財源確保等について、三陸北縦貫道路整備促進期成同盟会及び国道281号整備促進期成同盟会を通じて、次のとおり夏と秋に関係機関へ要望した。

- (ア) 【三北】国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所(7月8日)
- (イ) 【三北】国土交通省東北地方整備局(7月21日)
- (ウ) 【三北】国土交通省、財務省、自由民主党、岩手県選出国會議員(7月29日)
- (エ) 【国道281号】岩手県(7月30日)
- (オ) 【国道281号】国土交通省東北地方整備局(8月6日)
- (カ) 【国道281号】国土交通省、財務省、自由民主党、岩手県選出国會議員(8月11日)
- (キ) 【三北】国土交通省東北地方整備局、国土交通省、財務省、自由民主党、岩手県選出国會議員(11月12日)
- (ク) 【国道281号】国土交通省東北地方整備局(11月16日)
- (ケ) 【国道281号】国土交通省、財務省、自由民主党、岩手県選出国會議員(11月25日)

ウ 広域道の駅整備事業 ※再掲

広域連携の取組として、「久慈広域行政研究会」を2回、市町村担当者との打合せ及び会議を3回開催し、広域町村と連携により広域道の駅の整備に取り組んだ。

また、企業グループと広域道の駅整備事業基本契約及び施設整備契約を締結し、設計、建設、運営等に係る協議を重ね、基本設計を完成させるとともに、用地の取得や関係機関との協議、各種許認可申請の準備を行った。

事業費 35,972千円(現年)
39,023千円(明許)

II-15 道路整備の促進 (2) 幹線道路の整備

ア 主要地方道及び一般県道の改良整備促進

岩手県等に対し、次のとおり要望した。

- (ア) 岩手県への重点事項要望(7月31日)
- (イ) 北奥羽開発促進協議会を通じた岩手県等への重点事業要望(10月30日)

(ウ) 岩手県市長会を通じた岩手県への予算編成並びに施策に関する提言 (10月19日)

イ 県道への昇格と県代行事業での市道の整備促進

(ア) 市中心部～県立久慈東高等学校～夏井町～洋野町水沢地区～一般県道大野山形線に接続する路線の県道昇格を要望した。(7月31日)

(イ) 市道久慈夏井線(県立久慈東高等学校～夏井町早坂地区間)及び市道川井関線について、県代行事業での整備を要望した。(7月31日)

II-15 道路整備の促進	(3) 生活道路の整備
---------------	-------------

ア 市道整備事業

事業費272,923千円で、次のとおり市道整備を実施した。

(ア) 補助事業

a 社会資本整備総合交付金事業 (単位：千円、m)

路線名	施工場所	事業費	施工延長	事業内容			
				改良	舗装	排水工	その他
日吉町宇部線(舗装補修)	小久慈町日吉	22,292	44		[44]		明許、水道管補償、工事費精算払い 現年、工事費前払い金
小久慈線(交差点改良)	本町ほか	71,072	88.3	88.3		80	明許、補償、用地 現年、補償、用地、委託、
計		93,364	132.3	88.3	[44]	80	

※舗装延長[]は、舗装の打換え等の延長

b 道路メンテナンス事業 (単位：千円、m)

路線名	施工場所	事業費	施工延長	事業内容			
				改良	舗装	排水工	その他
橋梁長寿命化修繕計画改定	市内各所	5,870					前払い金
中の橋ほか(定期点検)	市内各所	16,445					委託84橋
新中の橋に係る橋梁点検	新中の橋	7,392					JR負担金
落合上の橋ほか(橋梁補修)	山根町村井	43,474					明許、4橋
久慈歩道橋ほか(補修設計)	市内各所	18,807					事故、2橋
計		91,988					

(イ) 起債事業

a 辺地対策事業

(単位：千円、m)

路線名	施工場所	事業費	施工延長	事業内容			
				改良	舗装	排水工	その他
下戸鎖橋場線	山根町 下戸鎖	9,682	146		[45.4]	144	明許、精 算払い
計		9,682	146		[45.4]	144	

※舗装延長[]は、舗装の打換え等の延長

b 過疎対策事業

(単位：千円、m)

路線名	施工場所	事業費	施工延長	事業内容			
				改良	舗装	排水工	その他
外川井線	山形町川井	3,531	20	20	[38]	20	明許
計		3,531	20	20	[38]	20	

※舗装延長[]は、舗装の打換え等の延長

c 地方道路等整備事業

(単位：千円、m)

路線名	施工場所	事業費	施工延長	事業内容			
				改良	舗装	排水工	その他
早坂線	夏井町早坂	9,000	230		230		明許
上長内平沢線	長内町平沢	8,152	49			4	明許
沢山通り線	門前、 天神堂	1,098	149.5	29.5		29.5	事故、精 算払い
二子小袖沢線	宇部町館石	14,915					事故、委 託
計		33,165	428.5	29.5	230	33.5	

d 緊急自然災害防止対策事業

(単位：千円、m)

路線名	施工場所	事業費	施工延長	事業内容			
				改良	舗装	排水工	その他
久喜漁港線	宇部町久喜	29,999	14.5	14.5			
山岸線（畑田地区）	畑田	2,419					前払い金
久喜漁港線	宇部町久喜	5,580					前払い金
計		37,998	14.5	14.5			

(ウ) 交通安全施設整備事業

(単位：千円、m)

路線名	施工場所	事業費	施工延長	事業内容			
				改良	舗装	排水工	その他
広美町海岸線 ほか	市内各所	1,498	2,402				区画線
川又橋場線ほ か	市内各所	1,697	32				防護柵
計		3,195	2,434				

イ 市民協働道路維持補修事業

事業費9,043千円で、18地区（長内町ほか）の道路維持補修を実施した。

Ⅱ-15 道路整備の促進	(4) 都市計画道路の整備
--------------	---------------

ア 広美町海岸線（湊橋）【復興関係】

事業の進捗に伴い、工事費の久慈市負担分を協定に基づき支出した。

事業費 89,703千円（うち事故繰越分 89,703千円）

・負担金 89,703千円

令和2年度現年、明許予算については令和3年度に繰越した。

■ II-16 港湾整備の促進

II-16 港湾整備の促進	(1) 港湾機能の強化
---------------	--------------------

- ア 県事業による港湾施設の整備
- ・久慈港諏訪下地区-7.5m岸壁補修ほか工事
 - ・久慈港諏訪下地区電気防食等工事
 - ・久慈港老朽化施設対策調査設計業務委託
 - ・久慈港諏訪下地区土砂等運搬工事
- イ 岩手県に対する要望活動等
- ・岩手県市長会、東北市長会への議案の提出
 - ・岩手県への重点事項要望（7月31日）
 - ・北奥羽開発促進協議会を通じた岩手県等への重点事業要望（10月30日）
 - ・岩手県市長会を通じた岩手県への予算編成並びに施策に関する提言（10月19日）

II-16 港湾整備の促進	(2) 湾口防波堤の整備促進
---------------	-----------------------

- ア 久慈港湾口防波堤の整備（国土交通省直轄事業）
- 湾口防波堤ケーソン製作6函
湾口防波堤ケーソン据付6函（計97函 延長 2,766m＝北堤 1,666m 南堤 1,100m）
- イ 久慈湾の総合開発
- 要望活動の実施による港湾整備の促進
- (ア) 関係機関への要望活動（市単独）
- ・国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所（7月8日）
 - ・国土交通省東北地方整備局（7月14日）
 - ・国土交通省、財務省、自由民主党本部、県選出国會議員、内閣府（7月28日）
※新型コロナウイルス感染症拡大のため要望書郵送
 - ・国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所（10月29日）
 - ・国土交通省東北地方整備局（11月12日）
 - ・国土交通省、財務省、自由民主党本部、県選出国會議員（11月12日）
- (イ) その他の要望活動等
- ・岩手県市長会、東北市長会への議案の提出
 - ・三陸沿岸都市会議を通じた関係省庁等への要望（6月）
 - ・北奥羽開発促進協議会を通じた岩手県等への重点事業要望（10月30日）

II-16 港湾整備の促進	(3) 港湾の利用促進
---------------	--------------------

- ア 関係機関・企業等に対するポートセールス（企業訪問）の実施（2回）
- ※新型コロナウイルス感染症拡大のため県内・八戸地域のみ実施。
- イ ホームページによる久慈港のPRを推進

■ II-17 街並み環境整備の促進

II-17 街並み環境整備の促進 (1) 集約型の地域づくり

ア 空家等対策

平成29年度に策定した「久慈市空家等対策計画」に基づき、所有者等による適正管理を促進するため「空家等発生予防啓発パンフレット」を作成し、「利活用空家判定」空家所有者697件に配布したほか、「相談先一覧チラシ」を作成し、空家等相談窓口により随時、空家等に関する相談対応を実施した。

II-17 街並み環境整備の促進 (2) 住環境の向上

ア 市営住宅等修繕

市営住宅12団地 230 戸（災害公営住宅含む）及び定住促進住宅1団地6戸の供給・整備にかかる維持保全として修繕を実施。

修繕実施件数	内容	修繕費
103件	市営住宅及び定住促進住宅の維持管理修繕	5,299千円

イ 市営住宅改修事業

久慈市公営住宅等長寿命化計画に基づき、予防保全的な維持管理及び耐久性の向上等を図ることを目的とした工事等を行うもの。⇒ 実績なし。

前計画の期間終期に伴う久慈市公営住宅等長寿命化計画を策定した。【令和元年度からの繰越事業】

事業名	内容	金額
久慈市住宅マスタープラン（住生活基本計画）他策定支援業務	住宅マスタープラン（住生活基本計画）と、公営住宅等長寿命化計画の策定支援業務を実施。【R1からの繰越、R3. 1. 29完了】	8,151千円 【R1からの繰越】 (全体額) 13,871千円

ウ 街なか居住促進事業【令和元年度からの繰越事業】

中心市街地以外から中心市街地に、対象となる住宅を新築する場合に要する経費に対し、補助金を交付する事業を実施。

(1戸あたりの補助額〈限度額〉：専用・兼用住宅1,000千円、賃貸住宅500千円)

住宅種類	実施件数	事業実施建設地	移転前所在地	補助金額
専用住宅【R1からの繰越、R2. 4. 24完了】	1件	荒町1-17-2	栄町	1,000千円 【R1からの繰越】
専用住宅【R1からの繰越、R2. 7. 22完了】	1件	中町1-19	小久慈町	1,000千円 【R1からの繰越】
合計	2件			2,000千円

エ 木造住宅耐震診断支援事業

災害に強いまちづくりのため、耐震診断を希望する市民への支援として事業を実施した。

(1件あたりの委託料：28,429円)

実施戸数	1戸あたりの委託料	委託料
5戸	28,429円	142千円

オ 木造住宅耐震改修工事助成事業

耐震診断結果の判定値1.0に満たない住宅で、耐震改修工事を実施する場合に要する経費に対し、補助金を交付するもの。⇒ 実績なし。

カ がけ地近接危険住宅移転事業

がけ地の崩壊等により住民の生命に危険を及ぼす恐れのある区域から危険住宅の移転を行う者に対し、補助金を交付するもの。⇒ 実績なし。

キ 生活再建住宅支援事業【復興関係】

東日本大震災により被災した住宅・宅地の早期復旧を支援するため、住宅融資の利子補給、住宅補修等工事費及び宅地復旧工事費等の一部を補助する事業を実施。

支援名		実施件数	補助金額
住宅融資に対する利子補給補助	新築	0件	0千円
	補修	0件	0千円
	既往住宅債務	0件	0千円
被災住宅補修等工事補助（補修、耐震、バリアフリー、県産材使用）		0件	0千円
被災宅地復旧工事補助		0件	0千円
復興住宅新築工事補助（バリアフリー、県産材使用）		0件	0千円
被災者住宅再建（補修の拡充補助）		0件	0千円
土地嵩上げ・擁壁工事補助		0件	0千円
民間賃貸住宅家賃助成		6件	720千円
災害公営住宅家賃助成		2件	48千円
地盤改良工事補助		0件	0千円
合計		8件	768千円

II-17 街並み環境整備の促進

(3) 公園・緑地の整備及び維持管理

ア 公園・緑地の維持管理

公園に設置されているトイレや照明灯、遊具等について、9か所の公園、緑地で2件の修繕を実施した。また、指定管理対象外の31か所の公園や緑地広場について、業務委託により清掃や施設、遊具等の保守点検等を実施した。（事業費5,590千円）

- ・施設清掃・除草等業務
- ・施設設備保守点検業務
- ・遊具等修繕業務

イ 公園の指定管理

都市公園10か所について、地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者に管理を委託し、適正な管理を実施した。(指定管理費4,109千円)

公園名	指定管理者	指定の期間
あすなろ公園	(株)米内造園	H31.4.1～ R6.3.31
諏訪公園	元木沢町内会	
広美町児童公園	東広美町町内会	
ひまわり児童公園		
萩ヶ丘児童公園	天神堂町内会	
久慈湊児童公園	湊町下組町内会	
小鳩公園	中町町内会	
巽山公園	(株)米内造園	
久慈川河川公園	(公社)久慈市シルバー人材センター	
田屋公園	田屋町内会	

ウ 公園・緑地の整備

都市公園長寿命化計画に基づき遊具の修繕工事を実施した。

事業費 3,972千円

ひまわり児童公園：更新遊具1基、撤去遊具1基

久慈川河川公園：更新遊具4基

■ II-18 生活環境基盤整備の促進

II-18 生活環境基盤整備の促進 (1) 安定した給水体制の確保

安定した給水体制の確保のため、次の事業を実施した。(水道事業会計)

ア 水道施設更新等整備事業

(単位：千円)

事業名	内 容	事業費	備 考
侍浜地区配水管更新工事	○配水管布設工 HPPE ^(※1) φ150 782.1m ○消火栓接続工 1基	34,518	
三陸沿岸道路(普代久慈工区)に係る配水管布設替工事	○配水管布設工 STK400 39.0m Sus304/DIP(GX) φ300 104.6m	59,566	
夏井地区経年化管路更新実施設計業務・配水管更新工事	○橋梁添架工等の設計委託 一式 ○配水管布設工 DIP(GX) ^(※2) φ200 L=210.1m HPPE φ150 1,658.1m HPPE φ100 218.9m HPPE φ75 169.8m ○消火栓接続工 2基	129,714	
幸橋橋梁添架配水管新設工事	○配水管布設工 HPPE φ150 141.6m SDP/PE 300/150 117.5m	44,369	
久慈川筋付替市道道路工事に伴う配水管布設替工事	○配水管布設工 DIP(GX) φ150 164.1m DIP(GX) φ75 12.9m PP φ50 94.3m	15,808	
滝地区水道施設建設工事	○建築・土木工事一式 浄水棟建築・浅井戸築造等 ○電気設備工事一式 水処理制御盤・膜ろ過装置・配水池水位計・配水流量計等	185,435	次年度繰越 (工期：令和3年6月30日)
経年化設備更新工事	○ポンプ設備更新一式 送水ポンプ・増圧ポンプ等 ○計測設備更新一式 流入残塩計・配水池水位計等	96,217	次年度繰越 (工期：令和3年5月31日)
計		565,627	

※1 HPPE：水道配水用ポリエチレン管。軽量で地震の影響を受けにくく、耐久性に優れた管材。

※2 DIP(GX)：ダクタイル鋳鉄管のGX型。強靱性、耐食性、加工性などに優れた管材。地盤の変動に順応できる伸縮性と離脱防止機能を有しており、特にGX型は、狭い掘削幅での接合が可能で管路布設費の低減が図られる。

II-18 生活環境基盤整備の促進	(2) 汚水処理施設の整備
-------------------	---------------

ア 公共下水道事業（下水道事業会計）

未普及地域の解消を図るため汚水管渠等の整備をしたほか、雨水排水路の整備や、設置予定の雨水排水ポンプ場3個所の各種調査業務を実施した。

(単位：千円)

区分	内容	事業費	備考
汚水管渠工事	○長内地区等 施工延長 1,069.6m 開削工φ150 987.9m 開削工φ200 39.1m	109,263	次年度繰越 (工期：令和3年8月31日)
汚水管渠舗装本復旧工事	○天神堂地区等 施工延長 1,030.0m 舗装打ち換え工 4,850.0m	36,300	次年度繰越 (工期：令和3年8月31日)
長内地区マンホール蓋修繕	○鉄蓋取り換え 一式	2,093	
浄化センター機械設備修繕	○円型掻き寄せ機修繕 一式 ○脱水機修繕 一式 ○脱臭ファン修繕 一式	10,175	
計		157,831	

イ 漁業集落排水事業（下水道事業会計）

汚水処理施設の普及を図るため、次のとおり事業を実施した。

(単位：千円)

地区名	内容	事業費	備考
大尻地区	アスファルト舗装工(処理場) 293㎡ 開削工(75φ)圧送管 5.6m 舗装本復旧(管路) 1,183㎡ マンホールポンプ 機械・電気設備 一式 門扉工 一式 フェンス工 92m	31,656	
白前・本波地区	舗装本復旧工事 施工延長 1,856m 舗装本復旧工 8,161㎡ 区画線工 1,967m	60,325	
計		91,981	

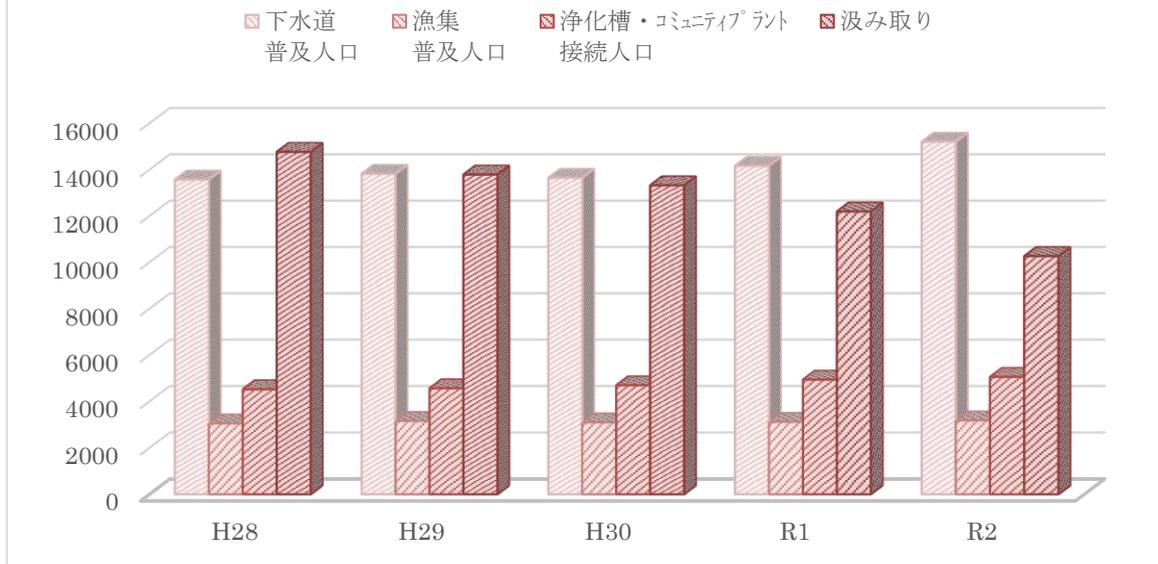
ウ 浄化槽設置整備事業（一般会計）

合併浄化槽により個別処理をする個人を対象に、次のとおり補助事業を実施した。

(単位：千円)

基数	事業費	財源内訳			備考
		国費	県費	市費	
41基	17,227	5,219	5,742	6,266	

下水道普及率等の推移



■ II-19 情報通信環境の充実

II-19 情報通信環境の充実

情報通信環境の充実

ア 通信環境の充実

市内携帯電話不感地域の実態調査を実施し、国・県及び携帯電話事業者と情報共有に努めた。不感地域の対象は世帯となっており、家屋の所在しない久慈溪流などの地域は含まれていない。

令和2年度末での携帯電話不感地域の世帯数は、宇部地区3世帯、大川目地区2世帯、山根地区53世帯、山形地区87世帯の計145世帯となっている。

鉄塔建設により一部の不感地域の解消が見込めるが、全ての不感地域の解消のためには更新費用、維持管理経費が大きな負担となるため、携帯電話事業者への要望を行っている。

イ 市が整備した超高速ブロードバンドの利用状況（回線数）

市が整備した地域は、山形町、山根町の全域、侍浜町、夏井町、長内町の一部で、整備時の対象は、1,788回線である。令和2年度末での利用状況は、761回線で前年比27回線の増加となっている。

ブロードバンドは、インターネットの閲覧、光電話の利用など生活の基盤となる重要なインフラのため、適切な維持管理を行っている。

ウ 光ファイバケーブルの維持・管理経費（夢ネット及びブロードバンド）

光ファイバ網の電柱共架料、移設修繕費、保守点検料等 28,152千円

（歳入 光ファイバ等貸付、移転補償料、電柱敷地貸付料 27,063千円）

Ⅲ 基礎戦略2 総合力豊かな人材を育てるまちづくり

■Ⅲ-1 子育て支援の充実

Ⅲ-1 子育て支援の充実 (1) 子育て環境の充実

ア 子育て支援センター事業 ※再掲

- (ア) 子育て支援センター内の保育室を利用者へ開放
- (イ) 子育てサークル育成のため、自主グループの援助・指導
- (ウ) 各種事業の実施（相談教室、子育て講演会・実技・交流事業等）
- (エ) 電話等による子育てに関する相談・指導（87人）
- (オ) 子育て支援センターだよりの発行（年12回）

利用実績

事業内容	児 童	大 人	計
保 育 室 利 用 者	3,088人	2,452人	5,540人
自主グループ利用者	71人	59人	130人
事 業 参 加 者	433人	514人	947人
計	3,592人	3,025人	6,617人

イ 児童手当の支給

家庭等の生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため児童手当を支給した。

受 給 者 数	1,906人
支 給 額	440,145千円

ウ 児童扶養手当の支給

母子又は父子世帯の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童福祉の増進のため、児童扶養手当を支給した。

受 給 者 数	340人
支 給 額	176,014千円

エ 医療費助成事業の推進

(ア) 乳幼児、小中学生、妊産婦医療費助成事業

乳幼児、小中学生及び妊産婦に対し、疾病等による医療費の一部を給付し、生活の安定と福祉の増進を図った。（令和2年8月から3歳未満の未就学児の所得制限を撤廃し、現物給付を中学生まで拡大）

区 分	令和3年3月末現在 受給者数	給付件数	給付額
乳 幼 児	1,118人	15,203件	26,403千円
小 学 生	941人	9,576件	19,972千円
中 学 生	450人	3,019件	8,113千円
妊 産 婦	62人	505件	7,128千円

合 計	2,571人	28,303件	61,616千円
-----	--------	---------	----------

(イ) ひとり親家庭医療費助成事業

母子家庭及び父子家庭に対し、ひとり親家庭医療費助成事業として、疾病等による医療費の一部を給付し、健康の保持と福祉の増進を図った。

区 分	令和3年3月末現在 受給者数	給付件数	給付額
配 偶 者 な し	345人	2,036件	13,910千円
児 童	529人	3,813件	
父 母 な し 児 童	1人	11件	
合 計	875人	5,860件	

Ⅲ-1 子育て支援の充実 (2) 幼児期の教育・保育環境の充実

ア 保育サービスの充実

保護者が安心して働くことができるよう、次のとおり保育サービスを提供した。

(ア) 保育所

公立 2施設	延利用人数	823人
	委託料 (広域委託分)	3,796千円
私立 13施設	延利用人数	6,819人
	委託料	853,741千円

(イ) 認定こども園

私立 5施設	延利用人数	5,171人
	施設型給付費	572,043千円

(ウ) へき地保育所及び児童館

施設区分	施設数	延利用人数
公立へき地保育所	1	48人
公立児童館	1	134人

イ 保育料の軽減 ※再掲

保育利用児童の保護者の負担軽減を図るため、国で定められている徴収基準について、次のとおり軽減を行った。

国の徴収基準 による利用料(A)	久慈市基準 による利用料(B)	軽減額(A-B)
125,103千円	76,752千円	48,351千円

ウ 特別保育事業等の実施

多様な保育ニーズに応えるため、次のとおり特別保育事業等を実施した。

(ア) 特別保育

事業区分	施設数	事業費
延長保育	20	6,433千円
一時預かり	15	41,849千円
病児・病後児保育	3	21,494千円

(イ) 障害児保育

区分	施設数	対象者数	事業費
軽度	3	3	524千円
重度	9	13	9,935千円
計		16	10,459千円

エ 放課後児童健全育成事業

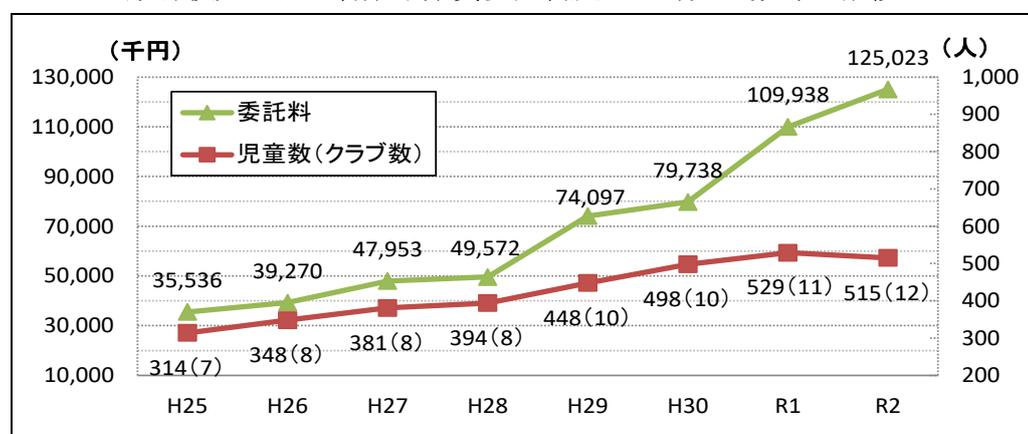
小学校児童を対象に保育を行う学童保育所の運営を次のとおり支援した。

クラブ名	児童数	放課後児童健全育成事業費委託料	学童保育所運営費等補助金	計
久慈第一みつばちの家	54人	9,517千円	296千円	9,813千円
久慈第二みつばちの家	56人	11,126千円	508千円	11,634千円
久慈第三みつばちの家	31人	8,024千円	218千円	8,242千円
小久慈たんぽぽクラブ	65人	11,239千円	490千円	11,729千円
長内わんぱくクラブ	45人	12,743千円	336千円	13,079千円
長内第2わんぱくクラブ	42人	10,116千円	366千円	10,482千円
久慈湊ひまわりクラブ	45人	11,690千円	462千円	12,152千円
侍浜学童クラブ	24人	8,771千円	184千円	8,955千円
平山学童クラブ	39人	9,387千円	356千円	9,743千円
宇部学童さくらクラブ	40人	12,208千円	468千円	12,676千円
大川目学童根っこクラブ	31人	7,851千円	324千円	8,175千円
C O C O . R	43人	12,351千円	1,030千円	13,381千円
計	515人	125,023千円	5,038千円	130,061千円

また、民設民営の学童1施設にエアコン設置に要する経費に対し補助金を交付した。

事業名	対象施設	事業費
エアコン設置経費補助	平山学童クラブ	199千円

放課後児童健全育成事業費委託料及び登録児童数等の推移



※令和元年度及び令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策に係る特別開所運営補助分を含む

Ⅲ-1 子育て支援の充実 (3) 保育施設等の整備

ア 民間保育所施設整備事業費補助金 ※再掲
民間保育所の施設整備に対し、次のとおり補助金を交付した。

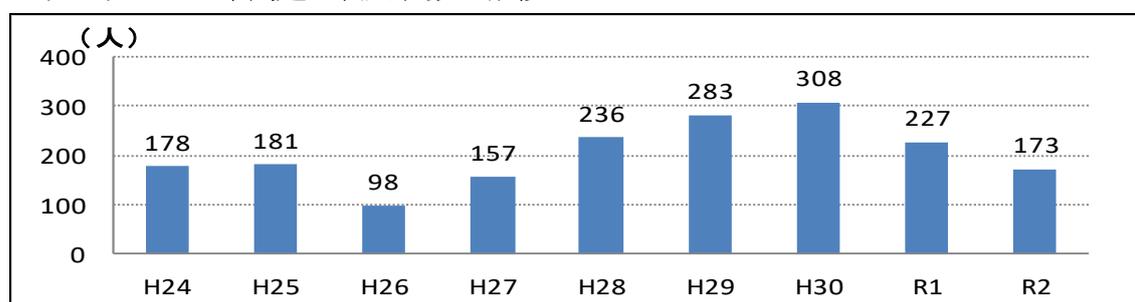
施設名	総事業費	事業実施主体	整備内容
	補助金額		
大川目保育園	5,335千円	(福)大川目保育会	外構整備
	4,001千円		
認定こども園 かわぬき	17,930千円	(福)川貫保育会	外構整備
	13,447千円		

Ⅲ-1 子育て支援の充実 (4) 子育て支援施設の充実

ア 早期療育事業の実施
障害のある児童に対し、指導訓練などの療育を行うため、児童9名を対象として通園の方法による「モウモウルーム」事業を実施した。

施設の位置	開設日	事業費
旭町第7地割127番地3 (福祉の村)	毎週火・木・土曜日	3,634千円

モウモウルーム年間延べ利用者数の推移



イ つどいの広場事業の実施
子育て家庭地域支援を目的とし、しあわせSUN「つどいの広場」を実施した。

施設の位置	開設日	事業費	備考
二十八日町一丁目13	火曜日及び年末年始を除く毎日	5,756千円	久慈市社会福祉協議会に委託実施

- ウ 子育て支援センター事業 ※再掲
- (ア) 子育て支援センター内の保育室を利用者へ開放
 - (イ) 子育てサークル育成のため、自主グループの援助・指導
 - (ウ) 各種事業の実施 (相談教室、子育て講演会・実技・交流事業等)
 - (エ) 電話等による子育てに関する相談・指導 (87人)
 - (オ) 子育て支援センターだよりの発行 (年12回)

利用実績

事業内容	児 童	大 人	計
保 育 室 利 用 者	3,088人	2,452人	5,540人
自主グループ利用者	71人	59人	130人
事 業 参 加 者	433人	514人	947人
計	3,592人	3,025人	6,617人

エ 障害児通所支援給付事業

	児童発達支援	医療型児童 発達支援	放課後等 デイサービス	保育所等 訪問支援	特例障害児 通所支援
利用人員	3人	1人	44人	0人	4人
延日数	70日	1日	6,629日	0日	108日
給付費	30千円	32千円	77,839千円	0円	985千円

■Ⅲ-2 学校教育の充実

Ⅲ-2 学校教育の充実 (1) 生きる力の育成

「知・徳・体」の調和の取れた児童生徒の育成を目指し、学び考える力、豊かな心、健やかな体を育み、社会人として必要な総合的な力、「生きる力」の育成に取り組んだ。

ア 教育研究所運営事業 (事業費 7,451千円)

(ア) 3つの研究委員会を設置し、児童生徒の学力分析・実践研究を行い、それに基づく研究発表会を開催し、その成果の普及に努めた。

(イ) 教育研究所相談員による児童生徒や保護者の教育相談を行った。

(ウ) 実態調査として、小学3～6年生全児童に国語と算数、中学1～2年生全生徒に国語、数学及び英語について「教研式標準学力検査(CRT)」を実施し、各学校での指導改善に役立てた。

イ 教育活動推進事業 (事業費 9,963千円)

指導主事を学校に派遣し、教科指導や生徒指導の充実に努めた。

ウ 総合学習推進事業 (事業費 1,053千円)

「総合的な学習の時間」において、体験的かつ探究的な学習を進め生きる力と豊かな心を育む教育の推進に努めた。

エ 集合学習推進事業 (事業費 21千円)

山形地区では、多様な人間関係の中で切磋琢磨しあい自己を磨き確立するための学校本来の機能を具現化する役割として、5・6年生が在籍している学校(3校)を対象に教科の授業を中心に7回実施した。うち1回は、宿泊研修を実施し、児童の交流をとおして中1ギャップ解消の一助となった。

オ 小中学校文化・体育活動推進事業費 (事業費 1,079千円)

文化・体育部門で岩手県、東北及び全国大会参加への選手等派遣に対する補助を行った。

項目	岩手県	東北大会	全国大会
文化部門	1件(14人)	0件(0人)	0件(0人)
体育部門	7件(248人)	0件(0人)	1件(1人)
合計	8件(262人)	0件(0人)	1件(1人)

カ 学校適応指導事業 (事業費 2,896千円)

適応指導教室(あすなろ塾)を開設して指導員2人を配置し、不登校児童生徒の適応指導及び各学校・保護者からの相談活動に取り組んだ。9人が通塾。

生徒指導の充実及び「不登校」「いじめ」等の未然防止と早期発見のため小学5年生及び中学2年生を対象に、心理検査等を実施し、生徒個々の実態、学級・学校の傾向等を把握し、各学校での指導等に役立てた。

- キ 小中学校音楽発表会実施事業（事業費 492千円）
市内小中学校が参加し、合唱及び合奏等日頃の音楽の学習成果を発表し、合唱・合奏に対する意識を高め、各校の交流を図った。
- ク 教師用教科書指導書購入事業（事業費 21,696千円）
教師用の教科書、指導書及びデジタル教科書を購入・配布した。
- ケ スクールソーシャルワーカー派遣事業（事業費 291千円）
スクールソーシャルワーカーを各学校に派遣し、課題を抱えている家庭・学校に対し、関係機関と連絡調整を図り、支援を行った。
- コ 部活動指導員配置事業（事業費 1,881千円）
教員の負担軽減のため、市内中学校へ部活動指導員を配置した。（4校5名）

サ 教育諸条件の整備充実

(ア) 教材教具及びクラブ活動の充実

小中学校の教材・教具及びクラブ（部）活動の充実を図った。

項目	教材等消耗品	教材備品	計	クラブ（部）数
小学校	6,910千円	3,628千円	10,538千円	59クラブ
中学校	6,437千円	2,419千円	8,856千円	58部

(イ) 理科教育振興法に基づく教材・教具の充実

理科教材・教具の充実に努めた。

項目	理科教材備品	対象校
小学校	2,141千円	長内、大川目、平山、宇部、久喜、山形、霜畑
中学校	1,103千円	長内、侍浜、宇部、山形

(ウ) 学校図書の実充

各小中学校へ図書購入費を配当し、学校図書の充実を図った。

項目	図書整備費	購入図書冊数	年度末図書冊数（充足率）
小学校	2,179千円	1,422冊	84,199冊（108.3%）
中学校	3,259千円	1,833冊	48,555冊（79.9%）
計	5,438千円	3,255冊	132,754冊（95.8%）

Ⅲ-2 学校教育の充実

(2) 国際理解教育の充実

国際化社会の中で子どもたちが広い視野に立った人間に育つよう、国際理解教育の充実や英語教育の充実に取り組んだ。

- ・外国語指導助手招へい事業及び外国語指導助手補充事業（事業費 11,998千円）
語学指導を行うため招致した外国青年（姉妹都市アメリカ・フランクリン市から1人、JETプログラムから2人）を、国際理解教育・英語教育の充実のため、各学校に派遣した。
また新型コロナウイルス感染症の影響により来日できないALTがいたため、1人の雇

用期間を延長し引き続き雇用した。

III-2 学校教育の充実	(3) 特別支援教育の充実
---------------	----------------------

障がい等、教育上特別な支援を要する児童生徒へのきめ細かな指導の実現に努めた。

- ・くじかがやきプラン事業（特別支援教育）（事業費 37,283千円）

注意欠陥多動性(ADHD等)の軽度発達障がい、知的障がい等のある児童が通常学級に在籍している学校に対して、特別支援教育支援員を配置し特別な支援を要する児童生徒へ授業や日常生活の支援を行った。

(単位：人)

支援員配置校	久慈小学校	4	久慈湊小学校	2	長内小学校	2	小久慈小学校	3
	大川目小学校	1	夏井小学校	1	平山小学校	1	侍浜小学校	1
	宇部小学校	1	小袖小学校	1	山形小学校	1		
	久慈中学校	2	長内中学校	1	大川目中学校	1	侍浜中学校	1
	宇部中学校	1	三崎中学校	1	山形中学校	1		
								24人(兼務2人)計18校

III-2 学校教育の充実	(4) 情報教育の充実
---------------	--------------------

情報化社会に主体的に対応するため、情報モラル教育などの充実を図るとともに、「GIGAスクール構想の実現」に向けた学校ICT環境の整備を推進した。

ア 情報処理教育振興事業

全学校に校内無線LAN環境を整備するとともに、教職員校務用パソコン及び指導用タブレット端末を配備し、デジタル教科書や校務支援システムなどのソフトウェアを活用した情報教育の推進と校務の効率化を図った。また、「GIGAスクール構想の実現」に向けた整備として、児童生徒1人1台のタブレット端末の配備、学習支援ソフトの導入、充電保管庫の設置、高速通信に対応した校内LANケーブルへの更新を実施した。

<端末整備台数>

項目	児童生徒1人1台 タブレット端末	教職員校務用パソコン	教職員指導用 タブレット端末
小学校	1,702台	237台	276台
中学校	910台	167台	185台
計	2,612台	404台	461台

<事業費>

項目	小学校	中学校	計
教育システム賃借料	52,255千円	30,689千円	82,944千円
児童生徒1人1台端末整備費 (端末・ソフトウェア購入、設定委託)	91,479千円	48,928千円	140,407千円
校内LANケーブル・充電保管庫整備委託	46,118千円	24,832千円	70,950千円

Ⅲ-2 学校教育の充実	(5) 学習環境の充実
-------------	-------------

ア 遠距離通学支援事業（事業費 41,267千円）

小中学校の統廃合により遠距離通学となった児童生徒に対し、スクールバス・タクシーの運行により、安全な通学手段を確保した。

イ 就学援助事業

(ア) 経済的な理由によるもの

経済的な理由によって就学困難な家庭に対し、就学援助費を支給した。

	令和元年度（参考）		令和2年度	
	援助者数	金額	援助者数	金額
小学校	400人	25,161千円	370人	23,098千円
中学校	218人	22,003千円	201人	18,230千円
計	618人	47,164千円	571人	41,328千円

(イ) 被災によるもの【復興関係】

東日本大震災により被災した就学困難な家庭に対し、就学援助費を支給した。

	令和元年度（参考）		令和2年度	
	援助者数	金額	援助者数	金額
小学校	5人	290千円	2人	91千円
中学校	6人	649千円	2人	202千円
計	11人	939千円	4人	293千円

(ウ) 特別支援関係

特別支援学級就学児童生徒の家庭の経済状況により、就学奨励費を支給した。

	令和元年度（参考）		令和2年度	
	援助者数	金額	援助者数	金額
小学校	49人	891千円	48人	1,053千円
中学校	12人	430千円	22人	923千円
計	61人	1,321千円	70人	1,976千円

ウ 学校保健各種検査事業

5項目を実施し、健康管理及び指導に努めた。

項目	検査対象学年	小学校	中学校	計
尿検査	小中全学年	1,624人	877人	2,501人
心臓検診	小学1年、中学1年	232人	289人	521人
貧血検査	小学5年、中学2・3年	285人	565人	850人
生活習慣病予防健診	小学4年、中学1年	264人	282人	546人
脊柱側弯検診	中学1年、小学校内科検診 所見者、前年度未受診・有 所見者	4人	318人	322人
事業費		1,679千円	2,234千円	3,913千円

Ⅲ-2 学校教育の充実	(6) 学校施設の充実
-------------	-------------

ア 学校維持補修

修繕及び改修工事を実施し、学校施設の充実に努めた。

(ア) 修繕

項目	件数	金額
小学校	103件	10,704千円
中学校	63件	5,428千円

(イ) 改修工事

- ・小久慈小学校防火設備改修工事 11,990千円
- ・大川目小学校特別支援教室改修工事 528千円
- ・山形中学校防火設備改修工事 10,176千円
- ・山形中学校屋根改修工事 81,158千円
- ・久慈中学校特別教室棟外装改修工事 44,627千円

Ⅲ-2 学校教育の充実	(7) 学校給食の充実
-------------	-------------

ア 学校給食を通じた児童・生徒の心身の健やかな成長

児童・生徒・教職員等約3,000人に対し、安心・安全な給食を提供した。

イ 地産地消及び食育の推進

主食のお米は久慈市産米を93%、牛乳については「おおのゆめ牛乳」により久慈地域産100%を使用し、その他海産物・野菜類等、地域の特産物についても、食材の旬や生産時期に応じて地場産品の活用に努めた。

また、栄養教諭による食育授業を小・中学校あわせて110回実施したほか、当市の特産食材を活用した「地産地消ふれあい給食の日」を、11月から2月にかけて計12回実施し、併せて生産者等を交えての出前講座を8小学校で開催し、農林水産業への理解を高める機会を設けるなど、食育を推進した。

ウ 学校給食費の見直し

令和2年度から学校給食の献立の質を維持することを目的に、給食費を小学校1食当たり280円、中学校1食当たり300円に改定し、給食基準日数を172日とした。

■Ⅲ-3 生涯学習の充実

Ⅲ-3 生涯学習の充実 (1) 生涯学習の充実

ア 家庭教育の充実

子どもとその保護者を対象に、子どもの発達課題や家庭教育のあり方に関する学習機会を提供した。

(ア) 家庭教育支援基盤形成事業 (事業費 288千円 ※県補助10/10)

講座名	開設	開設期間	回数
学童期子育て講座 (生活習慣、食育、情報メディアについて 他)	市内小学校	9月～2月	12講座
思春期子育て講座 (命と性の話、ネット・ゲームの弊害)	市内中学校	9月～12月	5講座
学童期子育て講座・育児講座 (親子トランポリン)	生涯学習課	2月	1講座

(イ) 各種家庭教育事業 (生涯学習活動事業：各市民センター)

事業名	時期	場所	回数	参加者数
各種家庭教育学級	10月～2月	各市民センター及び各学校	8回	301人
各種ふれあい体験教室	6月～1月	中央・侍浜各市民センター	2回	26人

イ 学習機会の提供 (生涯学習活動事業：各市民センター)

市民センター9館において、各種事業を実施し、学習機会の充実を図った。

領域	主な事業名	回数等
青少年教育	(中央)高校生ボランティアスクール/ジュニアリーダー「中ボラ隊」/くじっこ☆ドンドコ体験団/サイエンスキッズ (長内)長内わいわい体験塾 (内間木洞体験、坐禅体験、餅つきとみずき団子づくり体験) (小久慈)夏休み社会科見学/ユニカル教室 (大川目)地場産業体験教室/川遊び体験教室 (夏井)夏中ヤンボラ部/夏井自然塾 (宇部)ゴマシジミ観察会 (侍浜)侍浜柔道教室 (山形)とびだせYキッズ	487回 9,666人
成人教育	(中央)丸い地球の暮らし方/郷土の歴史講座/手作りキャンドル教室/ワイヤークラフト講座/ドローン体験教室 (長内)趣味創作講座/長内リフレッシュ塾/地産地消教室	108回 1,383人

	<p>(小久慈)クラフトバック作り教室／ギター教室／絵画教室 (大川目)季節の嗜み講座(手打ちそば、お茶会、神楽鑑賞))／趣味講座楽々クラブ(毛糸編み、お茶会) (夏井)土から知る郷土の歴史／読み聞かせボランティア講座 (宇部)バードカービング教室／盆栽教室 (侍浜)侍浜夏まつり(実行委員会) (山形)食いしん坊道場／ヒメボタル観察会／移動センター 事業／郷土の歴史講座</p>	
女性教育	<p>(中央)趣味はくくつ講座～花編～／つまみ細工講座／ペー パークラフト講座 (長内)ほがらか健康体操 (小久慈)セルフかつさマッサージ教室 (夏井)多肉植物寄せ植え教室／キャンドルづくり体験／新 聞バックづくり講座 (山根)女性講座(アメリカンフラワー教室／編み物教室) (山形)女性創作講座</p>	<p>35回 349人</p>
高齢者教育	<p>(長内)シニア元気塾(終活講座／百歳体操／ニュースポー ツ交流会) (小久慈)悠々くら部(おとどけスポーツ) (夏井)生き生き倶楽部／ボッチャ体験教室 (宇部)ニューススポーツ交流会 (山根)高齢者教室(バードカービング教室)／山根町巡回 公民館</p>	<p>157回 1,337人</p>
地域活動	<p>(長内)盆踊り教室／ちょこっとボランティア／町内会交流 会／避難所開設体験 (小久慈)三世代交流小正月行事／じゅうね研究会会議・視 察／地域を照らすスマイルイルミネーション事業 ／地域防災への取り組み支援 (大川目)小さな産直・大川目／地域課題懇話会 (夏井)ふるさと未来づくり事業／持ち込み企画 (宇部)ふるさと未来づくり事業 (侍浜)侍ブランド創成プロジェクト支援事業 (山根)ふるさと未来づくり事業(カフェの市／有償ボラン ティア)</p>	<p>78回 1,917人</p>
芸術・文 化、スポー ツ・レクリ エーション 等	<p>(夏井)十二支巡りウォーキング／花壇づくり／夏井の小正 月／郷土芸能伝承・体験／市民センターフェア／ワ ロックお絵かき会 (宇部)みちのくトレイルウォーキング／歴史講演会 (侍浜)町民文化祭(実行委員会) (山形)演劇ワークショップ</p>	<p>14回 327人</p>

ウ 教育振興運動及び青少年健全育成の推進

(ア) 教育振興運動の推進

子ども達の教育水準向上を目指し、子ども・家庭・学校・地域・行政の5者がそれぞれの役割を明確にし、相互に連携しながら組織の活性化や実践交流会などの事業を積極的に展開した。

事業名	時期	場所	内容 (参加者数等)	
教育振興運動連絡協議会実践区育成	通年	市内各地	健全育成活動、教育振興運動に関する助言及び補助金交付 (実践区：13地区、補助金交付額 300千円)	
	領域	主な内容		参加者数
	学力向上	標語コンクール、読み聞かせ、教育講演会、地域探訪・地場産業体験学習、家庭学習ステップアップ運動、実践交流会 ほか		14事業 990人
	健全育成	あいさつ運動、野外活動体験、小正月行事、郷土芸能伝承活動、清掃奉仕活動、花いっぱい運動、世代間交流、農業体験、ほか		27事業 1,435人
	健康安全	青色回転灯巡回、環境美化活動、スポーツ交流、歩道の除雪作業、家庭教育講演会、安全啓発活動、海水浴場監視 ほか		13事業 712人
事業名	時期	場所	内容 (参加者数等)	
教育振興運動推進事業	※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止		教育振興運動・地域活性化推進研修会	
			教育振興運動実践交流大会	

(イ) 青少年健全育成の推進

a 放課後子ども教室推進事業 (事業費 5,174千円 ※県補助10/10)

安全・安心な子どもたちの居場所を公の施設に設け、児童生徒の健全育成、及び学力向上とともに、地域人材活用・地域活動の推進を図った。

事業名	期間	会場 (開催回数)	内容
放課後子ども教室	6月 ～ 2月	①中央市民センター (51回)	学習活動、小正月行事、社会科見学、スポーツ、工作教室、七夕飾り作り等季節の行事、盆踊り太鼓、文化財巡り、読み聞かせ、読書、野菜の苗植え、科学遊び ほか
		②小久慈市民センター (33回)	
		③大川目市民センター (53回)	
		④侍浜市民センター (44回)	
		⑤宇部市民センター (41回)	
		⑥夏井市民センター (41回)	
		⑦長内市民センター (52回)	
		⑧山形市民センター (43回)	
延8,520人 (358回) うち指導者等 延1,731人			

b 学校支援地域本部事業 (事業費 6,495千円 ※県補助10/10)

地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進するため、ボランティアによる各種活動を実施した。

支援学校名	回数	延べ人数	期間	内容
久慈小学校	188回	406人	4月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援 (畑・稲作指導、漁業体験指導、長期休業中の工作指導、ゲストティーチャー) ・郷土学習、伝統芸能継承の指導 ・環境整備 (草取り、花壇整備、図書修繕、図書室掲示物作成) ・読み聞かせ、ペープサート、新刊図書受付、未返却図書確認作業 ・学校行事支援 ・スクールガード、避難訓練見守り、海水浴場見守り、あいさつ運動 ・昔遊び、ふれあい交流会
久慈湊小学校	60回	220人		
長内小学校	221回	382人		
小久慈小学校	304回	1,588人		
大川目小学校	194回	1,441人		
夏井小学校	23回	102人		
平山小学校	180回	864人		
侍浜小学校	14回	35人		
宇部小学校	97回	230人		
久喜小学校	25回	63人		
小袖小学校	21回	168人		
山形小学校	49回	124人		
霜畑小学校	52回	131人		
来内小学校	13回	19人		
長内中学校	7回	42人		
大川目中学校	42回	160人		
夏井中学校	17回	72人		
宇部中学校	1回	3人		
三崎中学校	219回	232人		
山形中学校	6回	12人		

c 地域ボランティア活動支援事業（公民館生涯学習活動事業：中央・夏井市民センター）

ボランティア名	期間	主な内容	場所
ヤングボランティア SEED（会員15人）	通年	高校生によるイベント自主企画運営（顔合わせ会）	中心市街地 中央市民センター
夏中ヤンボラ部（会員17人）	通年	中学生による自主企画運営（神楽の着付け体験会／地層の勉強会及び海岸のごみ拾い／スカイアンブレラ）	夏井市民センター（夏井町内）

d 成人式開催事業

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

エ 総合的な生涯学習支援（生涯学習推進事業費 954千円）

(ア) まちづくり直送便（市職員を市民学習の講師として派遣）

実施回数	主な派遣先	受講者数
14回	各市民センター、小・中学校、高校、老人クラブ、自主活動グループ、町内会、学童保育所、子ども会 など	549人

(イ) 琥珀のまち生涯学習ボランティアバンク・サークル出前講座

（登録講師を市民の学習活動に派遣）

事業名	登録講師数	派遣回数	受講者数	主な派遣先
ボランティアバンク	個人 61人	41回	752人	婦人会、子ども会、老人クラブ、町内会、自主活動グループ、小中学校、保育園、父母会、学童保育所、市民センターなど
サークル出前講座	18組	0回	0人	

(ウ) 生涯学習士認定制度

市内における80の事業を生涯学習事業として認定し、市民が生涯学習士及び生涯学習奨励士の単位取得に取り組んだ。

生涯学習士	2人認定（認定累計289人）	認定事業100単位以上取得の者
生涯学習奨励士	5人認定（認定累計190人）	認定事業70単位以上取得の者

(エ) 市民生涯学習のつどいの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

(オ) 生涯学習情報の発信

広報紙、ホームページによる生涯学習情報の提供

事業名	時期	場所	内容
生涯学習だより 『まなびのまち』	年3回	全戸配布	生涯学習及び家庭教育に関する情報の掲載
フェイスブック 『子どもセンターくじ』	随時更新	インターネット	家庭教育情報や子育て情報 ・子どもの遊び場情報

オ 社会教育関係団体等の支援と育成

(ア) 団体の育成・支援 (事業費361千円)

事業名	期間	対象
社会教育関係 団体育成補助	年間	<ul style="list-style-type: none"> ・久慈市PTA連合会、久慈コネスコ協会、久慈市地域女性団体連合会、久慈市芸術文化協会(補助金交付額73千円) ※久慈市PTA連合会、久慈市地域女性団体連合会は新型コロナウイルスの影響で補助金交付なし ・久慈市郷土芸能保存団体協議会(12団体、補助金交付額288千円)

(イ) 公民館類似施設等整備・充実 (事業費 2,147千円)

事業名	期間	対象	内容
類似公民館 整備事業	年間	公民館 類似施設 (99館)	維持補修等補助金 施設補修：8館、1,646千円【補助率1/3】 備品購入：7館、501千円【補助率1/2】

Ⅲ-3 生涯学習の充実	(2) 文化施設の連携と芸術文化活動の充実
-------------	-----------------------

豊かで潤いのある生活と芸術文化の薫り高いまちづくりを推進するため、市民ニーズを捉え、芸術監督監修公演のほか多様なジャンルの公演を提供し、一部事業の中止があったものの、市民の文化意識の高揚と多くの市民が芸術・文化に親しめる環境の整備に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症にかかり、来場者及び出演者の安全を守るため、各種ガイドラインをふまえた対応の励行と情報の提供に努めた。(事業費 20,281 千円)

ア 優れた芸術文化事業の提供と鑑賞者の育成

名 称	期 日	場 所	対象・参加者
【共催】カモネットによる復興支援 チャリティーコンサート 2020	9月5日	文化会館	市民、50人
市制施行15周年記念 DRUM TAO「THE BEST LIVE 祭響」	10月25日	文化会館	市民、375人
市制施行15周年記念 演劇公演「岬のマヨイガ」	2月13日	文化会館	市民、324人
優秀映画鑑賞推進事業「黒澤明監督 傑作映画特集」	2月27日 ～ 28日	文化会館	市民、116人
市制施行15周年記念 音楽の贈り物 Vol.5 ～オール・チャイコフスキー・プロ グラム～	3月27日	文化会館	市民、344人
【共催】第20回スイス・ウィーク コロナに負けるな！コンサート 2021 石井楓子ピアノリサイタル	3月28日	文化会館	市民、74人
第73回岩手芸術祭巡回美術展	11月28日 ～ 29日	文化会館	市民、65人
第73回岩手芸術祭巡回小・中学校美 術展	2月20日 ～ 21日	文化会館	市民、510人
市制施行15周年記念 日生劇場ファミリーフェスティバル 2020 NHK みんなのうたミュージカル 「リトル・ゾンビガール」	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から 中止		
第14回久慈市民おらほーる劇場			

イ 芸術文化の創造と人材育成・支援

名 称	期 日	場 所	対象・参加者
おらほーる劇場ワークショップ	9月13日	おらほーる	11人
市制施行15周年記念 演劇公演「岬のマヨイガ」～児童文 学ふれあいトーク～	12月5日	図書館 (YOMUNOSU)	一般20人
市制施行15周年記念 演劇公演「岬のマヨイガ」～演劇ワ ークショップ～	12月13日	文化会館	一般58人 久慈高演劇部14 人 延べ86人
市制施行15周年記念 音楽の贈り物Vol.5「仙台フィルハ ーモニー管弦楽団による管弦楽クリ ニック」	3月26日	文化会館	一般19人
あなたもアーティスト	9月～10月 全6回	文化会館	延べ 23人
第23回ピアノマラソンコンサート	11月8日	文化会館	参加者 65人 来場者 199人
芸術文化団体活動支援事業 (講師派遣サービス)	通年	申請団体による	3団体 29人
第43回市民文芸賞	7月～10月 公募	文化会館	応募99作品 受賞作品数 一般の部：優秀 賞1、奨励賞2 中学生の部：4 小学生の部：2
第14回久慈市民おらほーる劇場 (再掲)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止		
合唱ワークショップ成果発表 (久慈市芸術文化祭参加)			
吹奏楽クリニック			
第22回吹奏楽祭			
合唱ワークショップ			
バックヤードツアー			
文化芸術による子供育成総合事業 (芸術家の派遣事業)			
文化芸術による子供育成総合事業 (巡回公演事業)			

ウ 地域社会との連携

名 称	期 日	場 所	対象・参加者
市制施行15周年記念 演劇公演「岬のマヨイガ」～児童 文学ふれあいトーク～（再掲）	12月5日	図書館 (YOMUNOSU)	一般20人
市制施行15周年記念 演劇公演「岬のマヨイガ」～演劇 ワークショップ～ （再掲）	12月13日	文化会館	一般58人 久慈高演劇部14人 延べ86人
市制施行15周年記念 音楽の贈り物Vol.5「仙台フィルハ ーモニー管弦楽団による管弦楽ク リニック」（再掲）	3月26日	文化会館	一般19人
芸術文化団体活動支援事業 （講師派遣サービス） （再掲）	通年	申請団体による	3団体 29人
岩手県青少年劇場（本公演） はなしの伝統芸能「みんなで大笑 い！東西寄席」 （負担金743千円）	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から 中止		
文化芸術による子供育成総合事業 （芸術家の派遣事業） （再掲）			
文化芸術による子供育成総合事業 （巡回公演事業） （再掲）			
合唱ワークショップ成果発表 （久慈市芸術文化祭参加）（再掲）			
第14回久慈市民おらほーる劇場 （再掲）			
第22回吹奏楽祭（再掲）			
久慈市民芸術文化祭			

エ 機能的効率的な管理・運営 (事業費 104,061千円)

管理運営項目		久慈市文化会館	久慈市山村文化交流センター
使用料等収入		2,427千円	96千円
運営管理費支出		87,869千円	16,192千円
主な支出費目	施設管理業務委託料	51,875千円	7,768千円
	電気料	18,638千円	4,599千円
	燃料費	4,415千円	1,453千円
	水道料	862千円	100千円
	その他	12,079千円	2,272千円
施設利用状況		23,870人 (前年比 39,057人減)	1,751人 (前年比 1,744人減)

オ 文化会館改修事業 (事業費147,598千円のうち明許繰越分73,480千円)
令和元年度に引き続き、舞台音響設備の改修工事を実施した。

III-3 生涯学習の充実 (3) 図書館機能の充実

親しまれ、街に賑わいを創出するため、久慈市立図書館を新築オープンし、各種学習機会の提供と感染症対策を講じながら安心安全な運営を務めた。また、子どもたちの健やかな成長を促すため、読み聞かせを含めた各種事業を展開し、読書環境の整備に努めた。

ア 利用状況

	久慈市立図書館 (事業費 61,788千円)	久慈市立山形図書館 (事業費 8,965千円)
入館者数	85,460人	3,734人
蔵書数	111,429冊	43,985冊
総貸出数	103,239点	12,111点
貸出利用者数	23,784人/延 (個人 23,107人/延) (団体 677団体/延)	2,570人/延 (個人 2,250人/延) (団体 320団体/延)
移動図書館 (再掲)	利用者数 817人/延 (個人 243人/延) (団体 574団体/延) 貸出冊数 13,160冊/延	利用者数 526人/延 (個人 255人/延) (団体 271団体/延) 貸出冊数 5,004冊/延

※ 久慈市立図書館は新館移転、7月にオープンし、指定管理者制度を導入した。

※ 4月から6月まで、移転準備期間とし、3ヶ月間休館した。

イ 主な事業及び実績

久慈市立図書館		久慈市立山形図書館	
図書館だより (広報くじ掲載)	9回	図書館だより (広報くじ掲載)	12回
図書館だより発行	3回	しらかばだより発行	4回

各種企画展		30回	こども図書館だより発行		5回
手づくり絵本教室	3回	24人	各種企画展		22回
プログラミングワークショップ			手づくり絵本教室	4回	28人
		4回	図書館映画会	8回	9人
手づくりしおり教室	1回	9人	施設見学受入	1回	4人
ぬいぐるみおとまり会	1回	17人	「木とふれあおう」		
朗読劇	1回	23人	カトラリー作り	1回	9人
ブックスタート	9回	137人	かるたで遊ぼう！	1回	6人
チビッコの部屋	9回	52人			
図書館えいがかい	15回	204人			
ヨムノスシネマ	5回	112人			
コーヒーワークショップ	1回	11人			
施設見学受入	40回	760人			
職場体験学習受入	7回	8人			

Ⅲ-3 生涯学習の充実

(4) 地域の歴史と文化の継承と発信

地域の歴史と風土に培われた貴重な文化遺産の調査と保護に努めるとともに、各種文化財の活用、郷土芸能の継承を図り、文化財保護意識の啓発と周知に努めた。

ア 文化財の調査と保護 (事業費 1,780千円)

事業名	時期	参加者数	事業内容
指定文化財保護事業	12月12日	—	チョウセンアカシジミ卵数調査
	年間	—	内間木洞・久慈城跡・合戦場一里塚等に係る保護・管理等
埋蔵文化財の調査	年間	—	各種事業に係る試掘調査。3件実施
民俗資料の収集	年間	—	2件34点の資料受贈
郷土芸能保存団体の育成	年間	—	関係12団体で構成する協議会への補助
枝成沢虫まつり	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止		

イ 文化財の管理と活用 (事業費 4,573千円)

事業名	時期	参加者数	事業内容
文化財保管・展示施設 維持管理及び公開事業	通年	235人 (うち特別公開23人)	施設の維持管理・収集資料の整理 久慈市歴史民俗資料室の公開
久慈市歴史民俗資料室特別 公開	10月～11 月 (月1回)		小久慈朝市の開催日に併せて公開 。10月と11月の2回実施
第27回 久慈市郷土芸能祭	1月24日	120人	市内に伝承される郷土芸能保存団 体の公演。出演3団体
講師派遣・史跡等見学対応	年間	6回	市内外の各団体からの依頼を受け 、久慈の歴史や文化財を解説する 講義への講師派遣、史跡等の見学 解説を実施
文化財めぐり	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止		
内間木洞氷筒観察会			
文化財展			

■Ⅲ-4 生涯スポーツの振興

Ⅲ-4 生涯スポーツの振興 (1) 生涯スポーツの充実

「いつでも、どこでも、いつまでも」市民の誰もが気軽にスポーツに親しみ、楽しめる生涯スポーツ社会の実現に向け、地域スポーツ施設の開放と各種スポーツ教室等を開催した。

ア 生涯スポーツ推進体制の充実 (事業費 4,971千円)

(ア) 学校体育施設等の開放 (事業費 2,849千円)

広く市民にスポーツ活動の場を提供するため、学校体育施設を開放した。

なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、4月18日から5月8日まで学校体育施設開放事業を臨時に中止した。

a 屋外運動場、体育館の開放

区分	延開放日数	延利用者数
小学校14校中8校	1,254日	26,975人
中学校8校中7校	1,118日	17,889人

b 屋外運動場照明施設開放

区分	延開放日数	延利用時間	延利用者数
久慈中学校外3校	82日	123時間	1,356人

c プール開放

区分	開放日数	延利用者数
長内小学校プール外1校	32日	1,464人

(イ) スポーツ活動の実施 (事業費 97千円)

地域に所在するスポーツ施設や、市民体育館を活用し、小学生から一般まで各年齢層を対象としたスポーツ教室、大会を次のとおり実施した。

a スポーツ教室

対象	主な開催場所	教室の主な内容	開催回数	参加者数
一般	市民体育館 各地区市民センター等	ボッチャ体験教室 おとどけスポーツ教室	26回	延450人
小学生	市民体育館	なつやすみ！小学生スポーツ教室	3回	延81人
一般	県北青少年の家	カーリング体験教室	1回	延10人
小学生	市民体育館	ふゆやすみ！小学生スポーツ教室	3回	延39人
計		5教室	33回	延580人

※ スポーツ吹矢教室、ノルディックウォーキング教室は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

b スポーツ大会

大会名	期日	開催場所	参加者数
市民マレットゴルフ大会 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	—	宇部マレットゴルフ場	0人

c 各種大会の共催・後援

スポーツを通じて市民の健康増進を図るため、各種大会を共催、後援し開催した。

区分	事業数	延参加者数	備考
共催	24事業	3,653人	
後援	17事業	14,600人	

イ 体育協会等委託事業 (事業費 149千円)

久慈市体育協会等委託事業 (負担金及び補助金 149千円)

委託事業	参加者数
第15回久慈市民体育大会 (負担金：0千円) ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0人
第25回久慈もぐらんびあ駅伝競走大会 (負担金：50千円) ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0人
第5回久慈あまちゃんマラソン大会 (負担金：0千円) ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0人
第71回北奥羽体育大会 (補助金：0千円) ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0人
第37回久慈地区水泳大会補助金 (補助金：0千円) ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0人
市長旗争奪少年野球大会運営費補助金 (補助金：99千円)	600人
久慈地区少年ふれあい柔・剣道大会実行委員会負担金 (負担金：0千円) ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0人
計	600人

ウ 競技団体活動の助長と競技力の向上 (事業費 5,286千円)

(ア) 社会体育団体育成事業 (補助金 4,852千円)

団体の活動費や大会への派遣費を助成し、活動の活性化と競技力の向上を図った。

なお、各団体に対し、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、4月18日から5月7日まで、活動自粛要請を行った。

区分	内容	補助金額
地区体育協会・種目別協会等関係	スポーツ振興事業費補助金	2,840千円
	社会体育団体育成補助金 (地区体育協会 12団体、種目別競技協会 24団体、計 36団体)	855千円
	第73回岩手県民体育大会 (冬季) 選手派遣費補助金 (1種目、延 1人) ※夏季大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止	3千円
	第71回北奥羽体育大会選手派遣費補助金 (0種目、延 0人) ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	0千円

スポーツ少年団等関係	スポーツ少年団育成補助金（団員 1,004人）	648千円
	スポーツ少年団指導者育成補助金 （指導者 184人※全員291人）	229千円
	スポーツ少年団県大会参加補助金（5大会、延 104人）	277千円
	全国・東北大会等選手派遣費補助金 （0団体、0大会、延 0人）	0千円

(イ) 県レベル大会以上誘致事業（事業費 80千円）

県レベル大会誘致により、市民のスポーツに対する意欲を高めるとともに競技力等の向上に努めた。

大会名	期日	参加者数	補助金額
第43回東日本軟式野球大会（一部）岩手県予選	10月10日	292人	80千円

(ウ) スポーツ振興号の配備（事業費 354千円）

各種スポーツ活動等の用に供するためスポーツ振興号を配備し、生涯スポーツの振興を図った。

- ・利用日数18日、利用回数15回（総走行距離 1,946km）延べ走行距離53,818 k m

Ⅲ-4 生涯スポーツの振興	(2) 体育施設の有効活用
---------------	---------------

ア 体育施設利用者の利便性と利用増加を促進するため、指定管理者制度の導入による施設管理を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、4月18日から5月8日まで、体育施設の臨時休館の措置を行った。

(ア) 一般社団法人久慈市体育協会（委託料 78,450千円）

施設名	開設期間	R元利用者数	R2利用者数
市民体育館	4月1日～3月31日	91,122人	81,688人
第二体育館	4月1日～3月31日	9,927人	9,317人
市民柔剣道場	4月1日～3月31日	5,611人	5,148人
市民弓道場	4月1日～3月31日	1,577人	1,893人
市民庭球場	4月1日～11月30日	2,237人	2,656人
総合運動場（陸上競技場）	4月1日～11月30日	5,432人	1,541人
総合運動場（テニスコート）	4月1日～11月30日	511人	245人
市民相撲場	4月1日～11月30日	0人	0人
侍浜マレットゴルフ場	4月1日～11月30日	1,320人	849人
宇部マレットゴルフ場		3,442人	2,951人
宇部地区プール	7月1日～8月31日	897人	778人
大川目地区プール		2,065人	1,588人
小久慈地区プール		1,096人	584人
侍浜地区プール	6月15日～9月15日	1,015人	435人
夏井地区プール	7月1日～8月31日	728人	262人
計		126,980人	109,935人

(イ) 特定非営利活動法人やまがた文化・スポーツNPO (委託料 19,860千円)

施設名	開設期間	R元利用者数	R2利用者数
山形B&G海洋センター	4月1日～3月31日	7,217人	4,046人
山形屋内ゲートボール場		2,457人	2,521人
山形B&G海洋センタープール	6月2日～9月13日	1,605人	1,323人
計		11,279人	7,890人

イ 市直営管理施設 (役務費等 10,163千円)

施設名	開設期間	R元利用者数	R2利用者数
市営野球場	4月1日～11月30日	10,594人	7,498人
旧長内中学校グラウンド	4月1日～11月30日	1,975人	1,900人

ウ 施設管理改修工事 (5,930千円)

久慈市民体育館照明制御盤修理工事他1件	1,154千円
山形B&G海洋センター浄化槽修繕	370千円
市民庭球場物置改修工事	1,292千円
宇部地区プール漏水修理工事他3件	507千円
市営野球場電気設備機器更新修繕業務他4件	2,607千円

Ⅲ-4 生涯スポーツの振興

(3) 柔道のまちづくりの推進

ア 各柔道大会の開催 (事業費 0千円)

柔道の普及・発展と相互の親睦を図るため、次のとおり開催するもの。

大会名	期日	参加範囲	参加者数
第15回市長杯争奪柔道大会 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止		久慈管内	0人
第58回三船十段杯争奪柔道大会 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止		東北全県	0人

イ 柔道タウン推進事業の開催 (事業費 0千円)

(ア) 久慈少年柔道強化遠征事業

市内の小中学生を対象に、盛岡市への強化遠征事業を実施するもの。

期間	会場	参加者数
※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	岩手県営武道館	0人

(イ) 久慈柔道強化錬成会

市内の中高生を対象に、岩手県強化選手を招き、強化練習を実施するもの。

期間	会場	参加者数
※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	三船十段記念館	0人

■Ⅲ-5 男女共同参画社会の推進

Ⅲ-5 男女共同参画社会の推進 (1) 市民の意識の醸成

男女共同参画社会の実現に向け、市民や企業、団体が一体となった取り組みができるよう男女共同参画推進事業等の開催や広報、啓発活動に努めた。(事業費 87千円)

ア 出前講座

講座名	講師	日時	会場	参加者
性別にこだわらない職業選択	久慈市職員	R2. 11. 6	侍浜中学校	50名
久慈市の男女共同参画について	久慈市職員	R2. 12. 16	小久慈市民センター	15名
LGBT講座	男女共同参画センター職員	R3. 1. 25	アンバーホール	56名
ワークライフバランス講座	NPO 法人ファザーリング・ジャパン東北理事	R3. 1. 28	久慈市役所	43名

イ その他の啓発事業

内容	日時	会場	参加者
男女共同参画のつどい	コロナのため中止		
広報くじ「Let's男女共同参画」コーナーの隔月掲載	6回	—	全戸配布

Ⅲ-5 男女共同参画社会の推進 (2) 審議会委員等への積極的な登用

男女双方の意見を市政に反映するため、各種審議会などへの女性委員の登用を図った。

	目標値	H28	H29	H30	R01	R02
審議会等における女性委員登用率	令和2年度までに40.0%	35.6%	(調査なし)	29.6%	(調査なし)	29.3%

Ⅲ-5 男女共同参画社会の推進 (3) 女性リーダーの養成

女性団体等の活動支援を行うとともに、広い視野と自覚を持ったリーダーの育成のため、男女共同参画推進委員、サポーター、女性団体へ講座を周知し、サポーター養成講座の受講を行った。

事業名	日時	会場	受講人数
いわて男女共同参画フェスティバル2020	コロナのため動画配信での開催		
男女共同参画サポーター養成講座	9月～11月	動画配信	2名

IV 基礎戦略3 資源を生かす魅力とやりがいのある産業のまちづくり

■IV-1 農業の振興

IV-1 農業の振興 (1) 担い手農家の育成・確保

地域農業マスタープランに位置づけられた地域の中心となる経営体（中心経営体）を認定農業者へ誘導し、経営改善計画の達成に向けた取組を支援した。

将来の地域の中核となる経営体を育成するため、意欲的な農業者や集落営農組織の経営発展を重点的に支援し、安定的に農業所得が確保できる経営体の育成を図った。

新規就農者の確保・育成に向け、就農準備から経営確立までの発展段階に応じた経営力向上支援に取り組んだ。

地域農業マスタープランの実践や農地中間管理事業の活用により、経営規模の拡大と農業経営基盤の整備を図り、作業の効率化などによる経営の安定化に向けた取組を支援した。

ア いわて地域農業マスタープラン実践支援事業

認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織、中心経営体等に対する基盤整備等を総合的に支援（県単補助・市義務負担）

事業主体	対象作目	事業内容	事業費 (千円)
横沼椎茸生産組合	菌床しいたけ	エアコン2台 循環扇4台 加温器1台	4,545
久慈第1菌床生産組合	菌床しいたけ	菌床用ハウス1棟 菌床用栽培棚1式 加温器1台 循環扇4台	5,788
久慈第3野菜生産組合	菌床しいたけ	簡易予冷库1台 椎茸梱包機1台 菌床用ハウス2棟 菌床用栽培棚1式 加温器2台 エアコン2台 循環扇8台	19,771
久慈第6野菜生産組合	ほうれんそう トマト きゅうり	プラソイラー1個 管理機1式 簡易ハウス1棟 簡易ビニールハウス1棟	4,378
合計 (4団体)			34,482

補助金 17,244千円（うち、県 11,489千円、市5,755千円）

イ 新規就農者への支援

(ア) 新規就農者育成確保対策事業

事業内容	生産施設及び農業機械の購入のために借り受けた資金に係る経費を助成（事業活用者 0人）
補助金	事業対象者なし

(イ) 農業人材力強化総合支援事業

事業内容	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため総合的に支援（事業活用者 7人うち夫婦2組）
補助金	8,980千円

IV-1 農業の振興 (2) 基幹作目等の振興

基幹作目である菌床しいたけ、雨よけほうれんそうを振興し、これに次ぐ主力作目の確立を図るため、関係機関などと連携し新作目の実証栽培に向けた取組を検討した。

ア いわて地域農業マスタープラン実践支援事業（再掲）

※実績等は前ページ参照

イ 園芸作物生産活性化推進事業

事業主体 新岩手農業協同組合

補助金 2,660,000円

(ア) 園芸作物生産活性化推進事業

市が奨励する園芸作物の種苗・種子、生産資材、土壌消毒資材購入費に対する補助

作目名	項目	受益戸数	受益面積(a)	数量	金額(千円)
ほうれんそう	種子(スパイダーZ・ハンター)	76	475	154袋	715
	堆肥	58	278	282 t	1,551
	土壌消毒剤等資材	13	127	各種	1,014
寒じめほうれんそう	種子(冬霧・寒味・寒味極・朝霧)	32	124	59袋	149
小松菜	種子(ちぢみ・美翠)	14	27	29袋	45
きゅうり	種子(プロジェクトX・新北星)	5	18	15袋	118
	台木種子(一輝黒・ときわ)	17	68	5,364本	1,198
トルコギキョウ	苗	3	3	9,900本	294
ストック	苗	2	2	2,100本	46
スプレーぎく	苗	3	13	36,700本	525
ゆり	苗	1	1	1,675本	128
合計					5,783

(イ) 新作目開発実証事業

当地域の気象条件を生かした高収益作物の栽培実証を行い、その成果をもって新作目として普及拡大を図り、農家所得の安定と向上を図る。

作目名	項目	受益戸数	受益面積 (a)	数量	金額 (千円)
ズッキーニ	種子	5	25	21袋	53
	生産資材	5	25	各種	275

(ウ) 遊休ハウス活用支援事業

遊休ハウスの移設のために新たに資材を購入又は修繕に対する補助。

作目名	項目	受益戸数	受益面積 (a)	数量	金額 (千円)
ほうれんそう 菌床しいたけ	ビニール等資材	7	20	各種	2,249

IV-1 農業の振興 (3) 畜産業の産地化の推進

ア いわて地域農業マスタープラン実践支援事業

認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織、中心経営体等に対する基盤整備等を総合的に支援（県単補助・市義務負担）

事業主体	対象家畜	事業内容	事業費（千円）
類瀬肉用牛生産組合	肉用牛	繁殖牛舎1棟	15,950
山形第1機械利用組合	肉用牛	繁殖牛舎1棟	25,575
山形第5機械利用組合	肉用牛	哺乳ロボット1セット	2,970
大芦機械利用組合	乳用牛	ベールラッパー1台	3,850
計(4団体)			48,345

補助金 15,555千円（県 10,369千円、市 5,186千円）

イ 岩手県ブロイラー価格安定対策事業

事業主体	岩手県チキン協同組合
事業内容	ブロイラー価格が基準価格を下回った場合の補てん金交付積立金に対する補助(契約羽数 7,032千羽)
補助金	2,198千円

ウ 畜産振興総合対策推進指導事業

事業主体	新岩手農業協同組合
事業内容	乳用牛群総合改良推進事業(検定頭数 2,095頭)、家畜導入事業資金供給事業(導入頭数 7頭)
補助金	1,682千円（県 1,231千円、市 451千円）

エ 畜産環境総合整備事業（ストックマネジメント事業）

事業主体	岩手県農業公社
事業内容	久慈市堆肥センターの施設の大規模修繕・改修、設備の更新・修

	繕(実施設計)
補助金、負担金	168,639千円 (県 80,135千円、市 88,504千円)

オ 受精卵移植活用促進事業

事業主体	新岩手農業協同組合くじ酪農生産部会
事業内容	受精卵移植技術を活用し、乳用優良牛の増殖及び改良促進を図る (受精卵購入数 12頭)
補助金	1,000千円 (県 666千円、市 334千円)

カ 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 (畜産クラスター事業)

事業主体	陸中畜産クラスター協議会
事業内容	牛舎等施設整備
補助金	257,500千円 (県 257,500千円) (全額明許繰越)

キ 肉用牛飼養農家経営支援臨時給付金

事業主体	肉用牛飼養農家
事業内容	新型コロナウイルス感染症拡大による大きな影響を受けている肉用牛飼養農家を支援
給付金	7,400千円 (国 7,200千円、市 200千円)

ク 黒毛和牛飼養農家事業継続支援補助金

事業主体	黒毛和牛飼養農家
事業内容	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う価格下落に対する、出荷経費等の一部補助。
補助金	4,553千円 (国 4,553千円)

ケ 優良種雄牛利用促進対策事業

事業主体	新岩手農業協同組合
事業内容	日本短角種の振興及び牧野運営の安定を図るため、種雄牛9頭の管理料の経費に対する補助
補助金	2,574千円

コ 家畜診療事業

区分	診療件数	診療金額	適用
家畜共済加入分	273件	8,176千円	家畜共済診療費保険給付金含む
家畜共済未加入分	134件	1,805千円	

IV-1 農業の振興	(4) 地産地消の推進
------------	-------------

安心安全で新鮮な地元農産物に対する消費者の理解を高めるとともに、関係機関との連携を図りながら学校給食における食材の活用に努めた。

また、食農教育を通じて地産地消への理解増進を図った。

ア 地産地消ふれあい給食事業

事業内容	市内全小中学校を対象に地元食材（ほうれんそう・鮭・短角牛・しいたけ（各食材×3回）計12回）活用による学校給食を提供し、地産地消、食育を推進
事業費	3,073千円

イ 食農教育・地産地消推進事業

事業内容	市内小学校8校を対象に「地産地消ふれあい給食事業」と併せて地元食材（ほうれんそう・鮭・短角牛・しいたけ）の生産者及び食生活改善推進員の出前講座を行い地産地消、食育を推進
事業費	23千円

IV-1 農業の振興	(5) 都市との交流の推進
------------	---------------

山村体験型交流事業

実施主体	短角牛の里と都市を結ぶ集い実行委員会
事業内容	オンラインで開催した リモートで、エリート牧場の短角牛の放牧風景、縄ない体験 生産者と消費者の顔の見える交流会
補助金	200千円

IV-1 農業の振興	(6) 農業環境整備の促進
------------	---------------

ア 多面的機能支払交付金

	地区数	対象農用地 面積 (ha)	交付金額 (千円)	うち市負担 1/4 (千円)
農地維持支払	9	303.80	9,021	2,255
資源向上支払（共同活動）	8	299.27	5,346	1,337
資源向上支払（長寿命化）	5	151.30	4,533	1,133
計	9		18,900	4,725

イ 宇部川地区ほ場整備事業（県営）【復興関係】

事業期間	H24～R2
全体事業計画	区画整理工 79.5ha（野田分19.6ha含む）、道路工 用排水路工、暗渠排水工、頭首工整備等

主要な施策の具体的措置状況及び成果

全体事業費	2,515,900千円
換地処分公告日	令和2年7月17日
農用地における 面的集積率	同一の農業者によって耕作される農地1ha以上のまとまりで構成されている割合 整備前 (H24) 3.4% (面的集積面積 3.1ha) 換地後 (R2) 63.0% (面的集積面積 50.4ha)
1団地当たりの面積	機械による耕作作業が中断されず継続させることができる農用地の集まり 整備前は同一耕作者にも関わらず点在していた農用地を換地処分で耕作者ごとに一カ所に集約した 整備前 (H24) 2,319m ² 換地後 (R2) 3,802m ²

■IV-2 林業の振興

IV-2 林業の振興 (1) 林業基盤の整備

ア 森林整備事業

森林の公益的機能の維持増進及び市有財産の適切な管理を図るため、市有林において次の事業を実施した。

実施地区	区分	面積 (ha)	事業費 (千円)	備考
枝成沢	植付	6.13	3,960	
野頭	下刈	4.04	880	
滝ノ沢	下刈	7.21	1,496	
枝成沢	下刈	14.36	2,970	
上戸鎖(1)	下刈	11.34	2,409	
古山(1)	地拵	5.09	2,750	
古山(2)	地拵	7.15	3,850	
古山	間伐	14.79	9,431	
本町	間伐	10.59	3,575	
計		80.70	31,321	

イ 木質バイオマス活用事業

化石燃料の代替となる木質バイオマスの普及による未利用間伐材の解消と森林の持つ公益的機能の維持増進を図るため、木質バイオマス熱供給施設の整備に係る支援及び市内施設へのチップボイラー設備の利用拡大に取り組んだ。

- ・市内宿泊施設への木質バイオマス熱供給施設の提案

熱供給による温浴施設の加温について検討いただいたが、費用負担等、施設側の意向により近々の整備は見送りとなった。

- ・温泉施設におけるチップボイラーの状況

「二酸化炭素排出抑制対策事業」により、平成30年度にチップボイラーを整備し、平成31年4月より本格稼働を開始したが、源泉揚湯量の減少により、令和元年10月より稼働休止。令和2年度に新たに井戸を掘削し施設再開が見込める揚湯量が確認されたことから、施設の再開に合わせてチップボイラーも稼働予定。

IV-2 林業の振興 (2) 日本一の炭の里づくりの推進

日本一の炭の里づくりの振興

根強い木炭需要に対応するため、生産量の増加と木炭品質の向上を図るとともに、新たな販路の開拓等に努め、日本一の炭の里づくりの推進を図った。

また、木炭生産の安定化、近代化を図るため、「木炭生産施設整備事業費補助金」により、木炭の生産組合が実施する製炭窯の付帯施設の整備に対する支援を行った。

(単位：千円)

事業種目	助成組合数	総事業費	補助金額	備考
付帯施設	1	172	52	半自動梱包機

IV-2 林業の振興	(3) 特用林産物生産の振興
------------	----------------

しいたけ生産の振興

しいたけ生産者の新規参入促進及び参入後の定着を支援するため、森林組合等が行う原木しいたけ新規参入支援事業に対して助成した。

事業種目	助成 組合数	総事業費 (千円)	補助金額 (千円)		
			県 (千円)	市 (千円)	
ほだ木造成	1	890	445	297	148

■IV-3 水産業の振興

IV-3 水産業の振興 (1) つくり育てる漁業の推進

ア 水産資源増殖事業

水産資源の維持、確保のため次の事業を実施した。(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	補助金
ウニ種苗放流事業 (久慈市漁協)	ウニ種苗放流 132,000個	3,142	471
アワビ種苗放流事業 (久慈市漁協)	アワビ種苗放流 705,000個	37,013	4,624
ナマコ産地化推進事業 (久慈市漁協)	稚ナマコ放流 88,000個	2,904	1,452

事業名	事業内容
さけ・ます放流事業 (久慈川漁協・久慈市漁協)	2,347万尾 (うち、海中飼育 210万尾)

イ 資源確保事業

ウニ・アワビ等の水産資源の確保・有効活用のため、次の事業を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	補助金
水産資源活用等支援事業	ウニ深浅移植及びウニ・アワビ用餌料購入・運搬等に係る経費に助成	8,024	2,674

IV-3 水産業の振興 (2) 漁港漁村の整備

ア 漁港整備による水産業の振興

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
地域水産物供給基盤整備事業 (小袖漁港)	防波堤嵩上げ ・L=9.5m(暫定) ※R1年度からの繰越	42,000	H28年度～ R3年度
	防波堤嵩上げ ・L=25.9m(暫定)	110,000	
水産物供給機能保全事業 (小袖漁港) (侍浜漁港)	橋梁架け替え ・L=5.0m ※R3年度へ一部繰越	6,250	R1年度～ R3年度
	機能保全計画策定 一式 ・計8地区	37,700	R2年度
海岸堤防等老朽化対策事業 (小袖漁港海岸) (久慈湊漁港海岸)	長寿命化計画策定 一式 ・防潮堤、水門、陸閘	8,855	R2年度
	長寿命化計画作成 一式 ・防潮堤、水門	10,989	R2年度

イ 漁業集落環境の整備

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
漁業集落環境整備事業 (白前・本波地区)	集落道 L=280.0m 排水路 L=9.0m ※ R1年度からの繰越	20,000	H24年度～ R6年度
	集落道 L=212.0m 詳細設計 一式	20,000	

ウ 漁港施設等の復旧

(ア) 補助災害復旧事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
川津内漁港	船揚場復旧 一式 水中調査 一式 ※R1年度からの繰越	7,719	R1年度～ R2年度
	船揚場復旧 一式	1,569	

(イ) 単独災害復旧事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
川津内漁港他5漁港	泊地浚渫等 一式 ※R1年度からの繰越	6,304	R1年度～ R2年度
小袖漁港他5漁港	泊地浚渫等 一式 ※R3年度～全部繰越	15,600	R2年度～ R3年度

IV-3 水産業の振興	(3) 内水面漁業の振興
-------------	--------------

増殖・放流事業 (単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	補助金
淡水魚増殖、放流事業 (久慈川漁協)	アユ稚魚 92,000尾 イワナ稚魚 58,333尾 ヤマメ稚魚 521,014尾	12,248	670

IV-3 水産業の振興	(4) 担い手育成対策
-------------	-------------

国の支援策である「新規漁業就業者総合支援事業」を実施した。

また、久慈市漁業就業者育成協議会により、新規漁業就業を希望している方を把握するため実態調査を実施し、候補者リストを作成したほか、久慈市の漁業の特徴や漁師になるための方法を紹介した「くじ漁師ガイドブック」の作成など、新規漁業就業者の確保・育成のための具体的な取組を実施した。

IV-3 水産業の振興	(5) 水産物の販売力の向上
-------------	----------------

消費者から選ばれる産地となるよう高度衛生管理手法に基づき、産地関係者のための衛生品質管理講習会を実施するなど、魚市場における安心・安全な食材の供給体制に努めた。

また、久慈市漁業協同組合等の関係機関と連携し、水揚げ強化対策としての巻き網船の誘致活動の実施や「ギンザケ」及び「ナマコ」など、久慈の水産ブランドの確立に向け取り組んだ。

IV-3 水産業の振興	(6) 東日本大震災に係る復旧事業 【復興関係】
-------------	--------------------------

漁港施設等の復旧 (単位：千円)

事業名	事業内容	事業費	備考
漁港施設災害復旧事業	小袖漁港海岸防潮堤災害復旧 ・水門、陸開遠隔化負担金 1式	25,231	H23年度～ R2年度

IV-3 水産業の振興	(7) 魚市場事業特別会計
-------------	---------------

ア 令和2年度の水揚げ高は、数量7,017トン（前年度比1.3%減）、金額1,327,862千円（前年度比2.5%減）であった。

イ 市営魚市場使用料は、5,843千円（前年度比1.7%減）であった。

■IV-4 商工業の振興

IV-4 商工業の振興 (1) 起業家に対する支援

- ア 久慈市創業支援事業計画に基づく支援 ※再掲
平成28年1月に国に認定された「久慈市創業支援事業計画」に基づき、創業希望者に対して関係機関と連携して、事業計画作成から創業に至るまで切れ目のない支援を行った。久慈市が行った個別相談件数は3件であり、うち1件が創業となった。
- イ 久慈・ふるさと創造基金事業 ※再掲
創業希望者等に対し、久慈商工会議所が資金貸付する「久慈・ふるさと創造基金」に係る運営経費への補助金交付を行うとともに、新たな支援企業の掘り起しと制度周知に努めた。令和2年度の新規貸付は、1件、4,500千円であった。
久慈・ふるさと創造基金運営補助金 425千円

IV-4 商工業の振興 (2) 中心市街地の活性化

- ア 久慈駅前整備事業
駅前複合施設の備品を購入した。
事業費 18,438千円
- イ 観光交流センター指定管理業務委託
観光交流センターの運営について、一般社団法人久慈市観光物産協会に委託し効率的な施設の運営に努めた。
事業費 37,499千円

(ア) 観光交流センター利用状況 (単位：件、人)

種 別		利用者数							
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
2階 会議室	件数	591	615	582	448	398	387	358	262
	人数	6,408	6,165	4,926	4,492	3,891	4,342	4,142	2,486
多目的 ホール	件数	610	640	633	336	263	243	295	166
	人数	13,865	12,371	14,085	9,877	10,504	7,799	6,122	2,831

※平成28年度以降は、多目的ホールを道の駅利用者の無料休憩スペースとして併用し、貸し出しを午後3時からとしたため件数・利用者数ともに減少した。(利用者アンケート等を反映)

(イ) 駅前観光交流センター利用状況 (令和2年7月開館)

利用者数 130,244人

- ウ 観光交流センター魅力向上事業委託
観光交流センター「風の館」における定期イベントの開催や観光PR活動を実施し、屋外イベントや市民カルチャー講座等に延べ2,800名が参加した。
事業費 1,150千円

エ 久慈商店会連合会補助金

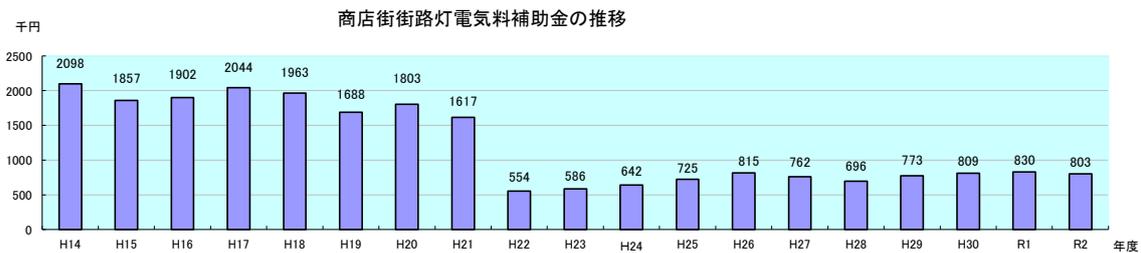
中心市街地の活性化を図るため、久慈商店会連合会の構成商店会が特色ある賑わいの創出を目的として実施した「ヤマセあきんど祭り」を支援し、魅力ある商店街の形成に努めた。

事業費 1,025千円

オ 商店街街路灯電気料補助金

商店街街路灯等電気料助成事業補助金交付要綱に基づき、商店街団体（11商店会）が設置維持管理する街路灯電気料の2分の1相当額を助成した。

事業費 803千円



※平成22年度以降の補助金額の減少は、平成21年度に「低炭素街路灯導入促進事業」を実施し、電球をLED球に交換したことに伴う省エネ効果によるもの。

カ 空き店舗対策チャレンジショップ事業費補助金

久慈商工会議所と連携し、新規開業者等への支援（空き店舗賃借料の2/3助成）を2件実施した。

事業費 487千円



※令和3年3月31日現在、助成を行った55店舗のうち28店舗が営業を継続中。

キ 空き店舗出店費補助金

商店街の活性化を図るため、空き店舗で出店する場合に要する改装工事費用に対し、1件当たり50万円（未経験者へは25万円）を上限（補助率1/2）に助成し、令和2年度は3件実施した。

事業費 699千円

ク ベっぴん夜市事業費補助金

中心市街地の賑わいの創出、各個店の魅力の発信及び新規事業者への試行の場の提供などを目的として商工会議所が実施する「べっぴん夜市」事業に対し、補助金を交付した。

事業費 1,260千円

(ア) 開催日

- ・令和2年7月31日、10月23日
- ・令和2年12月20日、令和3年2月14日（べっぴん昼市として開催）

(イ) 開催場所 中心市街地エリア

(ウ) 来場者数 合計6,400人（4回）

IV-4 商工業の振興	(3) 商工業の振興
-------------	-------------------

ア 商工会議所支援対策

市内の商工業者への指導を充実させるため、久慈商工会議所に対し補助金を交付した。

- ・久慈商工会議所 補助金額 9,711千円

イ 経営基盤の強化

久慈市融資制度の円滑な活用を図るため、次の施策を実施した。

(ア) 中小企業振興資金

a	原資預託金		214,000千円
b	融資状況	36件	257,733千円
c	保証債務残高	262件	930,262千円
d	信用保証料補給金	284件	10,762千円
e	利子補給	705件	12,196千円

(イ) 勤労者生活安定資金

a	原資預託金		4,000千円
b	融資状況	2件	977千円

(ウ) 岩手県東北・沿岸地域中小企業振興特別資金

a	融資状況	0件	0千円
b	保証債務残高	15件	46,011千円
c	信用保証料補給金	5件	80千円
d	利子補給	37件	380千円

ウ 被災事業所への支援【復興関係】

東日本大震災、平成28年台風10号及び令和元年台風19号の被災事業所に対して、災害関係融資資金の利用者に対する信用保証料等の補給を行ったほか、被災資産の復旧に要する経費に対し補助金を交付した。

(ア) 東日本大震災分【岩手県災害復旧資金・岩手県経営安定資金】

a	融資状況	0件	0千円
b	保証債務残高	70件	28,185千円
c	信用保証料補給金	0件	0千円
d	利子補給	142件	1,461千円

(イ) 平成28年台風第10号分【岩手県災害復旧資金・岩手県経営安定資金】

a	融資状況	0件	0千円
b	保証債務残高	123件	498,741千円

c	信用保証料補給金	5件	276千円
d	利子補給	266件	11,064千円

(ウ) 令和元年台風第19号分【岩手県災害復旧資金・岩手県経営安定資金】

a	融資状況	0件	0千円
b	保証債務残高	19件	149,658千円
c	信用保証料補給金	0件	0千円
d	利子補給	40件	2,838千円

(エ) 平成28年台風第10号に伴う災害復旧貸付償還利子補給補助金

a	融資状況	0件	0千円
b	保証債務残高	109件	303,255千円
c	利子補給	112件	3,409千円

(オ) 令和元年台風第19号に伴う災害復旧貸付償還利子補給補助金

a	融資状況	0件	0千円
b	保証債務残高	4件	27,168千円
c	利子補給	4件	135千円

(カ) 令和元年台風第19号に伴う被災資産復旧補助金【地域企業経営継続支援事業補助金】

a	交付状況	37件	108,174千円
---	------	-----	-----------

IV-4 商工業の振興	(4) 雇用機会の創出
-------------	-------------

ア 企業誘致活動の実施

拠点工業団地等への企業誘致を図るため、地域資源の掘り起し、企業訪問、産業人とのネットワークづくりに積極的に取り組んだ。(市外企業訪問回数 7回)

イ 誘致企業等へのフォローアップ活動の実施

誘致企業等による新事業展開、事業高度化や新たな販路開拓による地域経済の拡大、雇用の場の創出を図ることを目的に、市が実施する各種支援制度の利用提案のほか、国・県等が実施する各種補助金等への申請支援や販路開拓に係るマッチング支援を行った。(市内企業訪問回数 184回)

ウ 新卒者雇用支援奨励金交付事業

若年者の雇用の拡大と地元への定着を図るため、3年間定着した新卒者及び6年間定着した新卒者に対して、次のとおり奨励金を交付した。

(ア) 新卒者本人向け奨励金(3年間定着)

a	対象	平成28年3月卒業の新卒者(中学校、高等学校若しくは特別支援学校卒業)で常用雇用者として3年間同一の市内事業所で雇用された新卒者
b	内容	1人につき10万円
c	支給件数	29件

d 支給金額 2,900千円

(イ) 新卒者本人向け奨励金（6年間定着）

a 対 象 平成24年3月卒業の新卒者（中学校、高等学校若しくは特別支援学校卒業）で常用雇用者として6年間同一の市内事業所で雇用された新卒者

b 内 容 1人につき5万円

c 支給件数 16件

d 支給金額 800千円

エ Kターン若者雇用拡大奨励金交付事業

Kターンをする若者の増加を図ることで当市の産業振興及び人口減少対策に資するため、若者を雇用した事業主及びKターンをした若者に対して、次のとおり奨励金を交付した。

(ア) 対 象 Kターンをした40歳未満の若者で市内同一事業所において6カ月間勤務した者及びその事業主

(イ) 内 容 Kターン者本人に対し10万円、事業主に対し対象となるKターン者1人の雇用につき5万円を支給

(ウ) 支給件数 Kターン者9件、事業主6件

(エ) 支給金額 1,200千円

IV-4 商工業の振興

(5) 内発型産業の創出

地域資源を活用した起業や商品開発等に対して、県や大学、関係機関等と連携した支援を行った。

ア 研究機関との連携支援

事業者からの技術相談など、課題解決のために岩手大学をはじめとした研究機関との連携促進を図った。

イ 久慈市創業支援事業計画に基づく支援 ※再掲

平成28年1月に国に認定された「久慈市創業支援事業計画」に基づき、創業希望者に対して関係機関と連携して、事業計画作成から創業に至るまで切れ目のない支援を行った。久慈市が行った個別相談件数は3件であり、うち1件が創業となった。

ウ 久慈・ふるさと創造基金事業 ※再掲

創業希望者等に対し、久慈商工会議所が資金貸付する「久慈・ふるさと創造基金」に係る運営経費への補助金交付を行うとともに、新たな支援企業の掘り起しと制度周知に努めた。令和元年度の新規貸付は、1件、4,500千円であった。

久慈・ふるさと創造基金運営補助金 425千円

■IV-5 観光の振興

IV-5 観光の振興 (1) 総合産業としての観光の推進

新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの事業を中止・縮小としたが、受入態勢の整備、維持管理業務を実施した。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
紹介宣伝事業	観光宣伝広告 観光パンフレット作成ほか	422
観光施設維持管理事業	舟渡海水浴場、北侍浜野営場、自然公園保護管理、観光施設等修繕ほか	13,203
侍浜海水プール指定管理費〔債務負担〕	侍浜海水プール指定管理業務	1,175
観光客受入れおもてなし整備事業	主要観光施設周辺の交通誘導員配置、環境整備	1,327
海女センター指定管理費〔債務負担〕	小袖海女センター指定管理業務	9,562
グリーン復興プロジェクト推進事業費	ジオサイト等の環境整備費ほか	3,012
久慈秋まつり実行委員会負担金	久慈秋まつりの開催に対する支援（中止）	300
久慈みなと・さかなまつり実行委員会負担金	久慈みなと・さかなまつりの開催に対する支援（中止）	0
久慈納涼花火大会実行委員会負担金	久慈納涼花火大会の開催に対する支援（中止）	250
北三陸「あまちゃん」観光推進協議会負担金	「あまちゃん」により増加した観光客の受入態勢整備等に対する支援	4,300
手づくり山車製作費補助金	手づくり山車の製作、保管に対する支援	2,325
北限の海女フェスティバル実行委員会補助金	北限の海女フェスティバルの開催に対する支援（中止）	0
久慈市街なか連携観光誘客推進協議会負担金	街なか観光の魅力向上に対する支援	950
久慈春まつり実行委員会補助金	久慈春まつり開催に対する支援（中止）	0
地下水族科学館指定管理費〔債務負担〕	地下水族科学館の指定管理業務	55,610
平庭高原施設指定管理費〔債務負担〕	平庭高原施設指定管理業務	35,079
小中学校スキー普及事業費補助金	小中学校スキー普及事業に対する支援	2,090
平庭高原まつり実行委員会負担金	平庭高原まつり開催に対する支援	625
平庭高原スキー場まつり実行委員会負担金	平庭高原スキー普及事業に対する支援	1,300

IV-5 観光の振興 (2) お祭り・イベントの充実

新型コロナウイルス感染症対策のため多くのイベントを中止とした。(単位：人)

事業名	参加人員		
	令和2年度	令和元年度	摘要
舟渡海水浴場開き	0	400	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止
侍浜海水プール開き	0	800	
もぐらんびあ夏まつり	0	569	
久慈みなと・さかなまつり	0	11,000	
北限の海女フェスティバル	0	3,500	
納涼花火大会	0	9,000	
久慈秋まつり	0	101,500	
平庭高原つつじまつり	0	2,600	
ガタゴンまつり	0	2,600	
平庭闘牛大会	750	3,100	新型コロナウイルス感染症の影響により、もみじ場所のみ開催
平庭高原スキー場まつり	2,500	3,000	

IV-5 観光の振興 (3) 観光資源・施設の整備と観光ルート化の推進

ア センターハウス平庭山荘

利用実績

区分	令和2年度	令和元年度	増減数	増減率
宿泊者数	1,554人	2,002人	△448人	77.6%
休憩等利用者数	23,547人	29,257人	△5,710人	80.5%

利用料収入

区分	令和2年度	令和元年度	増減数	増減率
宿泊	6,372千円	7,525千円	△1,153千円	84.7%
入浴・休憩	5,940千円	6,012千円	△72千円	98.8%

イ 旅行村コテージ

利用実績

区分	令和2年度	令和元年度	増減数	増減率
宿泊者数	2,419人	4,704人	△2,285人	51.4%
利用料	7,908千円	15,150千円	△7,242千円	52.2%

ウ 平庭高原スキー場

営業日数 令和2年12月29日から令和3年3月14日まで 76日間

利用者数・利用料収入

	入込数 (人)	利用料 (千円)					
		1 回 券	半 日 券	1 日 券	団 体 券	シ-ズン券	計
2 年 度	6,716	328	3,773	1,722	368	3,590	9,782
前年度	6,754	325	3,324	1,839	548	3,920	9,956
増減比	99.4%	100.9%	113.5%	93.6%	67.1%	91.6%	98.3%

IV-5 観光の振興	(4) 情報発信の強化
------------	-------------

イベント情報、観光施設など観光情報の情報発信を行った。

区 分	令和2年度	令和元年度
件 数 (件)	5件	9件
事業費(千円)	1,406千円	960千円

その他の事業の成果

■その他-1 東日本大震災関係

その他-1 東日本大震災関係 (1) 東日本大震災復旧復興本部の対応

平成23年3月31日に設置した復旧復興本部において、令和2年度末までに通算224回の会議を開催し、早期の復旧・復興に向け取り組んだ。

その他-1 東日本大震災関係 (2) 復興交付金

東日本大震災により著しい被害を受けた地域のまちづくり事業に資するため、復興計画に基づく各種事業を復興庁に申請し、平成23年度以降17次配分まで、12回にわたり交付金の配分を受け、復興事業を推進した。

ア 配分事業数：延べ125事業（市分117事業、県分8事業）

イ 配分額：延べで以下の金額が配分された。

（ア）事業費ベース7,416,236千円（市分6,355,385千円、県分1,060,851千円）

（イ）交付金ベース5,575,550千円（市分4,750,508千円、県分825,042千円）

その他-1 東日本大震災関係 (3) 被災者総合相談所の設置

東日本大震災によって被災した方々の総合的な相談窓口を平成23年4月に設置し、被災者支援や制度の説明、その他被災によって生じた日常生活における問題等の相談対応に取り組むことで、被災者の生活再建の支援を行った。平成24年4月以降は福祉事務所において相談窓口業務を行っている。

その他-1 東日本大震災関係 (4) 東日本大震災久慈市地震災害義援金

東日本大震災の被災者支援のため義援金の受入れを行い、被災者に交付した。

		令和元年度末累計	令和2年度中	令和2年度末累計
受入状況	件数	1,313件	5件	1,318件
	金額	102,075千円	262千円	102,337千円
交付状況	件数	5,000件	274件	5,274件
	金額	99,177千円	1,370千円	100,547千円

その他-1 東日本大震災関係 (5) 災害弔慰金

東日本大震災により死亡された方のご遺族等に対して、災害弔慰金等を支給した。

			平成元年度末累計	令和2年度中	令和2年度末累計
災害弔慰金	死亡	件数	4件	0件	4件
		金額	17,500千円	0千円	17,500千円
	行方不明	件数	2件	0件	2件
		金額	10,000千円	0千円	10,000千円
	災害関連死	件数	1件	0件	1件
		金額	2,500千円	0千円	2,500千円
災害障害見舞金	件数	1件	0件	1件	
	金額	1,250千円	0千円	1,250千円	
合計	件数	8件	0件	8件	
	金額	31,250千円	0千円	31,250千円	

※ 災害弔慰金の額：生計維持者 5,000千円、それ以外の者 2,500千円

災害障害見舞金の額：生計維持者 2,500千円、それ以外の者 1,250千円

その他-1 東日本大震災関係 (6) 災害援護資金貸付金

東日本大震災により被害を受けた世帯に対して、災害援護資金の貸し付けを行い、生活再建の支援を行った。

ア 事業の内容

貸付を受けられる期間	令和4年3月31日まで
償還期間	13年（据置期間：6年、特別な事情がある場合・・・8年）
利率	保証人を立てる場合・・・無利子 保証人を立てない場合・・・1.5%（据置期間は無利子）
償還方法	年賦償還、半年賦償還又は月賦償還・元利均等償還
償還免除の事由の特例追加	支払期日到来から10年経過後において、なお無資力又はこれに近い状態にあり、かつ、償還金を支払うことができる見込みが無い場合
市町村に対する貸付金の償還期間	14年

イ 貸付限度額

対象となる要件	貸付限度額	
	世帯主の負傷 無	世帯主の負傷 有
損害なし	—	1,500千円
家財の1/3以上の損害	1,500千円	2,500千円
住居の半壊	1,700千円（2,500千円）	2,700千円（3,500千円）
住居の全壊	2,500千円（3,500千円）	3,500千円
住居の全体が滅失、流失等	3,500千円	

※ ()内の額は、被災した住宅を建て直す際に残存部分を取り壊さざるを得ない場合(解体撤去)など、特別の事情がある場合の額。

ウ 貸付の状況

年度	貸付人数	貸付金額
H23	16人	25,800千円
H24	7人	12,550千円
H25	3人	7,800千円
H26	6人	11,260千円
H27以降	0人	0千円
計	32人	57,410千円

エ 利子補給補助金

被災者支援のため、災害援護資金の貸付金償還金のうち、支払った利子を補助した。

補助件数	12件
補助金額	88,222円

その他-1 東日本大震災関係 (7) 被災者住宅再建支援

ア 被災者住宅再建支援事業費補助金

東日本大震災により、自宅を失った被災者が早期の生活再建を図ることを目的として、市内に住宅を建設する費用等に対して補助金を交付した。

平成24年度の事業開始以降、82世帯の住宅再建を支援した。

令和2年度実績	世帯区分	件数	補助金額	備考
市内で被災	複数世帯	0件	0千円	補助限度額 複数世帯：1,000千円(うち、県補助金 666千円) 単数世帯：750千円(うち、県補助金 500千円)
	単数世帯	0件	0千円	
	計	0件	0千円	
市外で被災 (久慈市に転入)	複数世帯	0件	0千円	
	単数世帯	1件	750千円	
	計	1件	750千円	
合計		1件	750千円	

イ 住宅再建支援策の拡充

東日本大震災津波復興基金市町村交付金(住宅再建分)を活用した市独自の支援策を構築し、早期の住宅再建に取り組んだ。(単位：件、千円)

支援策	内容	件数	補助金額
新築・購入補助	限度額 200 万円	1	1,650
土地購入補助	限度額 100 万円	1	1,000
引越費用補助	限度額 10 万円×2 回	0	0
家賃補助 (民間賃貸住宅)	限度額 3 万円/月×5 年間	6	720
家賃補助 (災害公営住宅)	限度額 2 万円/月×5 年間	2	48
災害公営住宅購入費補助	限度額 600 万円	0	0
計		10	3,418

■その他-2 平成28年台風第10号関係

その他-2 平成28年台風第10号関係 (1) 平成28年台風第10号復旧・復興推進本部の対応

平成28年9月23日に設置した復旧・復興推進本部において、令和2年度末までに通算18回の会議を開催し、早期の復旧・復興に向け取り組んだ。また、第18回の開催時に復旧・復興推進本部を解散した。

その他-2 平成28年台風第10号関係 (2) 平成28年台風第10号豪雨災害復旧・復興期成同盟会の結成

平成28年9月28日に、被災した2市1町（宮古市・久慈市・岩泉町）により、復興期成同盟会を結成し、国・県・政党への要望活動を実施した。

・会長 山本正徳 宮古市長（事務局：宮古市）

その他-2 平成28年台風第10号関係 (3) 平成28年久慈市台風災害義援金

平成28年台風第10号災害の被災者支援のため義援金の受付を行い、被災者に交付した。なお、平成30年度で義援金受付及び交付を終了している。

		平成30年度末累計
受付状況	件数	781件
	金額	55,649千円
交付状況	件数	1,165件
	金額	55,649千円

その他-2 平成28年台風第10号関係 (4) 災害援護資金貸付金

平成28年台風10号災害により被害を受けた世帯に対して、災害援護資金の貸し付けを行い、生活再建の支援を行った。

ア 事業の内容

貸付を受けられる期間	平成28年11月30日まで
償還期間	10年（据置期間：3年、特別な事情がある場合・・・5年）
利率	年3%（据え置き期間は無利子）
償還方法	年賦償還又は半年賦償還・元利均等償還（繰上げ償還可）
連帯保証人	原則として市内に居住し、弁済の資力を有する方 ※借受人と生計を同じくする方（家族等）は連帯保証人になれない

イ 貸付限度額

対象となる要件	貸付限度額	
	世帯主の負傷 無	世帯主の負傷 有
損害なし	—	1,500千円
家財の1/3以上の損害	1,500千円	2,500千円
住居の半壊	1,700千円 (2,500千円)	2,700千円 (3,500千円)
住居の全壊	2,500千円 (3,500千円)	3,500千円
住居の全体が滅失、流失等	3,500千円	

※ ()内の額は、被災した住宅を建て直す際に残存部分を取り壊さざるを得ない場合(解体撤去)など、特別の事情がある場合の額。

ウ 貸付の状況

貸付人数	5人
貸付金額	6,700千円

その他-2 平成28年台風第10号関係	(5) 被災者住宅再建支援
---------------------	---------------

ア 被災者生活再建支援金(県補助)

国の被災者生活再建支援金制度に適用とならない被害程度、半壊以下の被災を受けた世帯に対し、早期の生活再建を支援するため支援金を支給した。なお、平成29年度で事業終了している。

区分	世帯数累計	支給額累計
複数世帯(300千円)	427	128,100千円
単数世帯(250千円)	241	60,250千円
計	668	188,350千円

イ 被災者住宅再建支援

被災者住宅再建支援事業補助金及び引っ越し経費補助金

台風第10号災害により、自宅を失った被災者が早期の生活再建を図ることを目的として、市内に住宅を建設する費用等に対して補助金を交付した。

平成28年度の事業開始以降、38世帯の住宅再建を支援した。なお、令和元年度で事業終了している。

令和元年度末累計	世帯区分	件数	補助金額	備考
市内で被災	複数世帯	30件	60,000千円	補助限度額 複数世帯：2,000千円 単数世帯：1,500千円
	単数世帯	7件	10,500千円	
	計	37件	70,500千円	
市外で被災 (久慈市に転入)	複数世帯	0件	0千円	
	単数世帯	1件	1,500千円	
	計	1件	1,500千円	
県産材使用補助		18件	13,637千円	補助限度額：1,000千円
土地購入補助		6件	3,000千円	補助限度額：500千円
引越費用補助		8件	399千円	補助限度額：50千円(1回)
合計		70件	89,036千円	

その他-2 平成28年台風第10号関係	(6) 道路・林道・河川の被災箇所数及び復旧の進捗状況
---------------------	-----------------------------

被災箇所の復旧のため、発注及び工事を実施した。

区分		箇所数	発注件数	完了数	事業費(千円)
道路・橋梁	補助	150	150	150	128,568
河川	補助	82	82	82	30,022

■その他-3 令和元年台風第19号関係

その他-3 令和元年台風第19号関係 (1) 令和元年台風第19号復旧・復興推進本部の対応

令和元年10月28日に設置した復旧・復興推進本部において、令和2年度末までに通算16回の会議を開催し、早期の復旧・復興に向け取り組んだ。

その他-3 令和元年台風第19号関係 (2) 令和元年久慈市台風災害義援金

令和元年台風第19号災害の被災者支援のため義援金の受入れを行い、被災者に交付した。なお、令和2年度で義援金受付及び交付を終了している。

		令和元年度末累計	令和2年度中	令和2年度末累計
受入状況	件数	74件	4件	78件
	金額	2,977千円	66千円	3,043千円
交付状況	件数	0件	341件	341件
	金額	0千円	3,043千円	3,043千円

その他-3 令和元年台風第19号関係 (3) 被災者生活・住宅再建支援

ア 被災者生活再建支援金（県補助）

国の被災者生活再建支援金制度に適用とされない被害程度、半壊以下の被災を受けた世帯に対し、早期の生活再建を支援するため支援金を支給した。なお、令和2年度で事業終了している。

区分	世帯数累計	支給額累計
複数世帯（300千円）	78	23,400千円
単数世帯（250千円）	82	20,500千円
計	160	43,900千円

イ 被災者住宅再建支援

被災者住宅再建支援事業補助金及び引っ越し経費補助金

台風第19号災害により、自宅を失った被災者が早期の生活再建を図ることを目的として、市内に住宅を建設する費用等に対して補助金を交付した。

令和元年度の事業開始以来、6世帯の住宅再建を支援した。

令和2年度実績	世帯区分	件数	補助金額	備考
市内で被災	複数世帯	1件	2,000千円	補助限度額 複数世帯：2,000千円 単数世帯：1,500千円
	単数世帯	1件	1,500千円	
	計	2件	3,500千円	
市外で被災 (久慈市に転入)	複数世帯	0件	0千円	
	単数世帯	0件	0千円	
	計	0件	0千円	
県産材使用補助		1件	534千円	補助限度額：1,000千円
土地購入補助		1件	500千円	補助限度額：500千円

引越費用補助		0件	0千円	補助限度額：50千円(1回)
合計		4件	4,534千円	

ウ 災害救助法による応急仮設住宅供与

災害救助法に基づく応急仮設住宅として、民間賃貸住宅を県が借り上げる。

・入居対象者

住宅が全壊、全焼又は流出等の被害を受け避難している世帯

・供与期間

2年間

供与世帯数	申込日	入居日	供与期限
1世帯 1人	令和元年12月23日	令和2年1月1日	令和3年12月31日

その他-3 令和元年台風第19号関係 (4) 公共施設等の被災箇所数及び復旧の進捗状況

被災箇所の復旧のため、発注及び工事を実施した。

区分		箇所数	発注件数	完了数	事業費(千円)
道路・橋梁	補助	36	36	22	153,804
	単独	116	116	105	153,325
河川	補助	19	19	10	142,344
	単独	70	70	65	85,084
林道	補助	18	18	18	77,421
	単独	83	83	83	22,911
農業用施設	補助	14	14	14	42,536
	単独	19	19	19	5,587
農地	補助	7	7	6	7,744
	単独	10	10	10	2,615
漁港施設	補助	1	1	1	9,288
	単独	9	9	9	6,304
情報通信ケーブル	単独	1	1	1	492

その他-3 令和元年台風第19号関係 (5) 災害廃棄物処理事業の進捗状況

浸水した家屋等から大量の災害廃棄物が発生したことから、被災者の災害からの早期復旧、復興を図るため、市において災害廃棄物の収集を実施するとともに、収集した災害廃棄物の分別及び処理を行った。

令和2年度支出額 30,023千円

災害廃棄物発生量	処理量 (R3.3月末現在)	進捗率
937.35 t	937.35 t	100%

■その他-4 新型コロナウイルス感染症関係

その他-4 新型コロナウイルス感染症関係	(1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業
----------------------	---------------------------------

新型コロナウイルス感染症の拡大防止策及びポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環についての対応として、国から交付された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（交付決定額：1,011,843千円）を活用し次の事業を実施した。

※交付決定額のうち、令和2年度実績額は755,346千円

(単位：千円)

事業名	内容	総事業費	臨時交付金 充当額
新型コロナウイルス対策事業費	小中学校、学童保育施設、保育園等に配布するマスク・消毒液の購入等の感染症拡大防止対策経費	57,296	44,023
公共施設等感染症防止対策事業費	避難所となっている公共施設の飛沫拡大防止等対策として施設改修を実施	125,144	125,143
申告相談受付システム導入経費	確定申告受付事務に係る新型コロナウイルス対策経費	78	77
公共交通基盤安定化支援給付金	公共交通事業者に対して所有登録車両を基礎として給付金を給付	8,050	8,050
公共交通応援事業費補助金	貸切バス事業者に対して利用運賃に応じて補助	11,387	11,387
三陸鉄道運行支援事業負担金	三陸鉄道株式会社の安全・安定した運行水準維持を目的に、沿線市町村で支援金を交付	10,647	10,647
地域公共交通事業費	公共交通（バス）のICカードを活用したキャッシュレス化導入に伴う経費負担金	4,230	4,230
障害者自立支援事業費（医療的ケア児等非常用発電機整備事業）	入所が難しくなっている医療的ケア児・者がいる世帯に対して非常用発電機を貸し出し	2,459	105
障害者自立支援事業費（地域生活支援事業所等への感染予防対策支援事業）	地域生活支援事業者へマスク等を配布	199	49
生活保護法施行事務費	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い増加が見込まれる生活保護業務の対策のため、面接相談体制強化経費（会計年度任用職員経費）	1,131	280
放課後児童健全育成事業費（新型コロナウイルスに係る臨時開所等支援）	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、放課後児童クラブの利用自粛要請に伴う経費	2,764	921
新型コロナウイルス感染症対策放課後児童クラブ環境整備補助金	新型コロナウイルス感染症予防対策として、小久慈学童トイレ改修経費（密回避、洋式化、個室化）に対して補助	3,487	3,487

主要な施策の具体的措置状況及び成果

出産・育児支援給付金	子育て世帯の負担を軽減するため給付金（100千円）を給付	16,280	14,180
新型コロナウイルス対策環境整備事業費	オンラインでの保健指導等の母子保健事業を実施するための「元気の泉内」の環境整備経費	39	19
妊産婦総合対策事業費	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、里帰りが困難な妊産婦に育児等支援サービスを提供	760	380
インフルエンザ拡大防止対策事業費	65歳以上のインフルエンザ予防接種自己負担分を無償化	32,717	32,716
新型コロナウイルス感染症対策啓発事業	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、手洗いの重要性を周知と、習慣化を目指して、保育園児・小学生向けに手洗いの啓発事業を実施	999	999
地産地消ふれあい給食事業費	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている農林畜産物農家を支援するため、学校給食において地域産食材を取り扱う	2,104	2,098
農業経済活性化支援事業費補助金	農業者を支援するため、販売に要する経費の一部を補助	17,737	17,736
米生産・出荷販売緊急支援事業費補助金	新型コロナウイルス感染症の影響により、販売価格が減少している米農家を支援するため米出荷時の検査手数料等を補助	1,679	1,679
黒毛和牛飼養農家事業継続支援補助金	日本黒毛和牛飼養農家の事業継続を支援するため、下落価格や出荷経費の一部を補助	4,553	4,552
肉用牛飼養農家経営支援臨時給付金	新型コロナウイルスの影響により、減収となっている畜産農家の事業継続を支援するため給付金を給付	7,400	7,400
山形村短角牛販路拡大補助金	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている山形村短角牛などの販売促進を目的に、総合農舎の通販サイトの開発費用に対して補助	1,900	1,900
林業経済活性化支援事業費補助金	林業関係者等を支援するため、木材及び乾しいたけの販売に要する経費の一部を補助	5,109	5,108
漁業経済活性化支援事業費補助金	漁業者を支援するため、販売に要する経費の一部を補助	22,000	22,000
漁業生産組織緊急支援臨時給付金	漁業生産組織を支援するため給付金を給付	3,000	3,000
漁業者緊急支援臨時給付金	新型コロナウイルスの影響により、減収となった漁家の事業継続を支援するため給付金を給付	10,400	10,400
新型コロナウイルス感染症対策資金保証料等補助金	岩手県の融資制度により資金を借入した際の利子及び保証料に対する補助金	5,987	5,986
新型コロナウイルス感染症特別貸付補助金	日本政策金融公庫の融資制度により資金を借入した際の利子に対する補助金	78	63
地域企業経営継続支援補助金	事業者の事業継続を下支えするため、減収又は減収見込みの事業者に対して家賃を補助	14,787	7,485

主要な施策の具体的措置状況及び成果

中小企業者店舗賃料支援給付金	減収した事業者を支援するため、県事業の補助要件を拡充して家賃を給付	6,325	5,100
中小企業者等店舗等賃料補助金	新型コロナウイルス感染症の影響により、減収した事業者を支援（県事業の補助要件を拡充）	6,934	6,934
中小企業者緊急支援臨時給付金	売上が15%以上減収した事業者の事業継続を支援するため、給付金を給付 ※外数 繰越明許：36,300千円（歳入：19,100千円）	151,300	87,416
久慈市プレミアム付飲食券等発行事業費	地域経済の循環を図るため、プレミアム付飲食券及びプレミアム付交通券を発行	64,000	64,000
久慈地方物産展・地産地消費フェア事業費補助金	特産品の消費拡大を図るため、販売イベントを開催する経費	4,779	4,779
新型コロナウイルス感染症対策中小企業者利子等補給事業基金積立金	中小企業者に対する利子補給等に活用する基金積立金	20,000	20,000
体験型観光利用促進事業費	教育旅行や一般団体・個人に対して提供する体験アクティビティの体験料金の一部を補助	582	581
観光物産展出展費補助金	市内物産、特産品販売事業者を支援するため、物産展等への出展費・PR費用を補助	5,234	5,233
観光宿泊施設緊急対策補助金	宿泊事業者を支援するため、岩手県と連携し、市内旅館業法に規定する許可を受けた者が、市民の宿泊料を割引いた場合、割引額以内の額で上限4,000円を補助	4,674	2,336
新型コロナウイルス感染症対策等整備補助金	市内宿泊事業者が実施する感染症防止改修経費に対する補助	1,971	1,971
平庭闘牛文化伝承保護補助金	新型コロナウイルス感染症拡大によりイベントが中止となり影響を受けている闘牛オーナーを支援するため、闘牛大会における感染症予防対策費等に対して補助	1,000	1,000
新型コロナウイルス感染症対策指定管理施設支援金	利用料金制度を導入している指定管理者（減収・感染症予防対策経費）に対する支援金	41,000	41,000
新型コロナウイルス感染症緊急経済対策住宅リフォーム補助金	住宅リフォームを行う場合、工事に要した経費に対して予算の範囲内で補助金を交付	44,975	44,974
災害対策事業費	避難所における新型コロナウイルス感染症予防対策経費	8,112	8,110
新型コロナウイルス感染症対策久慈広域連合消防負担金	久慈消防本部が配備する資機材の購入経費に対して負担金を交付	7,806	7,806
情報処理教育振興事業費 〔小・中学校〕	GIGAスクール構想実現に向けた端末・ネットワーク整備経費	149,935	82,559

主要な施策の具体的措置状況及び成果

修学旅行キャンセル料補助金	新型コロナウイルス感染症の影響を受け修学旅行が中止等になった場合、保護者の負担を軽減するため、キャンセル料を補助	500	500
文化会館感染症防止対策事業費	久慈市文化会館の新型コロナウイルス感染症防止対策を推進するため、設備改修等を実施	21,419	17,502
外国語指導助手補充事業費	確保が難しくなっているALTについて、雇用期間（ALT）が切れた人材を活用し学習活動を維持	1,895	1,894
学校給食費返還等事業費	臨時休校に伴いキャンセルとなった給食材料に係る補償金	676	169
教師用教科書指導書購入経費	デジタル教科書購入経費	5,383	5,382
合計		922,901	755,346

その他-4 新型コロナウイルス感染症関係	（２）地域外来・検査センターの設置
----------------------	--------------------------

ア 内容

（ア）目的

久慈医療圏における新型コロナウイルス感染症のまん延に備え、検査体制の充実を図るため、感染の疑いがあり、かかりつけ医等が検査の必要があると判断した人のPCR検査等を実施するために設置するもの。（事業費 8,795千円）

（イ）概要

対象者	久慈医療圏域内4市町村に在住する中学生以上の者
設置主体	久慈市
設置日	令和2年7月30日
設置場所	非公表
開設日時	週1回 毎週木曜日 午後2時から ※1日4～5人の完全予約制 ※予約がない場合は開設しない
業務内容	問診、PCR検査
人員体制	医師1名、看護師1名（久慈医師会） 事務員3名（久慈市職員）

イ 実績

岩手県の方針により、地域単位での件数の公表は行っていない。

その他-4 新型コロナウイルス感染症関係	（３）新型コロナウイルスワクチン接種対策の実施
----------------------	--------------------------------

令和3年度からの住民への接種について、令和3年2月1日に「ワクチン接種対策室」を設置し、円滑な接種を進めるための接種体制の構築を行った。

ア ワクチン接種体制の検討との調整

久慈医師会等と久慈市の医療体制について確認し、接種方法や接種体制などについて調

整を行い14医療機関による個別接種を中心に行うことや、補完的に市民体育館での集団接種を行うことを決定した。

イ 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

国の補助事業である新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業を活用し、接種に必要な体制を整えた。

事業費：5,208千円

その他-4 新型コロナウイルス感染症関係	(4) 給付金給付事業
----------------------	-------------

ア 特別定額給付金給付事業

新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている住民生活を支援するため、住民一人当たり10万円の給付金を給付した。

対象世帯数	対象者数 ※申請前に亡くなった者を除く	交付決定世帯数 (割合) ※ 辞退者 [8 世帯] 含む	交付決定者数 (割合) ※ 辞退者 [16 人] 含む	支払額
15,742 世帯	34,384 人	15,701 世帯 (99.7%) [未申請：41 世帯]	34,341 人 (99.9%) [未申請：43 人]	3,432,500 千円

イ 子育て世帯臨時特別給付金給付事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取り組みとして、児童手当（本則給付）を受給する世帯（0歳～中学生のいる世帯）に対し、その対象児童1人当たり1万円を上乗せする臨時特別給付金（一時金）を給付した。

一般支給対象者	公務員支給対象者 申請件数	決定件数	決定額
1,949件	369件	2,318件	40,260千円

ウ ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親の子育て世帯の生活を支援する取り組みとして、児童扶養手当を受給する世帯（0歳～18歳未満のいる世帯）に対し、1世帯当たり5万円、第2子以降1人につき3万円を給付した。

	申請件数	決定金額
基本給付	360件	23,730千円
追加給付	120件	5,950千円
再支給分	359件	23,680千円

その他-4 新型コロナウイルス感染症関係	(5) 保育所等における感染症対策事業
----------------------	---------------------

ア 新型コロナウイルス感染症対策保育環境改善等事業

新型コロナウイルス感染症対策として保育環境改善等事業を実施するために必要な経

費を補助した。

対象施設	施設数	事業費（補助額）		
		直接補助事業分	間接補助事業分	合計
公立保育所	2	987千円	0千円	987千円
私立保育所	13	1,507千円	4,513千円	6,020千円
認定こども園	5	989千円	1,507千円	2,496千円
認可外保育施設	1	312千円	0千円	312千円
合計	21	3,795千円	6,020千円	9,815千円

イ 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業

新型コロナウイルス感染症への対応として、緊急に必要なとなる感染拡大防止や児童福祉施設等の職員の支援等に係る経費を補助した。

・ 保育所等感染症対策継続支援事業費補助金

対象施設	施設数	事業費（補助額）
公立保育所	2	918千円
私立保育所	12	5,873千円
認定こども園	4	1,981千円
認可外保育施設	2	611千円
合計	20	9,383千円

・ 放課後児童クラブ等感染症対策継続支援事業費補助金

対象事業	施設数	事業費（補助額）
放課後児童健全育成事業	12	5,244千円
地域子育て支援拠点事業	2	991千円
合計	14	6,235千円

ウ 保育所等における新型コロナウイルス感染拡大防止事業

子ども・子育て支援交付金実施要綱に基づく以下の事業における新型コロナウイルス感染拡大防止を図るために必要な経費を補助した。

対象事業区分	施設数	事業費（補助額）
利用者支援事業	1	372千円
乳児全戸訪問事業	1	220千円
地域子育て支援拠点事業	2	956千円
延長保育事業	18	6,643千円
放課後児童健全育成事業	12	3,273千円
一時預かり事業	15	7,040千円
病児保育事業	2	968千円
合計	55	19,472千円

■その他-5 まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

地方版総合戦略を推進する地方創生推進交付金事業を次のとおり実施した。

ア ロケツーリズムを活かした商工観光振興事業

ロケ受入によって、効果的に久慈市の魅力を全国にPRするとともに、地場産品等へのふるさと納税者を増加させることで、産業振興につなげる。更に、教育旅行やヘルスツーリズム等の体験型観光を推進することで、観光客の滞在性を高め、交流人口の拡大を図る。これらの取組により、観光を基軸として地場産業の拡大、雇用の維持、移住促進を進めることで持続的な地域振興を目指す。

令和2年度事業実績

単位：千円

事業内容	事業費(A)	交付対象額(A)×1/2
(1) 「あまちゃん」を活用した誘客事業		
①ロケツーリズム推進事業		
◆ロケツーリズム推進協議会参加に係る費用（委託料） 観光庁が主催する協議会に参加し、先進的な取り組み等を研修した他、映像制作者との商談会、情報交換を行った。 (7/16、9/24、11/12、1/20、2/18)※11/12 以外はオンライン参加	275	137
◆ロケ専門誌全国ロケ地マップ形成による情報発信（委託料） 全国各地のロケ地を紹介するパンフレットへ「あまちゃん」のロケ地として掲載し、15,000部を全国の自治体や駅、公共施設などで配布した。	220	110
◆全国ふるさと甲子園参加にかかる費用（委託料） ふるさと甲子園が中止となり、代替としてロケ専門誌にご当地グルメを掲載した。	55	27
◆新たに誘致した映画の久慈市版ロケ地マップ作製（委託料） 劇場映画『星屑の町』の久慈市版ロケ地マップを作成。全国の上映館、観光施設等120カ所に10,000部を配布。	2,520	1,260
◆ロケ地プロモーション（セット展示、PRイベント）（委託料） 『星屑の町』のセットや衣装の展示、映画の世界観を感じられる「星屑の町思い出館」を山根市民センター内に開設。その他、ロケ地看板を3カ所に設置した。	473	237
◆観光ガイドブック作成（印刷製本費） 久慈市観光ガイドブックをリニューアル 10,000部 北限の海女、北侍浜野営場リーフレットの増刷 各5,000部	2,026	1,013
◆CMや観光情報誌を活用したPR（広告料） ・岩手日報(岩手マリンキッズプロジェクト)253,000円 ・映画館でのCM上映 297,000円 ・誘致映画に関する当市PR動画作成 770,000円 ・市内イベント、体験メニュー等広告掲載 85,200円	1,405	703
◆ロケ地を活用した誘客イベント等開催（負担金） あまちゃんのロケ地をPRするため、イラストを使ったマップを作成し観光客やイベント参加時(ゆるキャラ)などに配布。また、あまちゃんのシーンをモチーフとしたイラストのしおりを作成し、駅前観光交流センターにおいて配布した。 ゆるキャラグランプリに参加し、ロケ地グッズや当市の観光ガイドマップ等を配布し、感染症収束後に向けたPRを行った。 八戸市、二戸市と連携し3市をめぐるツアーを実施、市内観光施設見学とあまちゃんガイドによる市街地周遊等を実施した。	1,730	865

主要な施策の具体的措置状況及び成果

◆ファン交流イベント（負担金） あまちゃん出演者で、創作あーちすととしても活躍しているのんさんに絵画の制作を依頼、駅前観光交流センターに展示。お披露目に合わせたイベントを企画したが、情勢により、来場者をメディアに限定、のんさん来久に代えビデオメッセージを紹介した。また、公開に併せ絵画紹介カードを作成し、駅前観光交流センター来場者やファンクラブ等へ配布した。	830	415
◆ロケセット等展示施設運営（負担金） 久慈市観光物産協会に委託し「あまちゃん」のロケで使用されたセットや衣装を展示する施設を運営、7月からはあまちゃんハウスから駅前観光交流センターに移転し観光客の拠点を整備し誘客を図った。	1,740	870
◆あまちゃんマラソン大会開催費（負担金）※開催中止 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止した。 【開催日：令和2年9月27日】 【参加者：0人】	0	0
②外国人観光客誘客事業		
◆トップセールス台湾プロモーション 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、事業を中止した。	0	0
(2) 体験型観光推進事業		
①自然体験推進事業		
◆教育旅行等受入推進事業（旅行代理店・学校等への誘致活動費） 教育旅行受入のため、以下のとおり事業を実施した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、県外からの教育旅行受入が困難であったことから、県内小中学校等の誘致に努めた。 …体験受入業務、誘致用資料作製（パンフレット1,000部）、 広告掲載、市内学校受入増に向けた委託業務実施 R2年度受入実績：44件	10,860	5,430
◆体験観光受入体制構築（ふるさと体験学習協会） 都市住民との交流人口拡大、地域特性を生かした体験型観光推進及びヘルスツーリズム健康増進事業実施により更なる交流人口拡大等を目的として、（一社）久慈市ふるさと体験学習協会の運営に係る補助を実施。		
②自然体験メニュー拡充推進事業		
◆三陸ジオパーク推進協事業 三陸ジオパーク推進協議会負担金	500	250
③体験型観光推進事業		
◆民泊整備事業 農林漁家民泊整備推進事業費補助金 1件	500	250
	23,134	11,567

◎重要業績評価指標

重要業績評価指標 (KPI)	R1 目標値	R2 目標値	R3 目標値
	実績値	実績値	実績値
主要観光施設来客数（道の駅くじやませ土風館） 【H30年度：60万人】	64万人	68万人	72万人
	75万人	60万人	
外国人観光客数（三陸鉄道久慈駅及び海女センターにおけるシール調査） 【H30年度：700人】	725人	750人	775人
	813人	44人	
自然体験等受入団体（教育旅行団体＋一般旅行団体） 【H30年度：49団体】	53団体	58団体	63団体
	61団体	44団体	
ふるさと納税件数 【H30年度：9,000件】	9,300件	9,600件	9,900件
	29,980件	18,700件	

イ 雇用と移住定住によるトータル人材獲得事業

久慈市の社会減は10代後半～20代前半の市外への就学や就職が大きな割合を占めている。キャリア教育を推進し、地域で活躍する人材の確保・育成を目指す。また、中小企業では人材獲得のノウハウが不足しているとの声があることから、人材の確保、定着、育成に向けた支援を行う。

移住定住については、地元へ戻るきっかけづくりや受入環境の充実を図る。

令和2年度事業実績

単位：千円

事業内容	事業費(A)	交付対象額(A)×1/2
(1) 新卒者定着支援フォローアップ事業		
◆人材確保及び定着に係る事業（委託料） 就職後の離職防止やKターン就職者の雇用の受け皿の拡大、事業者の情報発信力強化を図るため、次の事業を実施した。 ・人材定着支援事業 採用3か月研修会、採用6か月研修会 ・人材確保事業 情報共有会（6回）、就職ガイダンス（2回）、大学等訪問ツアー ・人材育成支援事業 育成計画作成研修会	1,757	878
(2) 若者の雇用定着推進事業（委託料・消耗品費）		
高卒新卒者の地元就職推進を図るとともに、地元を離れて高等教育機関に進学する若者が、地元就職する糸口となる意識付けを図り、地元企業の魅力や地元での暮らし方のPRを目的に、中学校におけるキャリア教育の推進に資する事業を次のとおり実施した。 4月 キャリア教育ステッカー作成・配布 事業所向け出前事業・社会体験ハンドブックの作成・配布 7月7日 学校向け社会体験事前事後学習マニュアル等の作成・配布 11月10日～19日 キャリアオーケストラミニ（オンライン） 12月15日 キャリア教育推進連携シンポジウム ※社会体験Week、キャリア教育研修会等についてはコロナ禍により中止	3,911	1,956
(3) 関係人口の拡大と都市圏の移住定住促進		
◆オンライン移住・定住イベント開催費（委託料） 海の魅力（もぐらんぴあ）、山の魅力（内間木洞）、まちの魅力（久慈秋まつりお囃子・恐竜の化石）を発信し、参加者と双方向での交流が図られた。また、関係人口の拡大、移住希望者1名の獲得につながった。 【開催日：令和3年2月27日】	583	292
	6,251	3,126

◎重要業績評価指標

重要業績評価指標（KPI）	R1 目標値 実績値	R2 目標値 実績値	R3 目標値 実績値
久慈管内新規高卒者の管内就職率 【H30年度：46%】	47.0%	48.0%	49.0%
行政関与移住者（移住相談会、空き家バンク、住宅補助制度等の制度活用による移住者） 【H30年度：30人】	25人	25人	25人
高等教育インターンシップ受入企業数 【H30年度：9社】 ※累計	16人	16人	
高等教育インターンシップ受入企業数 【H30年度：9社】 ※累計	10社	11社	12社
北三陸久慈市ふるさと大使及び移住LINE@新規登録者 【H30年度：120人】	13社	15社	
北三陸久慈市ふるさと大使及び移住LINE@新規登録者 【H30年度：120人】	60人	60人	60人
	81人	71人	

ウ まちなか賑わい再生事業

やませ土風館及び情報交流センターを中心市街地の集客拠点とし、市内外から人を集め、併せてその導線上にある地元商店街の魅力向上を図ることにより、中心市街地全体の回遊性を高めながら、滞在時間の延長と消費を促すことができる仕組みを構築することで、中心市街地の活性化の再生を目指す。

令和2年度事業実績

単位：千円

事業内容	事業費(A)	交付対象額(A)×1/2
(1) 商店街の基盤づくりに対する支援		
①魅力向上への支援		
◆中心市街地エリア魅力向上モデル事業（補助金） 市街地エリアの活性化を図るため、商店街に顔出しパネル（2枚）、イラスト付きベンチ（10台）を設置した	500	250
(2) 市街地イベント		
①街なか回遊性向上事業		
◆べっぴん夜市事業費補助金（補助金） 市街地に賑わいを創出し、個店の認知度アップを図るため「べっぴん夜市」（7/31、10/23）及び「べっぴん昼市」（12/20、2/14）を開催した。	1,260	630
②賑わいづくりチャレンジャー事業		
中心市街地エリアを主会場とし、団体またはグループが実施する新規イベントに支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり実施団体はなかった。	0	0
③街なか拠点施設魅力向上事業		
◆観光交流センター魅力向上事業（委託料） 観光・特産品の情報発信、歴史・文化等の伝承活動、市内外の交流の実現のためのイベントを実施した。（カルチャー講座、山車展示、YOMUNOSU オープニングイベント等）	1,150	575
◆街なか拠点施設魅力向上事業（委託料） 施設の魅力を発信するため、YOMUNOSU の SNS、ホームページを開設した。YOMUNOSU ともぐららびあで連携し、企画コーナーの設置をした。	1,500	750
④まつり・イベントによる賑わいづくり事業		
◆図書館で行うまちの魅力発見事業（委託料） 絵本作家による講演会を開催し、本に親しむことや子育てを見直す機会を提供した。また、YOMUNOSU を会場に恐竜を題材とした子どもたちのワークショップを実施した。	498	249
◆久慈商店会連合会補助金（補助金） 魅力ある商店街づくりを推進するため、商店会が行うヤマセあきんど祭り事業に対して補助を行った。	1,025	513
◆久慈春まつり補助金（負担金） 久慈商工会議所青年部が主催し、屋台の出展や、中高生の吹奏楽ステージ、任意団体のダンスなど久慈市の若い力を感じさせるイベントの開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症の情勢により中止した。	0	0
◆久慈秋まつり実行委員会負担金（負担金） 600年余りの歴史を誇る岩手県北最大規模の祭り。8組の山車組による高さ10mを超える創作山車と、活気あふれる神輿が市内目抜き通りを通る豪華絢爛な祭りを予定したが、新型コロナウイルス感染症の情勢により中止。 代替として、道の駅の山車展示スペースにおいて、10月～3月に観光客向けお囃子実演を実施した。	300	150
◆久慈納涼花火大会実行委員会負担金 久慈市の夏の風物詩として親しまれる花火大会の開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症の情勢により中止。 中止決定までの準備経費と中止広報経費を支出	250	125

主要な施策の具体的措置状況及び成果

⑤街なか連携観光誘客事業		
◆久慈市街なか連携観光誘客推進協議会負担金（負担金） 市内観光施設の二次交通対策事業として、タクシーの割引補助を行うプランを実施した。 【実績：112件】 街なか周遊を促すため「北三陸冬の市」（2/14）の実施に協力、久慈商工会議所主催の「べっぴん昼市」とも連携し中心市街地で屋台出店、お買物抽選会等を実施。	197	99
（3）空き店舗出店費補助金		
①空き店舗出店費補助金（補助金） 中心市街地の賑わい創出のため、中心市街地にある空き店舗を改装して出店する者に改装工事費の2分の1（上限50万円、新規出店の場合は25万円）を補助。 【実績：3店舗】	690	345
	7,370	3,686

◎重要業績評価指標

重要業績評価指標（KPI）	R2 目標値 実績値	R3 目標値 実績値	R4 目標値 実績値
拠点施設来客数（道の駅くじやませ土風館及び情報交流センター）	857,557人	892,557人	892,557人
	725,237人		
歩行者・自動車通行量（久慈商工会議所調査）	4,319人	4,919人	5,519人
	3,187人		
中心市街地における年間新規出店件数	5件	5件	5件
	3件		
ふるさと納税件数	26,500件	27,000件	27,500件
	18,700件		

エ 北三陸の海・山・里・ひをつなぐ交流拠点施設整備事業

三陸沿岸道路の整備・開通に伴う経済・ストック効果による地域活性化への波及効果を十分に享受するための拠点・核となる久慈広域のゲートウェイ機能を持った久慈広域道の駅を令和4年度を目標に整備する。

令和2年度事業実績

単位：千円

事業内容	事業費(A)	交付対象額(A)×1/2
(1) 情報発信施設の建築に係る基本及び実施設計		
①設計業務		
◆建設基本・実施設計 購買、休憩といった従来の道の駅機能はもとより、地域住民や子育て世代の利用頻度を高める新たなコミュニティを創出することで地域振興を図る道の駅として、「北三陸の魅力発信基地～子供が楽しく遊べる「秘密基地」」をテーマに、キッズスペースを含めた物販・加工・飲食施設等を備えた地域振興施設、久慈広域4市町村の地元・特産物・観光イベントなどの地域情報を広く発信する情報発信施設の建築に係る基本設計及び実施設計の一部について実施した。 ・建設基本設計 5,911,400円 ・建設実施設計 8,956,541円	14,868 (14,780)	7,390
(2) 事業用地の測量及び調査		
①各種調査		
◆測量・地質調査 当該施設を整備するために必要となる、事業用地の測量及び地質調査を実施した。 ・測量調査 1,155,000円 ・地質調査 1,100,000円	2,255 (1,650)	1,100
②設計業務		
◆道路予備設計 当該施設の利用者が、安全にアクセスするための右折レーンの予備設計を実施した。	550	
	17,673 (16,980)	8,490

※（ ）内数値は交付対象事業費。

◎重要業績評価指標

重要業績評価指標 (KPI)	R2~4 目標値 実績値	R5 目標値 実績値	R6 目標値 実績値
本施設の年間売り上げ	0千円	263,948千円	263,948千円
	0千円		
本施設の利用者数	0千人	293千人	293千人
	0千人		
久慈広域における既存道の駅のレジカウント通過数	0千人	31千人	21千人
	0千人		
本施設の物販施設において、農林水産品等の卸を新規に行う地域内の事業者及び個人事業者数	0者	8者	13者
	0者		

■その他-6 窓口業務時間延長等

市民サービスの向上と年度末等の窓口の利用混雑解消のため、窓口延長（月曜日、ただし月曜日が祝日の場合は翌日）と休日の窓口臨時開設を実施した。

区 分	期 間 等	時 間	利 用 者 等
窓口延長	令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで	午後6時30分ま で	利用者数 1,004人 利用件数 1,092件 手数料 213,820円 収入金 5,860,339円
休日窓口 臨時開設	令和3年3月28日(日)	午前9時から 午後5時まで	利用者数 12人 利用件数 14件 手数料 6,600円
開設窓口	市民課、税務課、収納対策課、社会福祉課、会計課		

○受付業務の主な内容

課名	主な内容
市民課	住民異動届（転出・転入など）、戸籍の届出の受付、住民票の写しや戸籍謄・抄本の交付、印鑑登録や印鑑登録証明書の交付など 国民健康保険異動届、各種医療届など
税務課	所得・課税・扶養証明書の交付、資産（土地・家屋）・評価額・公課証明書の交付など
収納対策課	納税証明書の交付、納付書発行、納付相談、口座振替
社会福祉課	各種福祉制度申請受付など
会計課	市税等の収納、県収入証紙販売

■その他-7 市税の徴収確保

市財政の基幹財源である市税の徴収確保のため、次のような取り組みを行った。収納率は一般税で98.06%（前年度97.30%、0.76ポイント上昇）、国民健康保険税で90.71%（前年度87.89%、2.82ポイント上昇）、一般・国保の合計96.94%（前年度95.80%、1.14ポイント上昇）となった。

ア 納税環境の整備

（ア）口座振替の推進

（イ）コンビニ収納及び郵便局窓口収納の実施

イ 滞納整理

（ア）滞納者に対する納税催告、財産調査、滞納処分の実施

（イ）納税相談による状況把握及び納税指導

（ウ）専門集金員による市税等の徴収業務の実施

（エ）岩手県地方税特別滞納整理機構との連携

(オ) 滞納管理システムの活用

■その他-8 選挙管理委員会

選挙管理委員会は、令和2年度において次の啓発事業を実施した。

- ア 明るい選挙啓発ポスター募集及び作品展示の実施
- イ 新有権者に対するハガキ啓発実施
- ウ Facebookの活用による啓発活動
- エ 岩手県選挙管理委員会、岩手県明るい選挙推進協議会久慈支部等と連携して、岩手県立久慈高等学校長内校の生徒を対象に「選挙啓発授業」を実施

■その他-9 農業委員会

農業委員会は、農地法に基づく許認可事務のほか農地利用の最適化推進活動を行った。

ア 農地法に基づく許認可事務

農業委員会総会を毎月1回開催し、農地転用等の審査を行った。

総会に付された許可申請件数の合計は96件で、その面積は444,123㎡であった。

農地法第3条	25件	259,667㎡
農地法第4条	8件	22,933㎡
農地法第5条	41件	72,101㎡
農地法の適用外証明	22件	89,422㎡

イ 農地中間管理事業

農地中間管理機構である岩手県農業公社と連携し、農地の出し手と受け手の調整を図り、農地の集積・集約化の推進に努めた。農地の集積 12件 25,078㎡。

ウ 機構集積支援事業

機構集積支援事業により農地の利用状況調査を実施し、農地の利用状況把握と有効利用に努めた。

エ 農業者年金業務委託事業

農業者年金相談会を開催し、新規加入者の促進活動と加入者の農業者制度理解の向上に努めた。

オ 遊休農地解消事業

農業委員会の活動として農地パトロールを実施し、農地の違反転用や遊休化防止に努めるとともに、委員会独自の活動として遊休農地解消事業に取り組み、遊休農地の解消と優良農地の確保に努めた。

令和2年度農業委員会遊休農地解消事業

小久慈町第46地割内の遊休農地（約2,000㎡）でソバの栽培に取り組んだ。

カ 農地利用最適化推進活動

人・農地プランの実質化に向けて、農地の意向把握調査（アンケート調査）に取り組み、市内8地区全地区で人・農地プラン実質化の成果があった。

■その他-10 監査委員

監査委員は、公正で合理的かつ能率的な市の行政運営確保のため、次のとおり監査等を実施した。

ア 定期監査（工事監査を含む。）

（ア）対 象……行政組織規則に基づくすべての部局及び工事（6工事）

（イ）実施期間……令和2年10月1日～令和3年1月20日

（ウ）実施方法……独立した監査として実施

イ 財政援助団体等監査

（ア）対 象……指定管理者1団体（大川目町まちづくり協議会）

財政援助団体1団体（一般社団法人久慈市ふるさと体験学習協会）

（イ）実施月日……令和2年8月24日、令和3年2月16日

ウ 例月出納検査

（ア）対 象……一般会計及び各特別会計並びに水道事業会計、下水道事業会計
（令和2年3月分～令和3年2月分）

（イ）実施期間……令和2年4月27日～令和3年3月26日（12回）
（毎月20日から月末までの間に2日間実施）

エ 決算審査

（ア）対 象……一般会計、各特別会計及び定額運用基金並びに水道事業会計、下水道事業会計

（イ）実施期間……令和2年6月3日～令和2年8月4日

オ 健全化判断比率等審査

（ア）対 象……健全化判断比率及び資金不足比率

（イ）実施期間……令和2年8月3日～令和2年8月4日

特別会計の成果

■特別会計-1 国民健康保険特別会計事業勘定 ※再掲

ア 国民健康保険特別会計事業勘定

(ア) 保険給付事業

被保険者（平均 7,915 人）の疾病、負傷、出産、葬祭に対し、次のとおり保険給付を行った。

a 療養諸費（一般被保険者及び退職被保険者等の総医療費 3,043,198 千円に対する療養給付費及び療養費等）	108,547 件	2,247,355 千円
b 高額療養費	6,039 件	351,672 千円
c 出産育児一時金等	14 件	5,591 千円
d 葬祭費	50 件	1,500 千円
e 移送費	0 件	0 千円

(イ) 保健事業

人間ドック利用料への助成

疾病の早期発見に努め、早期治療を行い健康増進等に資するため、人間ドック受診者に対し、利用料の助成を行った。（補助率 1/2、上限 2 万円）

事業費 96 件 1,915 千円

(ウ) 東日本大震災に係る一部負担金の免除事業【復興関係】

平成 23 年 7 月 1 日から実施している証明書発行による一部負担金の免除。期間について令和 3 年 12 月 31 日まで延長して実施している。

a 一部負担金免除証明書発行者数	160 名（年度末時点）
b 一部負担金免除総額	12,267 千円

(エ) 令和元年台風第 19 号に係る一部負担金の免除事業

令和元年 10 月 12 日から令和 2 年 9 月 30 日まで、証明書発行による一部負担金の免除を実施した。

a 一部負担金免除証明書発行者数	70 名（令和 2 年 9 月末時点）
b 一部負担金免除総額	6,686 千円

■特別会計-2 国民健康保険特別会計直営診療所施設勘定

国民健康保険山形診療所は地域唯一の医療機関として、住民の健康の維持増進に資するため、次のとおり事業を実施した。

ア 住民の心身の健康に対する意識を高めることを目的とし、オンラインを活用しての健康相談や健康チェックを行った。（事業費なし 市内 1 箇所、参加者 22 名）

イ 地域住民の健康保持のため、疾病等の診療、治療を行った。また、疾病の早期発見のため、健康診断、各種がん検診等を行った。（事業費 44,316 千円）

ウ 診療所への移動手段がない地域住民が定期的に受診できるよう、患者輸送バスを運行した。（事業費 3,418千円、運行241日、乗車人数1,495人、1日平均6.21人）

(ア) 診療件数

種別	診療実日数	件数	1日平均患者数	収入額（千円）
外来診療	241	5,805	24.09	62,209

(イ) 健康診断受診件数等

種別		件数	収入額（千円）
診療所健診	国保特定健診	177	1,674
	後期高齢者健診	216	2,023
	基本健康診査	5	46
	計	398	3,743
各種がん検診	胃がん健診	174	677
	大腸がん検診	354	389
	肺がん健診	416	892
	前立腺がん検診	171	529
	肝炎検査	9	31
	計	1,124	2,518
その他健康診断	事業所健診等	224	2,203

(ウ) 予防接種件数

種別	件数	収入額（千円）
四種混合、二種混合、日本脳炎等	49	340
高齢者用肺炎球菌	47	285
インフルエンザ	1,257	4,148
計	1,353	4,773

■特別会計-3 後期高齢者医療特別会計 ※再掲

被保険者（平均5,959人）の医療給付を岩手県後期高齢者医療広域連合で行った。
医療費（一部負担金を除く） 3,436,817千円

■特別会計-4 魚市場事業特別会計 ※再掲

ア 令和2年度の水揚げ高は、数量7,017トン（前年度比1.3%減）、金額1,327,862千円（前年度比2.5%減）であった。

イ 市営魚市場使用料は、5,843千円（前年度比1.7%減）であった。

